

野田川町商業活性化事業報告書

2003年11月

野田川町商工会

特定非営利活動法人

市民活動情報センター

はじめに

バブル経済の崩壊後、失われた10年と言われた頃からもう長く時が過ぎ、企業の倒産・廃業や失業率の高まりなど景気回復の兆しが一向に見えない状況が続いている。国や自治体においても財政状況の悪化などを背景に構造改革の必要性が叫ばれ、これまでのような企業誘致やハード優先の公共投資など過度の財政依存による地域経済の活性化策は取りにくくなってきており、地域自らが自律的・内発的に発展していくことが求められている。

一方、既存産業の成熟化、情報通信技術の発達、経済のサービス化などに伴って産業構造は大きく変化すると共に、社会課題の解決等を目的に活動するNPOが「新たな公益の担い手」や「新たな経済主体」として認識され、コミュニティビジネス等の形で活躍する機会が増えてきている。

そうした中、野田川町の地域商業においても、消費者の高齢化やライフスタイルの変化、野田川バイパス近辺への大型店立地など、地元小売商業者等の経営環境は大きく変化してきており、個店ごとの魅力づくりとともに、地域全体での商業活性化や地域づくりに取り組むことがますます重要となってきた。

こうした状況を背景に、今回の「野田川町商業活性化事業」(委員会および調査研究)は、野田川町の地元小売商業者、野田川町商工会、ならびに(特活)市民活動情報センターが、2003年10月から11月までの約2ヶ月にわたり、野田川町商業の今後の進むべき方向性や具体的な方策を検討したものである。この成果が、次年度以降の具体的事業につながり、野田川町の地域商業活性化の一助になれば幸いである。

2003年11月

野田川町商工会 会長 安田光孝

特定非営利活動法人
市民活動情報センター 代表理事 今瀬政司

野田川町商業活性化事業報告書【目次】

はじめに

第1部 野田川町の商業活性化方策とまちの概況	5
1章 野田川町商業活性化に向けた方向性と具体的方策	5
1. ソフト優先を基本とした商業と地域づくりの融合化(方向性)	5
2. 魅力的な個店づくり	7
(1) 人と環境とコミュニティにやさしい個店づくり	7
(2) 事業者等の研修事業を通じた個店の魅力形成	8
マネジメント研修	
地域づくり研修	
3. NPOと事業者等の協働	8
(1) 地域通貨循環によるコミュニティ形成と商業等活性化	8
4. 地域事業者間の協働	10
(1) 地域事業者等による協働事業の推進	10
(2) 共同広告の地区間連携による新たな顧客開拓の推進	11
(3) 商品等共同集配機能の整備による域内循環の推進	12
5. 地域ネットワーク活動の活発化	13
(1) 地域情報化の推進による域内循環活動の活発化	13
(2) 地域における生活と産業の情報化の推進	13
地域情報通信ネットワークのインフラ整備	
パソコン講習会開催・出前講習実施(事業者向け/高齢者・障害者等向け)	
中古パソコンのリサイクルセンター機能の整備	
(3) 事業者・生産者間の連携による地域市場ネットワークの創造	15
6. コミュニティ循環型商業・サービスネットワーク推進構想	15
2章 野田川町のまちの概況	17
1. データから見た野田川町の実態	17
(1) 人口	17
野田川町と近隣市町の人口の推移	
野田川町の年齢・性別・地区別人口と世帯数	
野田川町と近隣町の人口密度の推移	
野田川町と近隣市町の流出入人口・昼間人口	
(2) 小売業・サービス業	20
野田川町の小売業の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移	
野田川町と近隣市町の小売業の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移	
野田川町と近隣市町の小売業の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移(中分類別)	
野田川町と近隣市町の小売業の商店当たり従業者数・年間販売額・売場面積の推移	
野田川町と近隣市町の小売業の従業者当たり年間販売額の推移	

野田川町と近隣市町の小売業の人口 1000 人当たり商店数・年間販売額・売場面積の推移	
野田川町と近隣市町の小売吸引力の推移	
野田川町の業種別小売吸引力	
野田川町と近隣市町の飲食店数の推移	
野田川町と近隣市町のサービス事業所数の推移	
野田川町と近隣市町のスーパーマーケット数の推移	
野田川町住民の商品別の商品購入先（アンケート調査データ）	
(3) 製造業	38
野田川町の製造業事業所数（組織形態別・従業者規模別）	
野田川町の製造業従業者数（労働形態別）の推移	
野田川町の製造業における製造品出荷額	
(4) 農業	41
野田川町の農家数・農家人口	
野田川町の農業粗生産額の推移	
(5) 観光	41
(6) 財政	42
野田川町財政の投資的経費（普通建設事業費）の推移	
野田川町の 10 年間の分野別財政支出状況	
(7) その他（住民意識調査データ）	45
野田川町の 10 年間のまちづくり評価	
今後してみたいボランティア活動	
2 . 第 4 次野田川町総合計画の概要	46

第 2 部 野田川町商業活性化委員会の報告	47
1 章 野田川町商業活性化委員会の名簿と経過	47
1 . 野田川町商業活性化委員会の委員名簿	47
2 . 野田川町商業活性化委員会の開催経過	48
2 章 座談会の議事概要	49
1 . 第 2 回商業活性化委員会・「座談会」の議事概要	49
2 . 第 3 回商業活性化委員会・「座談会」の議事概要	50
3 . 第 4 回商業活性化委員会・「座談会」の議事概要	53
4 . 第 5 回商業活性化委員会・「座談会」の議事概要	56
3 章 野田川町商工会の概況	58

事業実施期間 2003 年 10 月～11 月（約 2 ヶ月）

執筆・編集分担

第 1 部 1 章：(特活)市民活動情報センター（今瀬政司）

第 1 部 2 章：(特活)市民活動情報センター（今瀬政司、上田恵美子）

第 2 部：野田川町商工会（浪江光宏、家城功）

全体編集：(特活)市民活動情報センター（今瀬政司）

第1部 野田川町の商業活性化方策とまちの概況

1章 野田川町商業活性化に向けた方向性と具体的方策

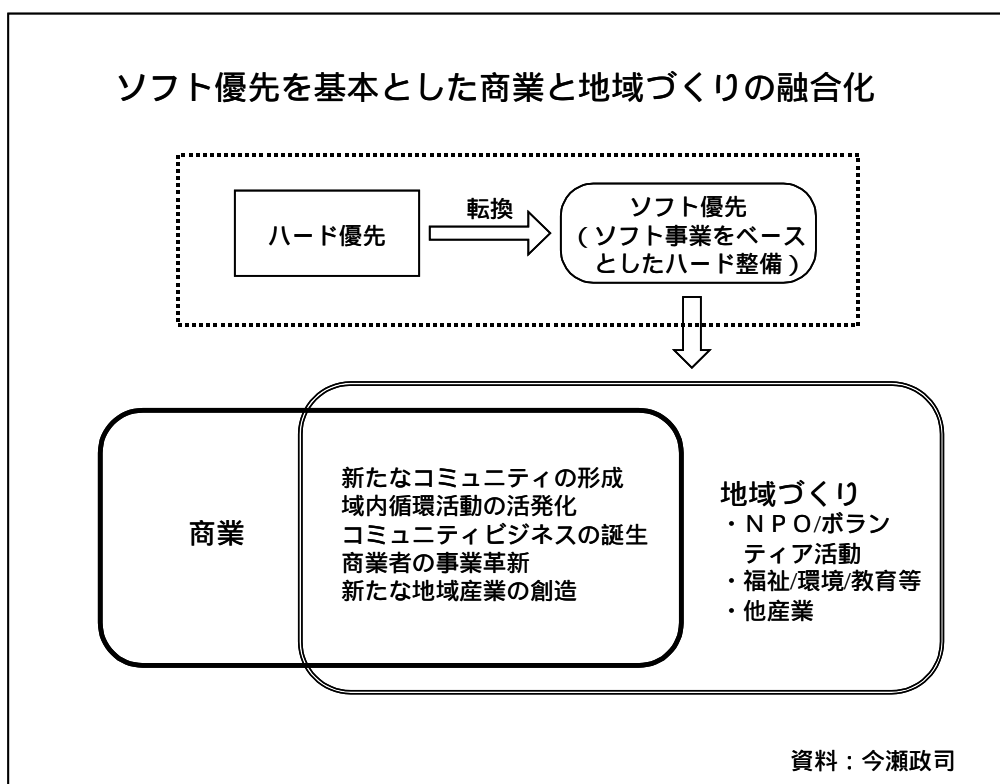
1. ソフト優先を基本とした商業と地域づくりの融合化（方向性）

少子高齢化の進展、環境問題の高まり、長引く景気低迷や財政難などが続く中、野田川町の地域商業活性化の推進に向けた基本的なあり方としては、商業活動が、NPO・ボランティア活動等を含めた福祉・環境・教育等の地域づくり活動と有機的につながり、融合化していくことが必要である。そして、その融合化においては、「ハード（ハコモノ）優先からソフト優先への転換」（ソフトなプロジェクトが根付いてこそハード整備は生きる）という基本的スタンスが重要となる。

そうしたソフト優先を基本とした商業と地域づくりの融合化の中から、新たなコミュニティが形成され、域内循環活動が活発化するとともに、コミュニティビジネスが誕生し、商業者の事業革新や新たな地域産業の創造などが図られていく。

この「商業と地域づくりの融合化」の方向性がベースとなって、以下に提案するような野田川町商業活性化の具体的方策が図られるものとする。

- 魅力的な個店づくり
- NPOと商業者等の協働
- 地域商業者間の協働
- 地域ネットワーク活動の活発化
- コミュニティ循環型商業・サービスネットワーク推進構想



2. 魅力的な個店づくり

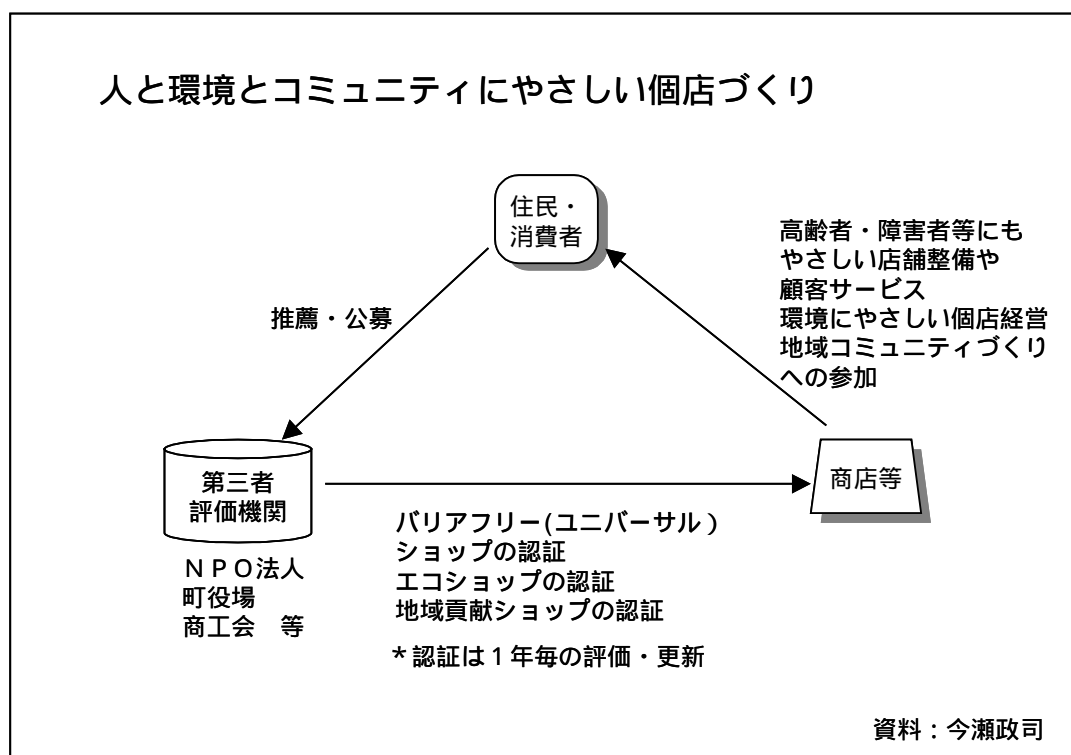
(1) 人と環境とコミュニティにやさしい個店づくり

地域商業の活性化のためには、まず第一に、商業者それぞれが魅力ある個店づくりを行っていく必要がある。魅力ある個店づくりを進めるための方策として、住民・消費者等による推薦・公募で個店評価の第三者的機関（NPO法人、町役場・商工会内等）をつくり、以下のような個店認証・表彰システムを作ることが考えられる。

- ・ 高齢者や障害者など誰にとっても買い物をしやすいバリアフリー（ユニバーサル）の店舗整備や優しさを感じられる顧客サービスを行う商店等を「バリアフリー（ユニバーサル）ショップ」として認証する。
- ・ 環境負荷の少ない商品の仕入・販売・廃棄、リサイクル活動等への積極的な参加・支援、人の健康や環境に害の少ない自然食品等への商品切り替えなどを行う商店等を「エコショップ」として認証する。
- ・ 地域コミュニティづくり、NPO・ボランティア活動などへの積極的な参加・支援を行う商店等を「地域貢献ショップ」として認証する。

また、認証を受けた商店等に対しては、次のような特典・メリットを提供することが考えられる。

- ・ 第三者評価機関の機関誌、町役場の広報誌、商工会の機関誌、商店の共同広告誌等への店舗特集紹介
- ・ 人の集まる役場、駅、商工会等のコミュニティ施設における店舗紹介コーナーの設置
- ・ 共同商品袋、エコバッグ、ゴミ袋等への店舗ロゴ等の印字 など



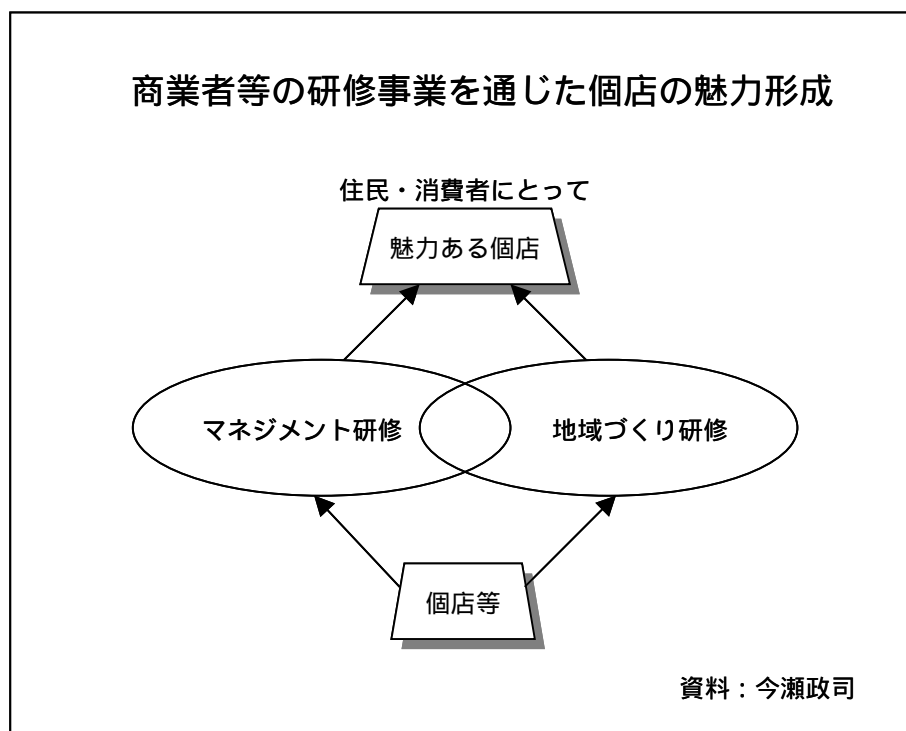
(2) 商業者等の研修事業を通じた個店の魅力形成

マネジメント研修

商業者等が魅力ある個店づくりを行っていくためには、知識・ノウハウ・スキル等を身に付ける研修事業を各個店や地域の事情にあった形で行っていくことも重要である。この研修の中身としては、まず経営コンサルタント、会計士、税理士などからの「マネジメント研修」を行い、専門的な経営ノウハウ等を身につけるとともに、商業分野等における最新の動向・トレンドを情報としても知ることが重要である。

地域づくり研修

また、先に、野田川町商業活性化の基本的な方向性として、ソフト優先を基本とした商業と地域づくりの融合化が必要であると述べたように、商業者は単に自らの個店経営のみをよくすることだけを考えていると、地域全体としての商業需給は活発にならない。そこで、商業者等の研修事業においては、地域コミュニティ活動との関わり方や地域への貢献の仕方などを学ぶ「地域づくり研修」を実施することも重要である。



3 . N P O と商業者等の協働

(1) 地域通貨循環によるコミュニティ形成と商業等活性化

阪神淡路大震災やNPO法（特定非営利活動促進法）施行などを契機として、NPO・ボランティア活動が活発化してきており、最近では、社会的課題を解決するとともに公共サービスを手がける「新たな公益の担い手」として、ならびにコミュニティビジネスや新産業創出など「新たな経済主体」としての役割が期待されるようになってきている。産業界や行政機関においても、商業を含

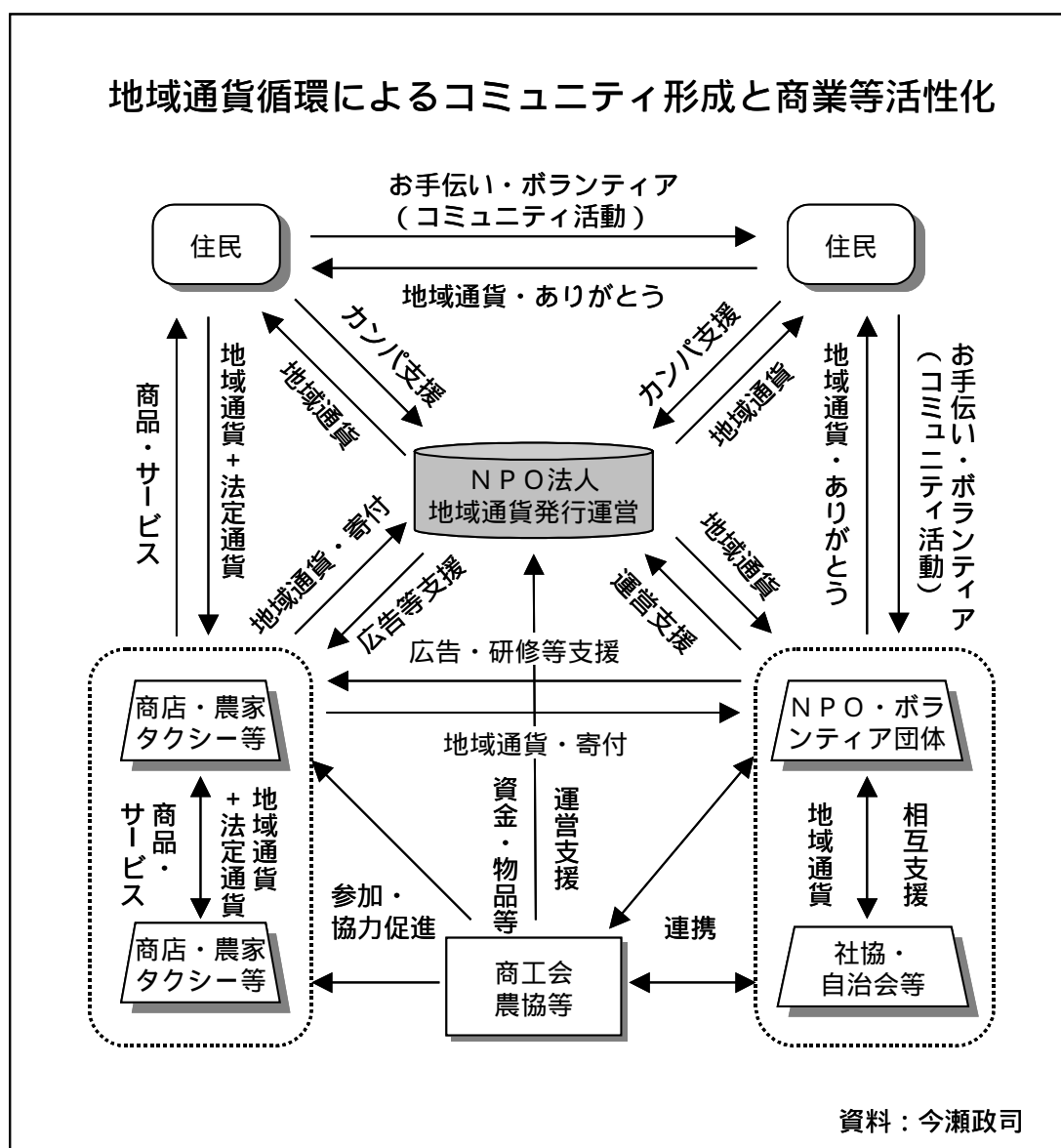
めた経済産業活動を行う上では、NPOとの連携・協働が重要なものであるとの認識が高まり、その協働事業に取り組む動きも活発になってきている。

野田川町の地域商業の活性化においても、今後、NPO・ボランティア活動との連携・協働が重要なものになってくると見られる。そして、その一つの取り組み方法としては、次の観点から、野田川町地域の中で循環する地域通貨の導入に商業者が参画・協力することが考えられる。

- ・ ボランティア活動・相互扶助の活動を活発化して豊かなコミュニティを形成。
- ・ 地域コミュニティにおけるNPO・ボランティア活動と商業活動の連携・協働による相互メリットづくり。

また、地域通貨導入へのステップとしては、例えば、以下の工程が考えられる。

- ・ 野田川町地域の地域通貨発行・運営を検討する準備委員会を結成。
- ・ 地域通貨を発行・運営するNPO法人を設立。
- ・ ボランティア活動をベースとした複数回にわたる地域通貨導入実験。
- ・ 商業・農業・運輸等の産業活動との相互連携を図る共同実験(商品券やカードとの融合を含む)。
- ・ 地域通貨による本格的な地域循環の推進。



4 . 地域事業者間の協働

(1) 地域事業者等による協働事業の推進

地域の事業者等が若手中心や異業種間等の新たな形で集まってグループを結成し、既存の商工会・事業者グループ、自治会・NPO等との連携・協力を図りながら、共同広告、共同受注、共同配送、共同決済など様々な協働事業を推進する。

例えば、想定される協働事業としては、以下のものが考えられる。

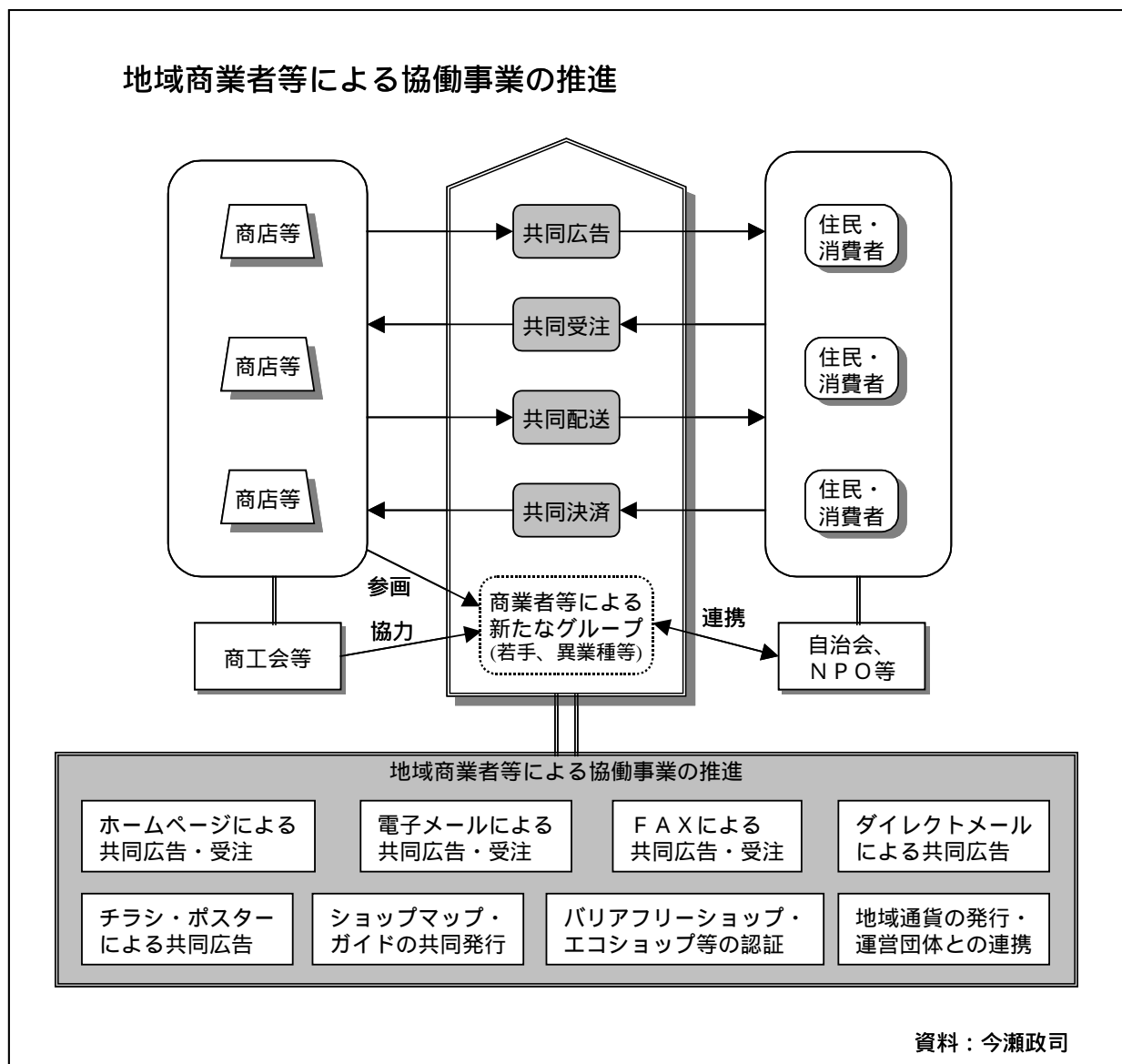
ホームページ・電子メール・FAXによる共同広告・受注

ダイレクトメール・チラシ・ポスターによる共同広告

ショップマップ・ガイドの共同発行

バリアフリー（ユニバーサル）ショップ・エコショップ・地域貢献ショップの認証

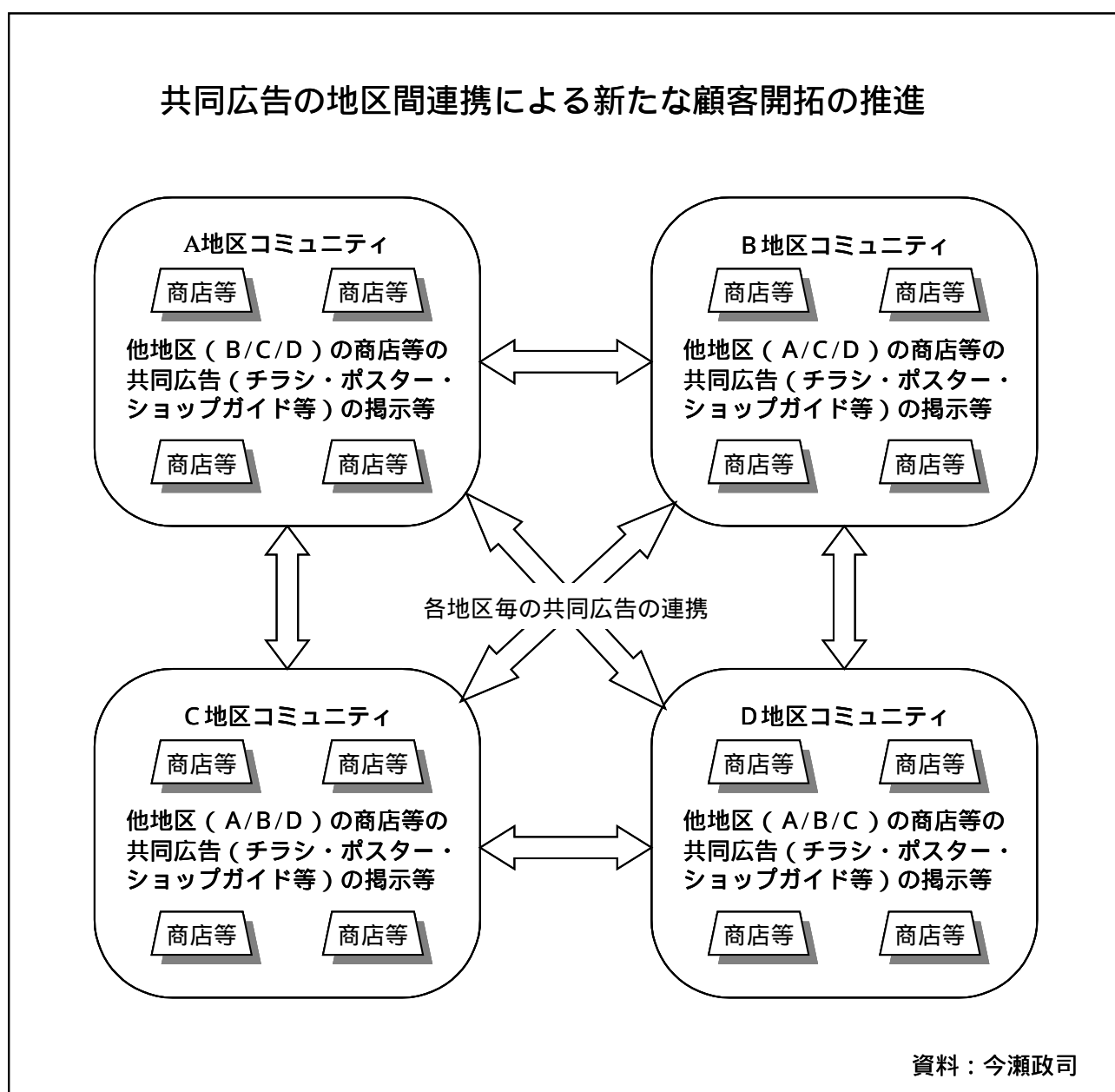
地域通貨の発行・運営団体との連携



(2) 共同広告の地区間連携による新たな顧客開拓の推進

野田川町地域の中でも、地元商店やその商品・サービス内容等の存在自体が、地元の住民・消費者等に十分に知られていないことがあり、それは地区が違う場合によく見られる。そこで、地域の事業者等が共同広告を進める場合においても、地区単位で行うことに加えて、各地区間で連携・協働事業を図ることで、地域に潜在的に存在する新たな顧客の開拓を進めていく。

例えば、商店単位あるいは地区単位でつくる共同広告（チラシ・ポスター・ショップガイド等）を、他地区の商店等に掲示しあうことなどが考えられる。

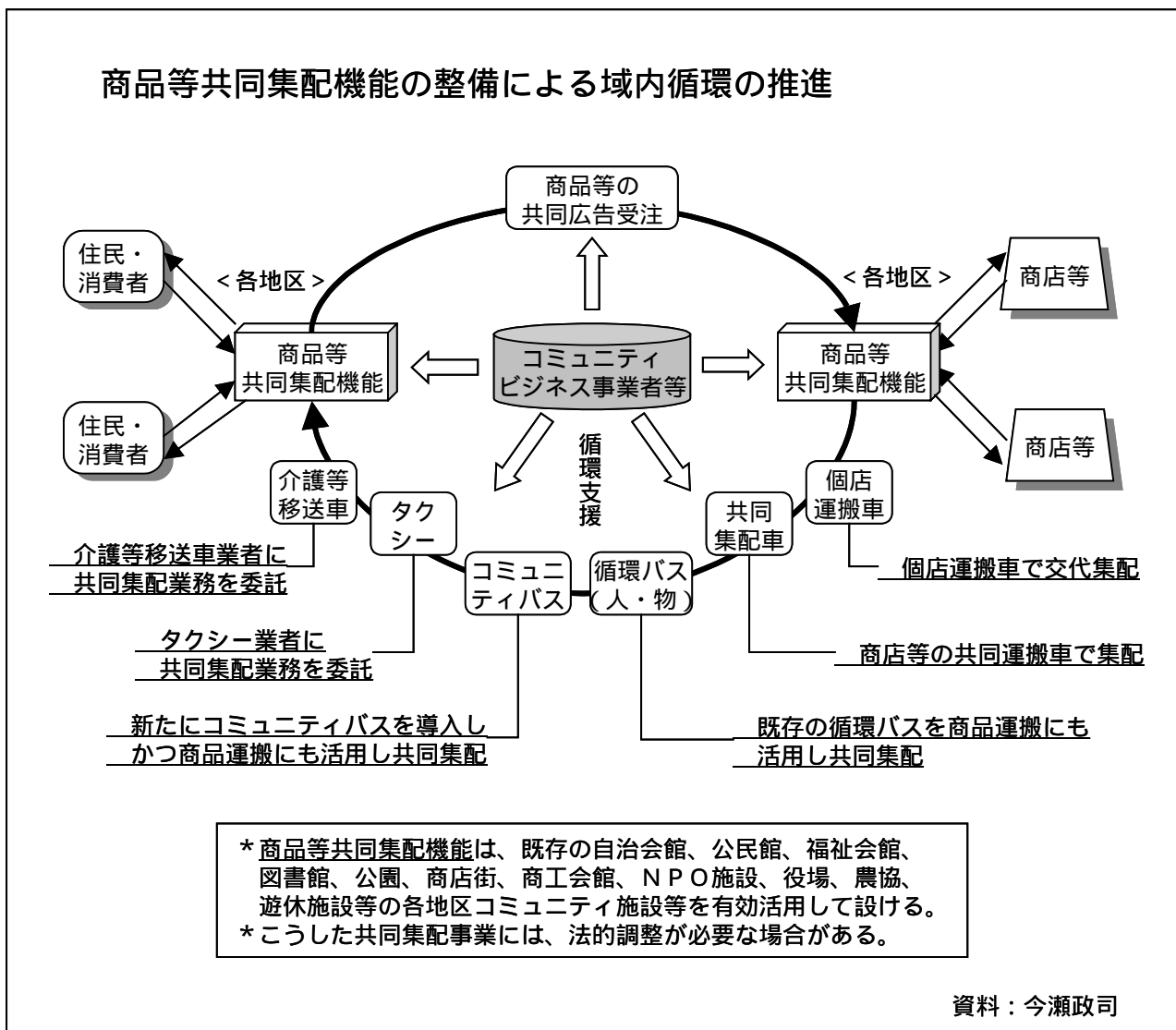


(3) 商品等共同集配機能の整備による域内循環の推進

地域住民・消費者の高齢化が進む中、思うように遠くの店に買い物に出かけられない高齢者等が増えるとともに、商品等の共同発注・配達ニーズも高まっていくものと思われる。

地域商業者等が共同で商品等を受注・配達する場合に課題になるのが、その共同集配機能をどのように整備するかである。各地区に点在する消費者から各商店等への商品等発注を共同で受けた（共同受注機能）後に、その注文品等を各商店等から集め（共同収集機能）、各発注者毎にまとめて配送（共同配送機能）する必要がある。ただ、野田川町地域の全域で商店単位、消費者単位で集配するのは、コスト面等から非常に難しい。そこで、各地区レベルでこうした共同収集機能と共同配送機能を整備して、各商店等は注文品を近距離に設置した共同収集拠点まで自ら運び、消費者も近距離に設置された共同配送拠点まで注文品等を受け取りに行く。

そして、こうした商品等共同集配機能の整備・コーディネート事業は、コミュニティビジネスなどの形で新たな起業にもつながるものと考えられる。



各商品等共同集配機能を持つ拠点としては、既存の自治会館、公民館、福祉会館、図書館、公園、商店街、商工会館、NPO施設、役場、農協、遊休施設等の各地区コミュニティ施設等を有効活用して設けていく。

そして、この拠点間の配送方法としては、以下の方法が考えられる。

(なお、共同集配を実施する場合には、法的調整が必要となる場合がある。)

- ・各個店が自前の運搬車を使い交代で集配する。
- ・商店等が共同で運搬車を購入・整備して集配する。
- ・既存の循環バスを商品運搬にも活用して共同集配する。
- ・地域づくりや地域福祉等の観点から新たにコミュニティバスを導入するとともに、それを商品運搬にも活用して共同集配する。
- ・タクシー業者に商品等の共同集配業務を委託する。
- ・介護等移送サービス事業者の商品等の共同集配業務を委託する。

5 . 地域ネットワーク活動の活発化

(1) 地域情報化の推進による域内循環活動の活発化

野田川町の商業活性化においては、地域事業者間の協働ならびにNPOと事業者等の協働の推進が重要であるが、それと共に地域全体の各種ネットワーク活動を活発化していくことも必要である。これによって地域の中で人、金銭、物品、情報等が循環し、商業・サービス業の需給関係が新たに創造されていく。

- ・共同広告受注等商業ネットワーク 商店と住民・消費者等
- ・事業者・生産者間地域市場ネットワーク 商店と農家・織物業者・製造業者等
- ・地域情報ネットワーク 商店とNPO・社会福祉協議会・自治会等
- ・緊急通報ネットワーク 消防署・病院等と住民(高齢者・障害者・通院者等)
- ・介護等ボランティア情報ネットワーク 住民とNPO・社会福祉協議会と消防署・病院等

(2) 地域における生活と産業の情報化の推進

地域情報通信ネットワークのインフラ整備

こうした地域ネットワーク活動を活発化していくための手段としては、光ファイバー等の地域情報通信網の整備が必要となってくる。地域情報通信網の整備を通じて、商業、地域づくり(NPO・ボランティア活動等を含めた福祉、環境、教育等) 各種産業など、それぞれの業種・分野のネットワーク活動のみならず、異なる業種・分野の間で新たな連携・協働事業を生み出していくことが重要である。

パソコン講習会開催・出前講習実施(事業者向け/高齢者・障害者等向け)

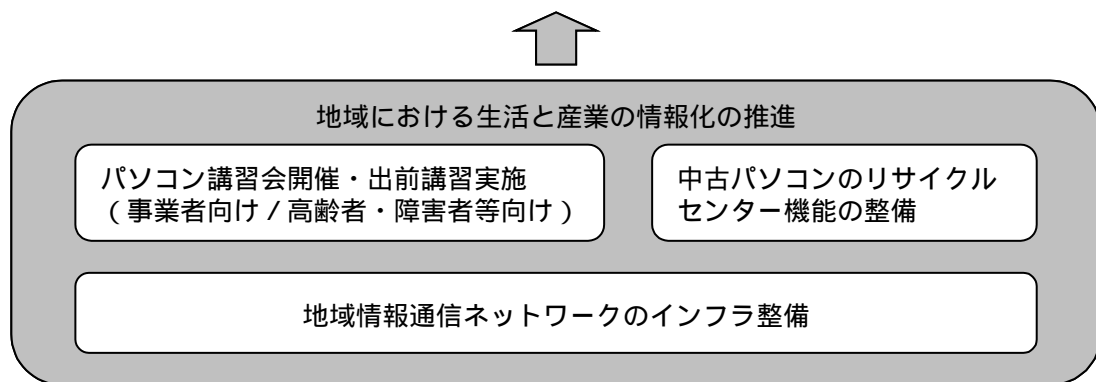
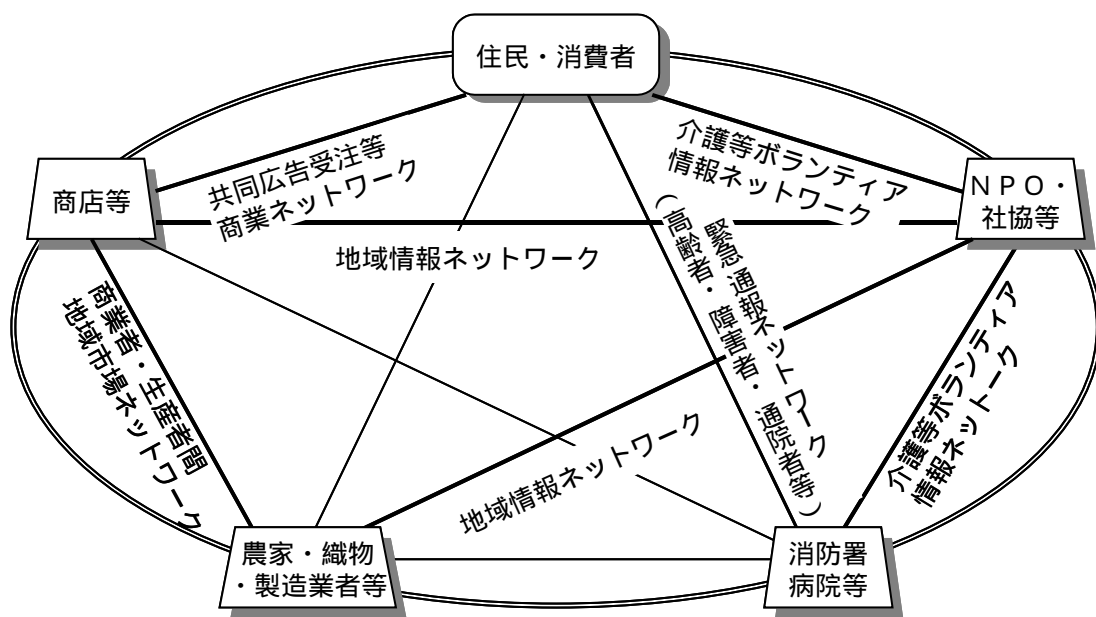
また、地域情報通信網を生かして、地域における生活や産業の情報化を推進していくためには、地元事業者のみならず、高齢者・障害者等を含めた住民・消費者等もパソコン等の情報通信機器を

使いこなせるようにならなければならない。そのためのパソコン講習会や自宅・事業者への出前講習などの機会を増やしていく必要がある。

中古パソコンのリサイクルセンター機能の整備

さらに、住民や事業者のパソコン普及を図るためには、コスト面あるいは環境面などから、中古パソコンのリサイクルセンター機能が地域にあることが求められる。

地域情報化の推進による域内循環活動の活発化

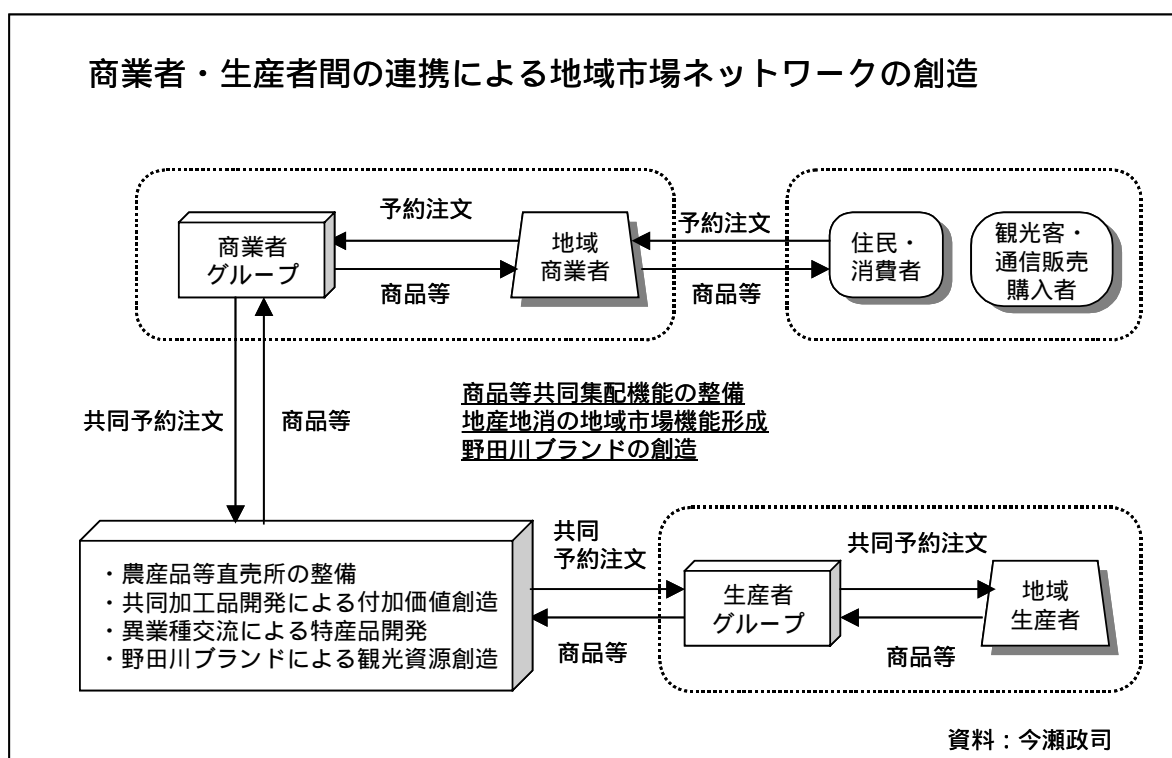


資料：今瀬政司

(3) 商業者・生産者間の連携による地域市場ネットワークの創造

野田川町地域の地元商業者が、先に述べたような「商品等共同集配機能」を整備するとともに、地元農家・織物業者・製造業者等による生産品を仕入れ、地元の消費者に販売する新たな地域内循環の市場を生み出すような「地産地消」の地域市場ネットワークの形成を図ることが重要である。例えば、生産者グループと商業者グループが共同出資して、農産品等直売所を整備したり、高付加価値型の加工品を開発していくことが考えられる。

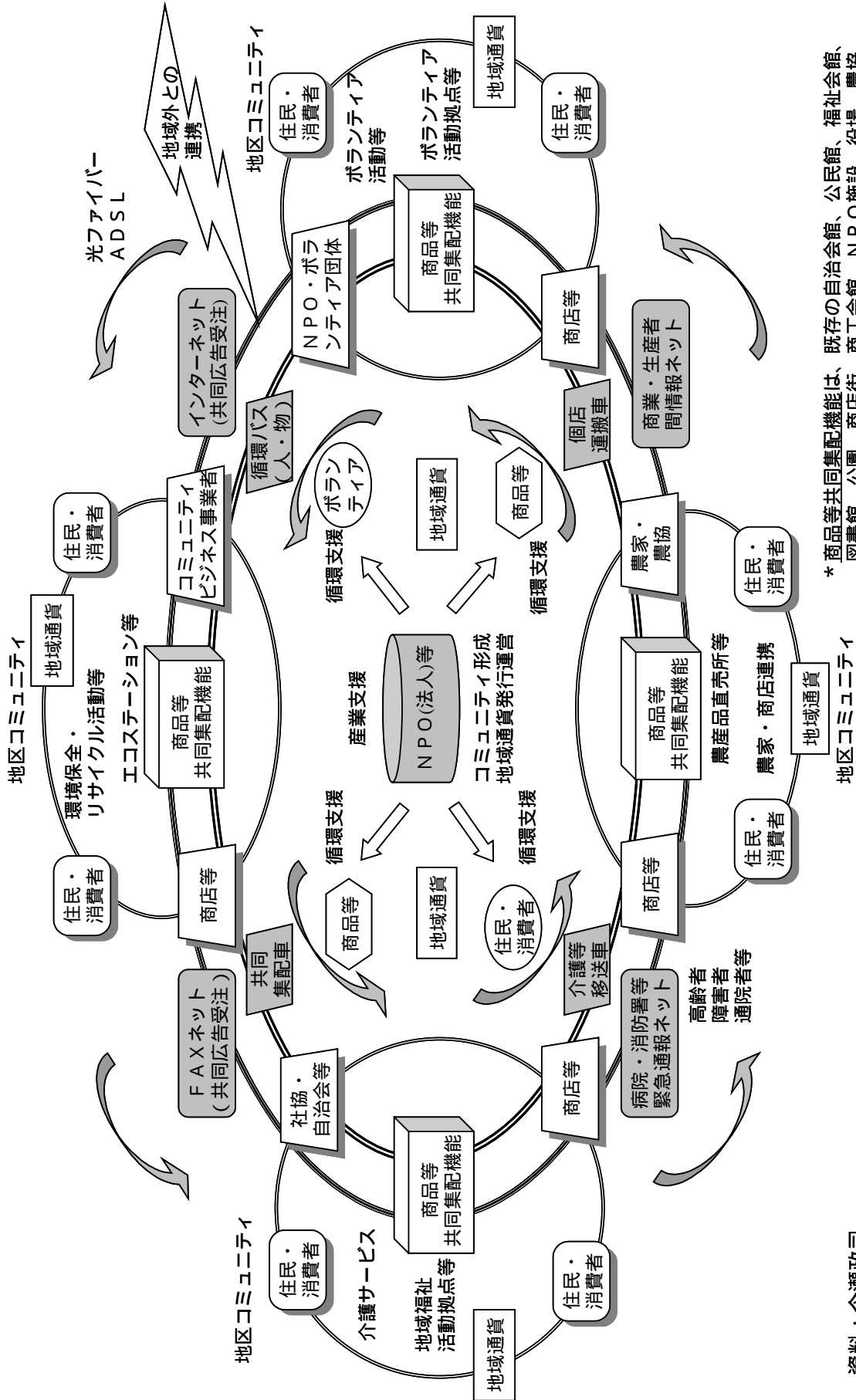
また、この商業者・生産者間地域市場ネットワークをベースとして、異業種交流による特産品・「野田川ブランド」の開発を行うとともに、それによる観光資源の創造を図っていくことが考えられる。例えば、野田川町内で行われている「ひまわり 15 万本イベント」などを通じて、生産者と商業者が協働でひまわりの種や油を利用した野田川ブランドの加工品・特産品開発を行い、観光産業につなげていくことも考えられる。



6. コミュニティ循環型商業・サービスネットワーク推進構想

このように、野田川町の地域商業活性化を図っていくためには、「1. ソフト優先を基本とした商業と地域づくりの融合化」という方向性をベースにして、「2. 魅力的な個店づくり」、「3. NPOと商業者等の協働」、「4. 地域商業者間の協働」、「5. 地域ネットワーク活動の活発化」といった個々の具体的な方策を進めていくことが必要であると考えられる。そして、これら具体的方策を有機的に繋げて、相乗効果的な形で野田川町商業活性化を進めていくものとして、「6. コミュニティ循環型商業・サービスネットワーク推進構想」を提言する。

コミュニティ循環型商業・サービスネットワーク推進構想



* 商品等共同集配機能は、既存の自治会館、公民館、福祉会館、図書館、公園、商店街、商工会館、NPO施設、役場、農協、遊休施設等の各地区コミュニティ施設等を有効活用して設ける。

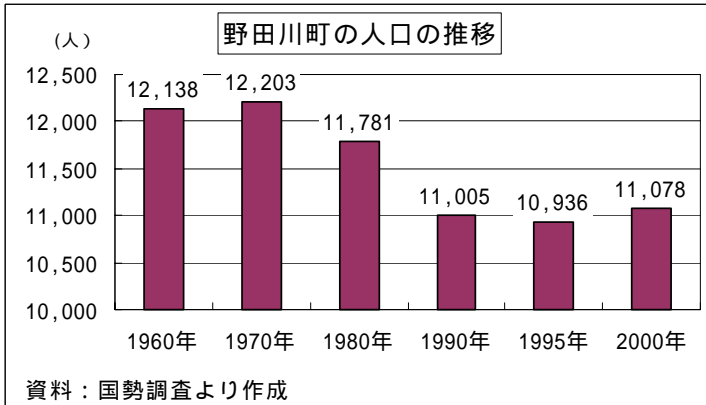
資料：今瀬政司

2章 野田川町のまちの概況

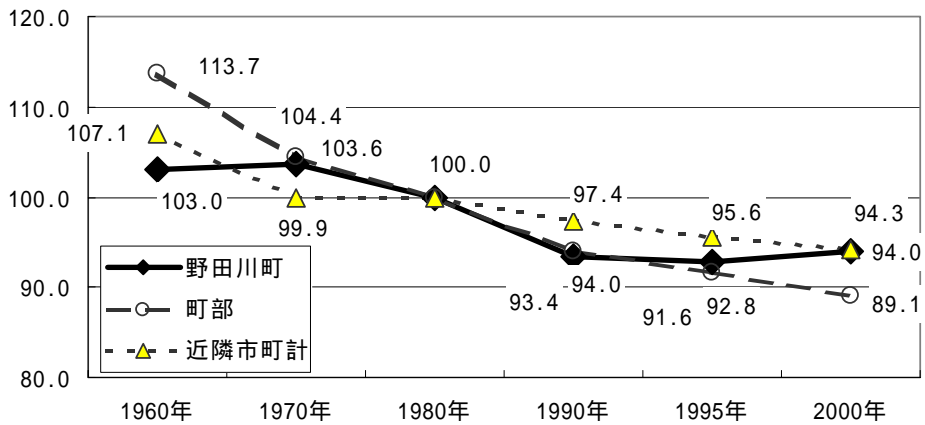
1. データから見た野田川町の実態

(1) 人口

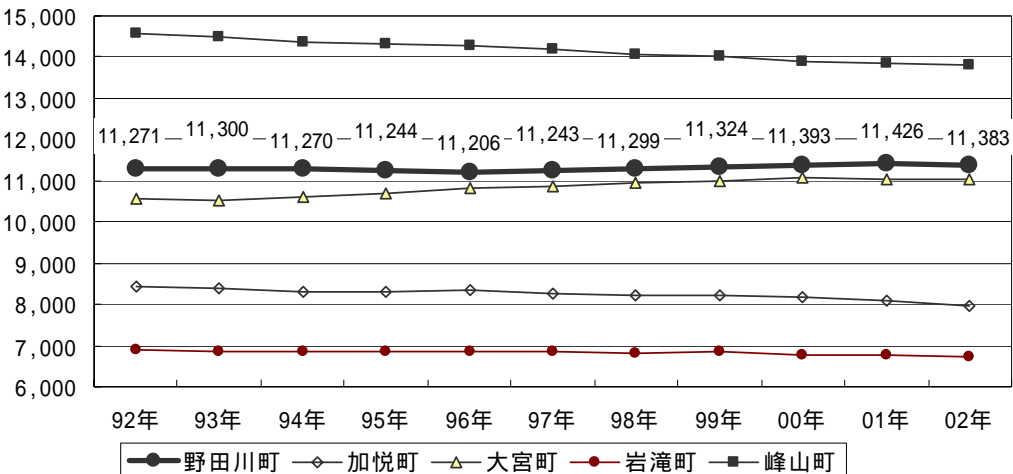
野田川町と近隣市町の人口の推移



野田川町と近隣市町の人口の推移（1980年を100とした場合）



野田川町と近隣市町の人口の推移



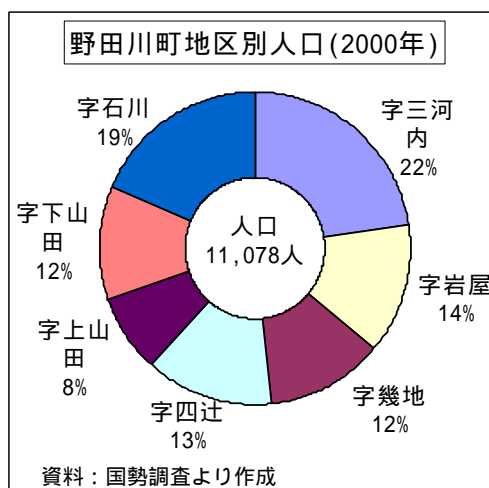
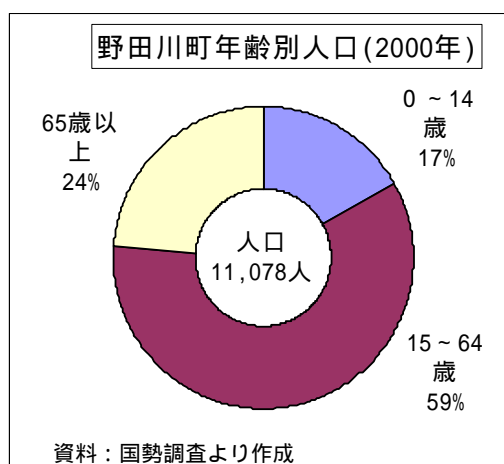
野田川町と近隣市町の人口の推移

(単位：人)

	92年	93年	94年	95年	96年	97年	98年	99年	00年	01年	02年
野田川町	11,271	11,300	11,270	11,244	11,206	11,243	11,299	11,324	11,393	11,426	11,383
夜久野町	5,536	5,494	5,433	5,395	5,372	5,324	5,283	5,212	5,126	5,075	4,975
大江町	6,186	6,156	6,165	6,160	6,166	6,093	6,049	5,982	5,905	5,892	5,806
加悦町	8,413	8,370	8,320	8,291	8,333	8,276	8,212	8,204	8,155	8,078	7,976
岩滝町	6,893	6,874	6,869	6,838	6,857	6,859	6,821	6,841	6,759	6,781	6,744
伊根町	3,606	3,533	3,517	3,478	3,426	3,420	3,363	3,345	3,292	3,211	3,136
峰山町	14,560	14,496	14,343	14,308	14,259	14,195	14,062	14,000	13,878	13,865	13,801
大宮町	10,549	10,508	10,627	10,676	10,811	10,879	10,959	10,987	11,065	11,050	11,038
網野町	17,282	17,249	17,151	17,109	17,034	16,929	16,765	16,631	16,542	16,426	16,291
丹後町	8,210	8,126	7,979	7,925	7,822	7,739	7,680	7,539	7,456	7,368	7,296
弥栄町	6,353	6,285	6,261	6,310	6,264	6,242	6,230	6,273	6,229	6,191	6,091
久美浜町	13,091	13,009	12,943	12,822	12,672	12,600	12,489	12,366	12,292	12,263	12,172
12町計	111,950	111,400	110,878	110,556	110,222	109,799	109,212	108,704	108,092	107,626	106,709
福知山市	66,105	66,182	66,326	66,433	66,709	67,123	67,492	67,722	67,771	67,849	67,777
舞鶴市	95,239	94,730	94,649	94,684	94,290	93,954	93,882	93,816	93,788	93,822	93,503
宮津市	26,294	25,956	25,824	25,642	25,282	24,921	24,599	24,297	24,044	23,768	23,598
3市計	187,638	186,868	186,799	186,759	186,281	185,998	185,973	185,835	185,603	185,439	184,878
15市町計	299,588	298,268	297,677	297,315	296,503	295,797	295,185	294,539	293,695	293,065	291,587

資料：住民基本台帳

野田川町の年齢・性別・地区別人口と世帯数



野田川町の年齢・性別人口(2000年)

(単位：人)

	総数	男	女
0～14歳	1,878 (17.0)	932 (17.8)	946 (16.2)
15～64歳	6,542 (59.1)	3,218 (61.5)	3,324 (56.9)
65歳以上	2,658 (24.0)	1,086 (20.7)	1,572 (26.9)
65～74歳	1,477 (13.3)	693 (13.2)	784 (13.4)
75歳以上	1,181 (10.7)	393 (7.5)	788 (13.5)

資料：国勢調査

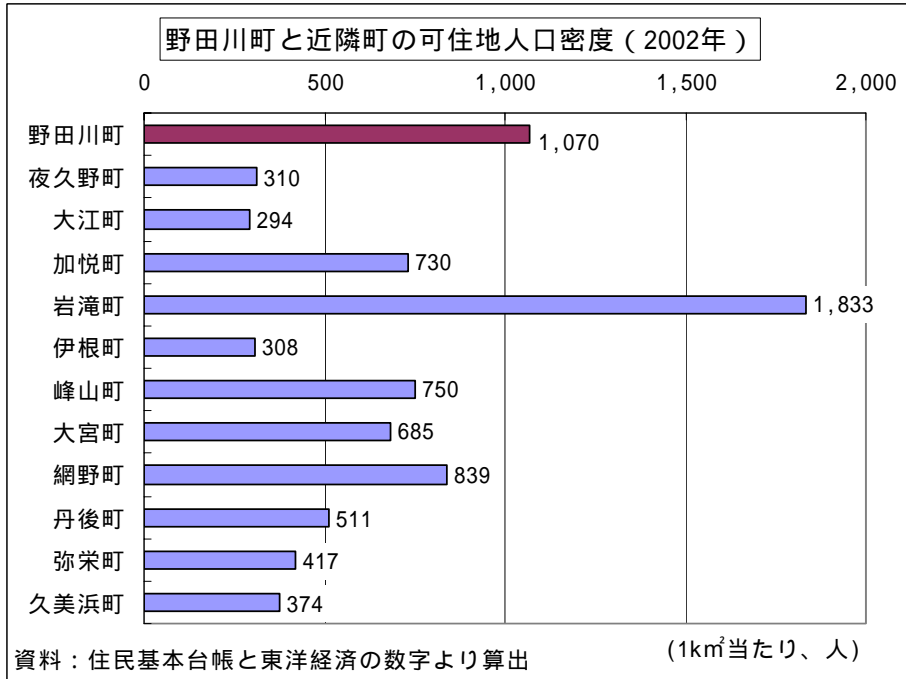
野田川町の地区別人口(性別)と世帯数(2000年)

(単位：人)

	総数(人)	男(人)	女(人)	世帯数(世帯)
野田川町	11,078 (100.0)	5,236 (100.0)	5,842 (100.0)	3,459 (100.0)
字三河内	2,488 (22.5)	1,189 (22.7)	1,299 (22.2)	773 (22.3)
字岩屋	1,517 (13.7)	699 (13.3)	818 (14.0)	454 (13.1)
字幾地	1,361 (12.3)	675 (12.9)	686 (11.7)	408 (11.8)
字四辻	1,477 (13.3)	684 (13.1)	793 (13.6)	469 (13.6)
字上山田	880 (7.9)	409 (7.8)	471 (8.1)	275 (8.0)
字下山田	1,279 (11.5)	606 (11.6)	673 (11.5)	444 (12.8)
字石川	2,076 (18.7)	974 (18.6)	1,102 (18.9)	636 (18.4)

資料：国勢調査

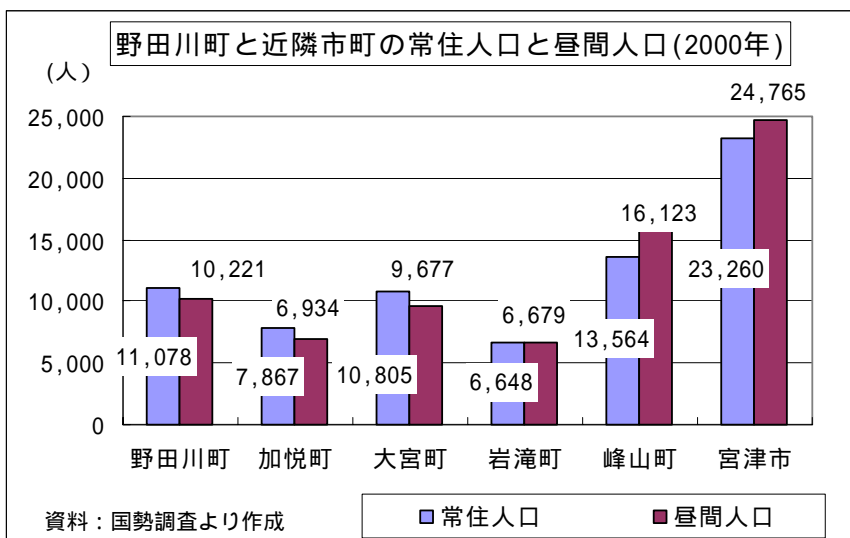
野田川町と近隣町の人口密度の推移



野田川町と近隣町の人口密度の推移

	面積 (km ²) 00年、国 土地理院	可住地面 積(km ²) 90年、東 洋経済	可住地人口密度(1km ² 当たり、人) 住民基本台帳と東洋経済の数字より算出					
			97年	98年	99年	00年	01年	02年
野田川町	35.90	10.64	1,057	1,062	1,064	1,071	1,074	1,070
夜久野町	100.99	16.04	332	329	325	320	316	310
大江町	96.81	19.77	308	306	303	299	298	294
加悦町	59.05	10.93	757	751	751	746	739	730
岩滝町	11.99	3.68	1,864	1,854	1,859	1,837	1,843	1,833
伊根町	61.98	10.18	336	330	329	323	315	308
峰山町	67.45	18.40	771	764	761	754	754	750
大宮町	68.93	16.12	675	680	682	686	685	685
網野町	75.07	19.41	872	864	857	852	846	839
丹後町	64.96	14.27	542	538	528	522	516	511
弥栄町	80.38	14.59	428	427	430	427	424	417
久美浜町	145.04	32.55	387	384	380	378	377	374

野田川町と近隣市町の流出入人口・昼間人口



野田川町と近隣市町の流出入人口・昼間人口（2000年）

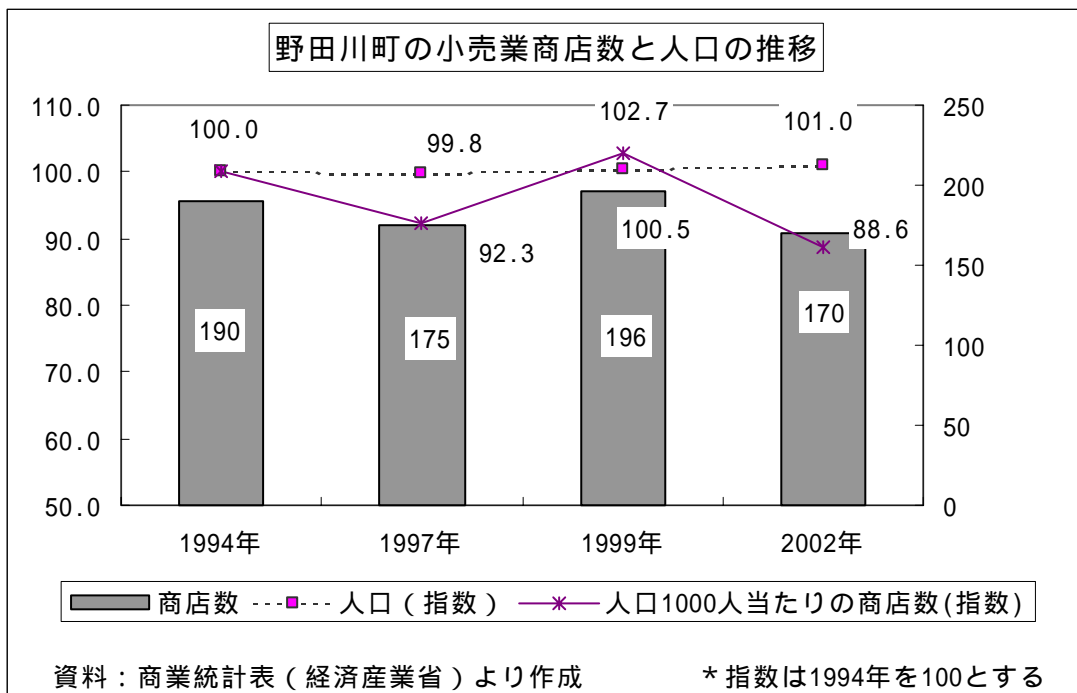
（単位：人）

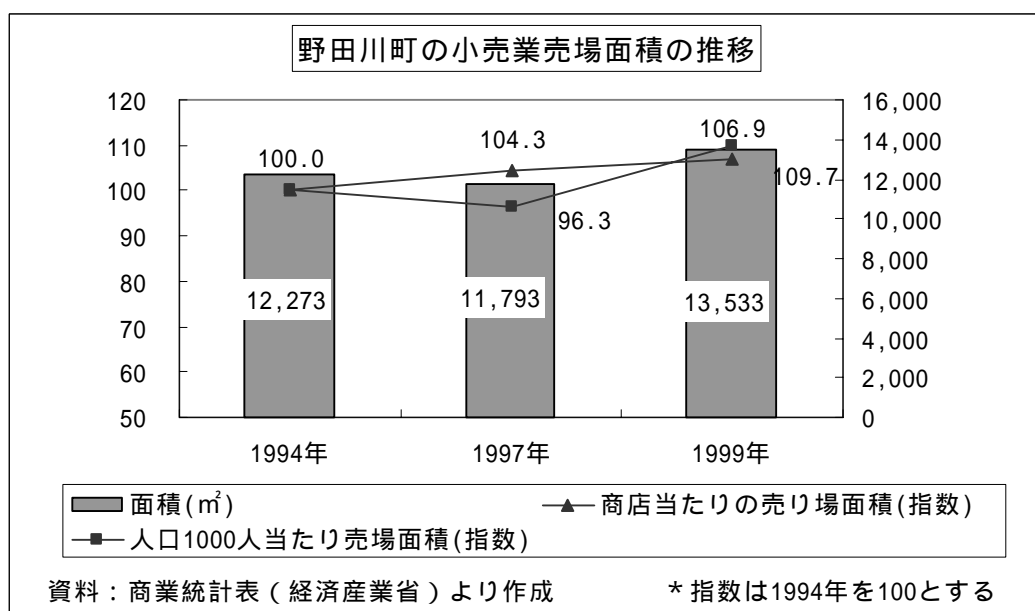
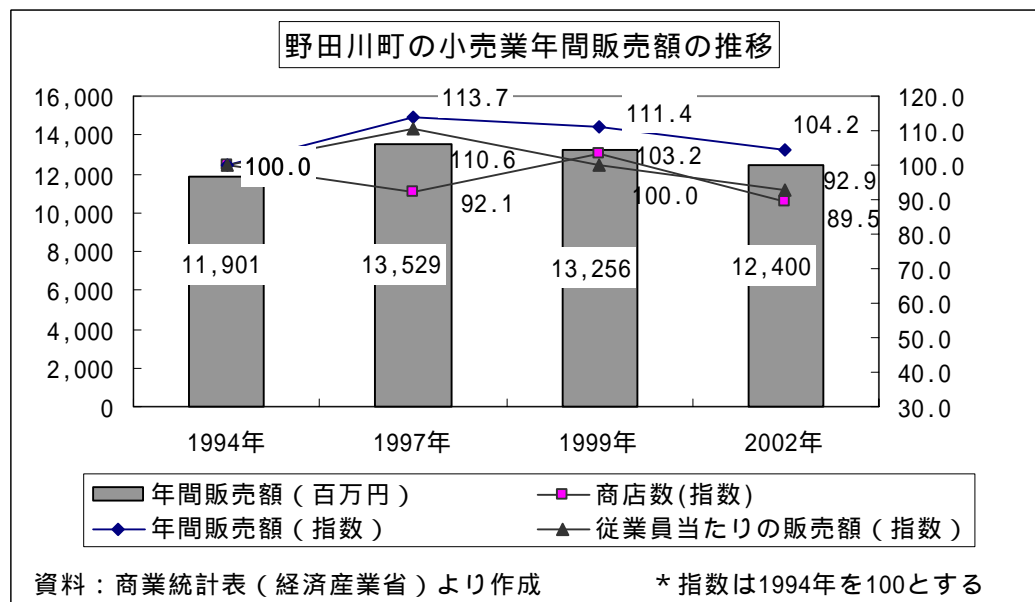
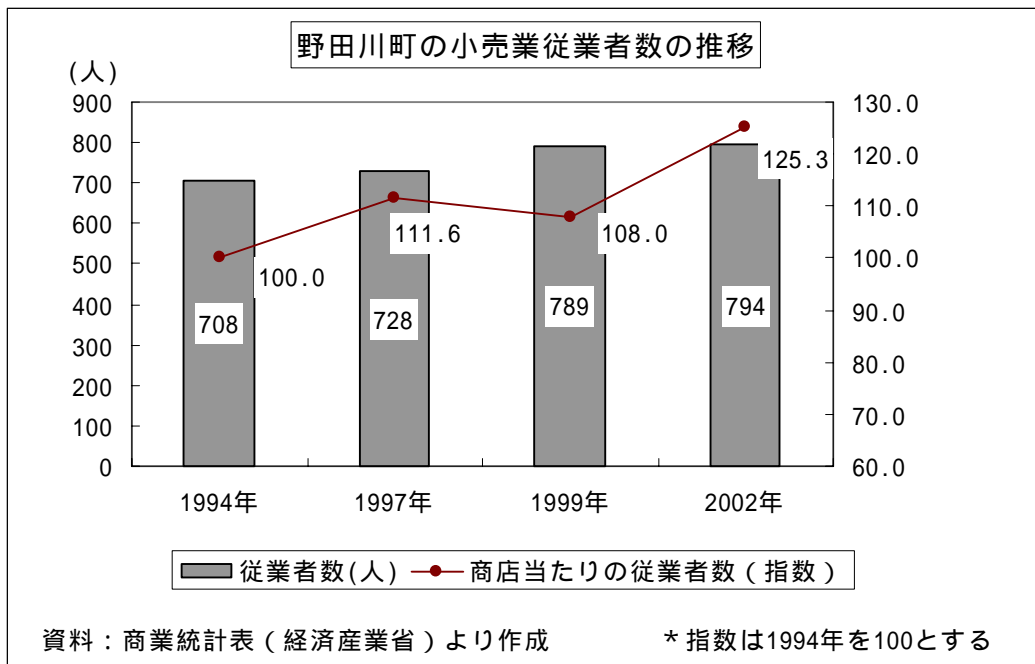
	常住人口 (A)	流出人口			流入人口			流入(流出) 超過数 (C)-(B)=(D)	昼間人口 (A)+(D)
		総 計(B)	通 勤	通 学	総 計(C)	通 勤	通 学		
野田川町	11,078	2,379	2,211	168	1,522	1,307	215	-857	10,221
夜久野町	4,869	1,188	995	193	385	384	1	-803	4,066
大江町	5,705	1,334	1,222	112	741	447	294	-593	5,112
加悦町	7,867	1,777	1,461	316	844	823	21	-933	6,934
岩滝町	6,648	1,568	1,328	240	1,599	1,337	262	31	6,679
伊根町	3,112	439	348	91	212	193	19	-227	2,885
峰山町	13,564	1,941	1,815	126	4,500	3,944	556	2,559	16,123
大宮町	10,805	2,650	2,265	385	1,522	1,517	5	-1,128	9,677
網野町	16,056	2,277	2,070	207	1,465	1,193	272	-812	15,244
丹後町	7,164	1,170	918	252	441	406	35	-729	6,435
弥栄町	6,132	1,371	1,100	271	989	892	97	-382	5,750
久美浜町	11,857	2,078	1,871	207	710	584	126	-1,368	10,489
福知山市	68,025	5,117	4,646	471	12,307	10,133	2,174	7,190	75,215
舞鶴市	94,036	4,740	4,128	612	4,633	4,328	305	-107	93,929
宮津市	23,260	2,747	2,425	322	4,252	3,604	648	1,505	24,765

資料：国勢調査

(2) 小売業・サービス業

野田川町の小売業の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移





野田川町と近隣市町の小売業の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移

野田川町と近隣市町の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移

	住民基本台帳 人口(人)	小売業計											
		商店数	人口1000 人当たり 商店数	従業者数 (人)	商店当 たり従 業者数 (人)	年間販売額 (百万円)	従業者当 たり販 売額 (百万円)	人口1000人 当 たり販 売額 (百万円)	商店当 たり 販売額(百 万円)	小売吸 引力	売場面積 (㎡)	商店当 たり売 場面 積(㎡)	人口1000人 当 たり売 場面 積(㎡)
2002年 京都府合計	2,563,344	29,938	11.7	180,692	6.04	3,006,400	16.6	1,173	100.4	1.00			
2002年 福知山市	67,777	911	13.4	5,198	5.71	91,300	17.6	1,347	100.2	1.15			
2002年 舞鶴市	93,503	1,221	13.1	6,478	5.31	107,300	16.6	1,148	87.9	0.98			
2002年 宮津市	23,598	411	17.4	2,024	4.92	21,800	10.8	924	53.0	0.79			
2002年 夜久野町	4,975	59	11.9	216	3.66								
2002年 大江町	5,806	69	11.9	258	3.74								
2002年 加悦町	7,976	128	16.0	583	4.55	6,300	10.8	790	49.2	0.67			
2002年 岩滝町	6,744	108	16.0	439	4.06	6,100	13.9	905	56.5	0.77			
2002年 伊根町	3,136	40	12.8	97	2.43	600	6.2	191	15.0	0.16			
2002年 野田川町	11,383	170	14.9	794	4.67	12,400	15.6	1,089	72.9	0.93			
2002年 峰山町	13,801	287	20.8	1,443	5.03	26,300	18.2	1,906	91.6	1.62			
2002年 大宮町	11,038	141	12.8	725	5.14	10,400	14.3	942	73.8	0.80			
2002年 網野町	16,291	232	14.2	1,020	4.40	14,100	13.8	866	60.8	0.74			
2002年 丹後町	7,296	128	17.5	378	2.95	4,800	12.7	658	37.5	0.56			
2002年 弥栄町	6,091	49	8.0	189	3.86	2,500	13.2	410	51.0	0.35			
2002年 久美浜町	12,172	143	11.7	550	3.85	7,600	13.8	624	53.1	0.53			
1999年 京都府合計	2,561,860	33,088	12.9	188,013	5.68	3,391,067	18.0	1,324	102.5	1.00	2,649,773	80	1,034
1999年 福知山市	67,722	1,000	14.8	5,968	5.97	104,617	17.5	1,545	104.6	1.17	101,136	101	1,493
1999年 舞鶴市	93,816	1,362	14.5	6,576	4.83	112,891	17.2	1,203	82.9	0.91	113,409	83	1,209
1999年 宮津市	24,297	442	18.2	1,957	4.43	23,628	12.1	972	53.5	0.73	33,666	76	1,386
1999年 夜久野町	5,212	67	12.9	190	2.84	2,742	14.4	526	40.9	0.40	2,888	43	554
1999年 大江町	5,982	78	13.0	221	2.83	2,570	11.6	430	32.9	0.32	2,890	37	483
1999年 加悦町	8,204	138	16.8	642	4.65	7,014	10.9	855	50.8	0.65	9,257	67	1,128
1999年 岩滝町	6,841	112	16.4	456	4.07	6,901	15.1	1,009	61.6	0.76	6,571	59	961
1999年 伊根町	3,345	48	14.3	103	2.15	854	8.3	255	17.8	0.19	824	17	246
1999年 野田川町	11,324	196	17.3	789	4.03	13,256	16.8	1,171	67.6	0.88	13,533	69	1,195
1999年 峰山町	14,000	313	22.4	1,478	4.72	27,137	18.4	1,938	86.7	1.46	34,037	109	2,431
1999年 大宮町	10,987	148	13.5	568	3.84	10,211	18.0	929	69.0	0.70	10,869	73	989
1999年 網野町	16,631	246	14.8	949	3.86	14,902	15.7	896	60.6	0.68	16,352	66	983
1999年 丹後町	7,539	143	19.0	430	3.01	5,640	13.1	748	39.4	0.57	6,458	45	857
1999年 弥栄町	6,273	54	8.6	201	3.72	2,572	12.8	410	47.6	0.31	2,242	42	357
1999年 久美浜町	12,366	54	4.4	573	10.61	8,419	14.7	681	155.9	0.51	8,414	156	680
1997年 京都府合計	2,555,167	32,764	12.8	169,502	5.17	3,410,254	20.1	1,335	104.1	1.00	2,441,860	75	956
1997年 福知山市	67,123	974	14.5	5,086	5.22	103,723	20.4	1,545	106.5	1.16	88,667	91	1,321
1997年 舞鶴市	93,954	1,371	14.6	6,105	4.45	118,151	19.4	1,258	86.2	0.94	106,448	78	1,133
1997年 宮津市	24,921	472	18.9	2,008	4.25	26,163	13.0	1,050	55.4	0.79	27,416	58	1,100
1997年 夜久野町	5,324	67	12.6	212	3.16	2,900	13.7	545	43.3	0.41	2,877	43	540
1997年 大江町	6,093	79	13.0	288	3.65	2,792	9.7	458	35.3	0.34	2,880	36	473
1997年 加悦町	8,276	127	15.3	591	4.65	7,350	12.4	888	57.9	0.67	9,582	75	1,158
1997年 岩滝町	6,859	117	17.1	463	3.96	6,416	13.9	935	54.8	0.70	6,453	55	941
1997年 伊根町	3,420	42	12.3	116	2.76	840	7.2	246	20.0	0.18	967	23	283
1997年 野田川町	11,243	175	15.6	728	4.16	13,529	18.6	1,203	77.3	0.90	11,793	67	1,049
1997年 峰山町	14,195	325	22.9	1,404	4.32	30,755	21.9	2,167	94.6	1.62	31,885	98	2,246
1997年 大宮町	10,879	139	12.8	558	4.01	13,064	23.4	1,201	94.0	0.90	10,444	75	960
1997年 網野町	16,929	258	15.2	1,002	3.88	17,297	17.3	1,022	67.0	0.77	14,410	56	851
1997年 丹後町	7,739	146	18.9	468	3.21	6,109	13.1	789	41.8	0.59	5,750	39	743
1997年 弥栄町	6,242	59	9.5										
1997年 久美浜町	12,600	177	14.0	548	3.10	8,179	14.9	649	46.2	0.49	6,645	38	527
1994年 京都府合計	2,542,579	35,078	13.8	170,846		3,317,741	19.4	1,305	94.6	1.00	2,356,829	67	927
1994年 福知山市	66,326	1,064	16.0	4,984	4.68	92,829	18.6	1,400	87.2	1.07	80,455	76	1,213
1994年 舞鶴市	94,649	1,457	15.4	6,216	4.27	111,853	18.0	1,182	76.8	0.91	109,952	75	1,162
1994年 宮津市	25,824	508	19.7	2,078	4.09	29,094	14.0	1,127	57.3	0.86	32,015	63	1,240
1994年 夜久野町	5,433	73	13.4	162	2.22	3,345	20.6	616	45.8	0.47	3,859	53	710
1994年 大江町	6,165	88	14.3	303	3.44	3,257	10.7	528	37.0	0.40	4,223	48	685
1994年 加悦町	8,320	146	17.5	556	3.81	6,875	12.4	826	47.1	0.63	7,164	49	861
1994年 岩滝町	6,869	113	16.5	449	3.97	6,615	14.7	963	58.5	0.74	5,693	50	829
1994年 伊根町	3,517	49	13.9	124	2.53	1,154	9.3	328	23.6	0.25	1,300	27	370
1994年 野田川町	11,270	190	16.9	708	3.73	11,901	16.8	1,056	62.6	0.81	12,273	65	1,089
1994年 峰山町	14,343	368	25.7	1,478	4.02	29,869	20.2	2,082	81.2	1.60	31,929	87	2,226
1994年 大宮町	10,627	144	13.6	546	3.79	10,878	19.9	1,024	75.5	0.78	8,534	59	803
1994年 網野町	17,151	263	15.3	1,064	4.05	17,912	16.8	1,044	68.1	0.80	15,082	57	879
1994年 丹後町	7,979	155	19.4	447	2.88	6,254	14.0	784	40.3	0.60	5,329	34	668
1994年 弥栄町	6,261	60	9.6										
1994年 久美浜町	12,943	201	15.5	573	2.85	8,070	14.1	624	40.1	0.48	9,862	49	762

資料:商業統計表(経済産業省)より作成(2002年のデータは商業統計速報による(売場面積は2003年11月現在未公表))

記号について

統計表中の「-」は該当数値なしを表す。「」は1件または2件の事業所に関する数値で、これをそのまま掲げると個々の申告者の秘密が漏れるおそれがあるため秘匿された箇所であり、3件以上の事業所に関する数値であっても、前後の関係から秘匿の数値が判明する箇所も同様に秘匿されている。

野田川町と近隣市町の小売業の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移
(中分類別)

野田川町と近隣市町の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移

		54各種商品小売業											
		商店数	人口1000人当たり商店数	従業者数(人)	商店当たり従業者数(人)	年間販売額(百万円)	従業者当たり販売額(百万円)	人口1000人当たり販売額(百万円)	商店当たり販売額(百万円)	小売吸引力	売場面積(m ²)	商店当たり売場面積(m ²)	人口1000人当たり売場面積(m ²)
1999年	京都府合計	107	0.0	14,695	137.34	569,699	38.8	222	5,324.3	1.00	549,175	5,132	214
1999年	福知山市	9	0.1	481	53.44	9,374	19.5	138	1,041.6	0.62	20,912	2,324	309
1999年	舞鶴市	7	0.1	405	57.86	10,696	26.4	114	1,528.0	0.51	17,424	2,489	186
1999年	宮津市	1	0.0	151	151.00								
1999年	夜久野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1999年	大江町	1	0.2	1	1.00								
1999年	加悦町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1999年	岩滝町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1999年	伊根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
999年	野田川町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1999年	峰山町	2	0.1	167	83.50								
1999年	大宮町	1	0.1	6	6.00								
1999年	網野町	2	0.1	8	4.00								
1999年	丹後町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1999年	弥栄町	1	0.2	3	3.00								
1999年	久美浜町	1	0.1	5	5.00								
1997年	京都府合計	91	0.0	12,490	137.25	561,236	44.9	220	561,236	1.00	479,089	5,265	187
1997年	福知山市	4	0.1	251	62.75	7,411	29.5	110	7,411	0.50	8,954	2,239	133
1997年	舞鶴市	3	0.0	334	111.33	8,934	26.7	95	8,934	0.43	10,848	3,616	115
1997年	宮津市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1997年	夜久野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1997年	大江町	1	0.2										
1997年	加悦町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1997年	岩滝町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1997年	伊根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
997年	野田川町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1997年	峰山町	1	0.1										
1997年	大宮町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1997年	網野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1997年	丹後町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1997年	弥栄町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1997年	久美浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1994年	京都府合計	95	0.0	11,233	118.24	499,761	44.5	197	499,761	1.00	349,945	3,684	138
1994年	福知山市	5	0.1	272	54.40	8,482	31.2	128	8,482	0.65	8,627	1,725	130
1994年	舞鶴市	7	0.1	189	27.00	6,127	32.4	65	6,127	0.33	6,330	904	67
1994年	宮津市	1	0.0										
1994年	夜久野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1994年	大江町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1994年	加悦町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1994年	岩滝町	1	0.1										
1994年	伊根町	1	0.3										
1994年	野田川町	1	0.1										
1994年	峰山町	1	0.1										
1994年	大宮町	2	0.2										
1994年	網野町	1	0.1										
1994年	丹後町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1994年	弥栄町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1994年	久美浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：商業統計表(経済産業省)より作成

野田川町と近隣市町の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移

		55織物・衣服・身の回り品小売業											
		商店数	人口1000人当たり商店数	従業者数(人)	商店当たり従業者数(人)	年間販売額(百万円)	従業者当たり販売額(百万円)	人口1000人当たり販売額(百万円)	商店当たり販売額(百万円)	小売吸引力	売場面積(m ²)	商店当たり売場面積(m ²)	人口1000人当たり売場面積(m ²)
1999年	京都府合計	5,263	2.1	18,048	3.43	387,959	21.5	151	73.7	1.00	349,336	66	136
1999年	福知山市	182	2.7	667	3.66	9,092	13.6	134	50.0	0.89	17,738	97	262
1999年	舞鶴市	238	2.5	697	2.93	10,190	14.6	109	42.8	0.72	21,097	89	225
1999年	宮津市	65	2.7	148	2.28	1,339	9.0	55	20.6	0.36	3,283	51	135
1999年	夜久野町	6	1.2	14	2.33	77	5.5	15	12.8	0.10	195	33	37
1999年	大江町	9	1.5	12	1.33	47	3.9	8	5.2	0.05	262	29	44
1999年	加悦町	38	4.6	102	2.68	1,405	13.8	171	37.0	1.13	2,380	63	290
1999年	岩滝町	15	2.2	32	2.13	305	9.5	45	20.3	0.29	793	53	116
1999年	伊根町	5	1.5	9	1.80	38	4.2	11	7.6	0.08	71	14	21
1999年	野田川町	35	3.1	120	3.43	1,751	14.6	155	50.0	1.02	2,861	82	253
1999年	峰山町	65	4.6	174	2.68	2,390	13.7	171	36.8	1.13	5,328	82	381
1999年	大宮町	21	1.9	39	1.86	325	8.3	30	15.5	0.20	766	36	70
1999年	網野町	40	2.4	94	2.35	1,130	12.0	68	28.3	0.45	2,362	59	142
1999年	丹後町	14	1.9	28	2.00	409	14.6	54	29.2	0.36	949	68	126
1999年	弥栄町	6	1.0	12	2.00	136	11.3	22	22.7	0.14	199	33	32
1999年	久美浜町	22	1.8	35	1.59	607	17.3	49	27.6	0.32	825	38	67
1997年	京都府合計	5,140	2.0	17,120	3.33	420,676	24.6	165	81.8	1.00	332,992	65	130
1997年	福知山市	174	2.6	548	3.15	9,474	17.3	141	54.4	0.86	16,237	93	242
1997年	舞鶴市	227	2.4	702	3.09	10,468	14.9	111	46.1	0.68	20,841	92	222
1997年	宮津市	67	2.7	147	2.19	1,558	10.6	63	23.3	0.38	3,772	56	151
1997年	夜久野町	5	0.9	11	2.20	79	7.2	15	15.8	0.09	180	36	34
1997年	大江町	9	1.5	16	1.78	73	4.6	12	8.1	0.07	331	37	54
1997年	加悦町	34	4.1	105	3.09	1,563	14.9	189	46.0	1.15	2,422	71	293
1997年	岩滝町	18	2.6	45	2.50	375	8.3	55	20.8	0.33	884	49	129
1997年	伊根町	5	1.5	11	2.20	38	3.5	11	7.6	0.07	116	23	34
1997年	野田川町	35	3.1	122	3.49	1,803	14.8	160	51.5	0.97	2,818	81	251
1997年	峰山町	64	4.5	170	2.66	2,755	16.2	194	43.0	1.18	5,228	82	368
1997年	大宮町	22	2.0	48	2.18	433	9.0	40	19.7	0.24	932	42	86
1997年	網野町	43	2.5	136	3.16	1,580	11.6	93	36.7	0.57	2,906	68	172
1997年	丹後町	14	1.8	31	2.21	415	13.4	54	29.6	0.33	1,050	75	136
1997年	弥栄町	6	1.0	10	1.67	131	13.1	21	21.8	0.13	251	42	40
1997年	久美浜町	23	1.8	43	1.87	372	8.7	30	16.2	0.18	653	28	52
1994年	京都府合計	5,663	2.2	19,460	3.44	439,561	22.6	173	77.6	1.00	371,081	66	146
1994年	福知山市	188	2.8	580	3.09	8,950	15.4	135	47.6	0.78	14,328	76	216
1994年	舞鶴市	245	2.6	791	3.23	11,633	14.7	123	47.5	0.71	24,834	101	262
1994年	宮津市	72	2.8	218	3.03	2,928	13.4	113	40.7	0.66	6,021	84	233
1994年	夜久野町	5	0.9										
1994年	大江町	10	1.6	16	1.60	111	6.9	18	11.1	0.10	404	40	66
1994年	加悦町	37	4.4	94	2.54	1,225	13.0	147	33.1	0.85	1,655	45	199
1994年	岩滝町	15	2.2	36	2.40	372	10.3	54	24.8	0.31	634	42	92
1994年	伊根町	4	1.1										
1994年	野田川町	37	3.3	99	2.68	1,659	16.8	147	44.8	0.85	2,639	71	234
1994年	峰山町	80	5.6	218	2.73	3,294	15.1	230	41.2	1.33	5,991	75	418
1994年	大宮町	24	2.3	58	2.42	734	12.7	69	30.6	0.40	1,082	45	102
1994年	網野町	51	3.0	142	2.78	2,167	15.3	126	42.5	0.73	2,989	59	174
1994年	丹後町	15	1.9	31	2.07	373	12.0	47	24.9	0.27	949	63	119
1994年	弥栄町	6	1.0	15	2.50	174	11.6	28	29.0	0.16	192		
1994年	久美浜町	28	2.2	48	1.71	450	9.4	35	16.1	0.20	1,036	37	80

資料:商業統計表(経済産業省)より作成

野田川町と近隣市町の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移

		56飲食料品小売業											
		商店数	人口1000人当たり商店数	従業者数(人)	商店当たり従業者数(人)	年間販売額(百万円)	従業者当たり販売額(百万円)	人口1000人当たり販売額(百万円)	商店当たり販売額(百万円)	小売吸引力	売場面積(m ²)	商店当たり売場面積(m ²)	人口1000人当たり売場面積(m ²)
1999年	京都府合計	11,295	4.4	72,278	6.40	1,004,900	13.9	392	89.0	1.00	725,648	64	283
1999年	福知山市	276	4.1	1,665	6.03	30,352	18.2	448	110.0	1.14	22,056	80	326
1999年	舞鶴市	406	4.3	2,166	5.33	36,359	16.8	388	89.6	0.99	28,874	71	308
1999年	宮津市	130	5.4	529	4.07	8,406	15.9	346	64.7	0.88	8,970	69	369
1999年	夜久野町	22	4.2	48	2.18	764	15.9	147	34.7	0.37	1,150	52	221
1999年	大江町	22	3.7	73	3.32	1,099	15.1	184	50.0	0.47	1,484	67	248
1999年	加悦町	37	4.5	174	4.70	2,517	14.5	307	68.0	0.78	2,784	75	339
1999年	岩滝町	36	5.3	163	4.53	3,508	21.5	513	97.4	1.31	2,872	80	420
1999年	伊根町	19	5.7	45	2.37	558	12.4	167	29.4	0.43	475	25	142
1999年	野田川町	59	5.2	270	4.58	4,643	17.2	410	78.7	1.05	4,790	81	423
1999年	峰山町	73	5.2	335	4.59	6,229	18.6	445	85.3	1.13	5,859	80	419
1999年	大宮町	40	3.6	198	4.95	4,500	22.7	410	112.5	1.04	2,919	73	266
1999年	網野町	80	4.8	299	3.74	6,435	21.5	387	80.4	0.99	6,569	82	395
1999年	丹後町	66	8.8	163	2.47	2,564	15.7	340	38.8	0.87	3,854	58	511
1999年	弥栄町	28	4.5	89	3.18	1,310	14.7	209	46.8	0.53	1,269	45	202
1999年	久美浜町	52	4.2	159	3.06	2,949	18.5	238	56.7	0.61	2,717	52	220
1997年	京都府合計	11,929	4.7	64,191	5.38	970,959	15.1	380	81.4	1.00	663,535	56	260
1997年	福知山市	274	4.1	1,451	5.30	31,734	21.9	473	115.8	1.24	20,389	74	304
1997年	舞鶴市	448	4.8	2,118	4.73	36,333	17.2	387	81.1	1.02	29,043	65	309
1997年	宮津市	153	6.1	677	4.42	10,000	14.8	401	65.4	1.06	10,401	68	417
1997年	夜久野町	23	4.3	48	2.09	743	15.5	140	32.3	0.37	1,006	44	189
1997年	大江町	26	4.3	86	3.31	1,233	14.3	202	47.4	0.53	1,676	64	275
1997年	加悦町	35	4.2	149	4.26	2,625	17.6	317	75.0	0.83	2,566	73	310
1997年	岩滝町	39	5.7	176	4.51	3,349	19.0	488	85.9	1.28	3,050	78	445
1997年	伊根町	16	4.7	32	2.00	330	10.3	96	20.6	0.25	389	24	114
	野田川町	53	4.7	237	4.47	4,368	18.4	389	82.4	1.02	4,037	76	359
1997年	峰山町	85	6.0	304	3.58	6,719	22.1	473	79.0	1.25	7,109	84	501
1997年	大宮町	41	3.8	168	4.10	4,592	27.3	422	112.0	1.11	2,608	64	240
1997年	網野町	87	5.1	313	3.60	6,972	22.3	412	80.1	1.08	5,225	60	309
1997年	丹後町	64	8.3	144	2.25	2,673	18.6	345	41.8	0.91	3,178	50	411
1997年	弥栄町	29	4.6	92	3.17	1,336	14.5	214	46.1	0.56	1,354	47	217
1997年	久美浜町	57	4.5	177	3.11	3,239	18.3	257	56.8	0.68	2,845	50	226
1994年	京都府合計	12,934	5.1	63,801	4.93	1,010,247	15.8	397	78.1	1.00	677,649	52	267
1994年	福知山市	305	4.6	1,340	4.39	24,910	18.6	376	81.7	0.95	17,516	57	264
1994年	舞鶴市	487	5.1	2,153	4.42	38,390	17.8	406	78.8	1.02	29,504	61	312
1994年	宮津市	163	6.3	649	3.98	10,416	16.0	403	63.9	1.02	10,547	65	408
1994年	夜久野町	30	5.5	56	1.87	927	16.6	171	30.9	0.43	1,337	45	246
1994年	大江町	31	5.0	98	3.16	1,514	15.4	246	48.8	0.62	2,111	68	342
1994年	加悦町	42	5.0	138	3.29	2,374	17.2	285	56.5	0.72	2,626	63	316
1994年	岩滝町	36	5.2	171	4.75	3,301	19.3	481	91.7	1.21	2,973	83	433
1994年	伊根町	20	5.7	39	1.95	463	11.9	132	23.2	0.33	561	28	160
1994年	野田川町	57	5.1	232	4.07	4,236	18.3	376	74.3	0.95	4,885	86	433
1994年	峰山町	99	6.9	314	3.17	5,633	17.9	393	56.9	0.99	6,537	66	456
1994年	大宮町	42	4.0	181	4.31	4,656	25.7	438	110.9	1.10	2,728	65	257
1994年	網野町	87	5.1	353	4.06	8,038	22.8	469	92.4	1.18	5,173	59	302
1994年	丹後町	65	8.1	160	2.46	3,185	19.9	399	49.0	1.00	2,927	45	367
1994年	弥栄町	30	4.8	100	3.33	1,456	14.6	233	48.5	0.59	1,794	60	287
1994年	久美浜町	70	5.4	192	2.74	3,028	15.8	234	43.3	0.59	3,796	54	293

資料:商業統計表(経済産業省)より作成

野田川町と近隣市町の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移

		57自動車・自転車小売業											
		商店数	人口1000人当たり商店数	従業者数(人)	商店当たり従業者数(人)	年間販売額(百万円)	従業者当たり販売額(百万円)	人口1000人当たり販売額(百万円)	商店当たり販売額(百万円)	小売吸引力	売場面積(m ²)	商店当たり売場面積(m ²)	人口1000人当たり売場面積(m ²)
1999年	京都府合計	1,955	0.8	11,970	6.12	371,151	31.0	145	189.8	1.00	68,816	35	27
1999年	福知山市	88	1.3	661	7.51	20,207	30.6	298	229.6	2.06	3,096	35	46
1999年	舞鶴市	96	1.0	567	5.91	16,588	29.3	177	172.8	1.22	3,437	36	37
1999年	宮津市	21	0.9	90	4.29	1,461	16.2	60	69.6	0.42	264	13	11
1999年	夜久野町	3	0.6	8	2.67	99	12.4	19	33.0	0.13	609	203	117
1999年	大江町	6	1.0	20	3.33								
1999年	加悦町	9	1.1	29	3.22	328	11.3	40	36.4	0.28	144	16	18
1999年	岩滝町	7	1.0	30	4.29	562	18.7	82	80.3	0.57	436	62	64
1999年	伊根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1999年	野田川町	26	2.3	141	5.42	2,933	20.8	259	112.8	1.79	793	31	70
1999年	峰山町	30	2.1	201	6.70								
1999年	大宮町	13	1.2	43	3.31								
1999年	網野町	21	1.3	108	5.14								
1999年	丹後町	10	1.3	55	5.50	1,062	19.3	141	106.2	0.97	46	5	6
1999年	弥栄町	3	0.5	17	5.67	316	18.6	50	105.3	0.35	20	7	3
1999年	久美浜町	12	1.0	50	4.17								
1997年	京都府合計	1,857	0.7	12,182	6.56	409,151	33.6	160	220.3	1.00	71,208	38	28
1997年	福知山市	94	1.4	606	6.45	19,697	32.5	293	209.5	1.83	3,553	38	53
1997年	舞鶴市	105	1.1	636	6.06	22,973	36.1	245	218.8	1.53	3,529	34	38
1997年	宮津市	19	0.8										
1997年	夜久野町	3	0.6	7	2.33	103	14.7	19	34.3	0.12	572	191	107
1997年	大江町	6	1.0										
1997年	加悦町	7	0.8	22	3.14	290	13.2	35	41.4	0.22	114	16	14
1997年	岩滝町	6	0.9	22	3.67	304	13.8	44	50.7	0.28	120	20	17
1997年	伊根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1997年	野田川町	20	1.8	107	5.35	3,163	29.6	281	158.2	1.76	345	17	31
1997年	峰山町	28	2.0										
1997年	大宮町	10	0.9	34	3.40	2,915	85.7	268	291.5	1.67	691	69	64
1997年	網野町	19	1.1	100	5.26	2,218	22.2	131	116.7	0.82	328	17	19
1997年	丹後町	11	1.4	55	5.00	1,095	19.9	141	99.5	0.88	59	5	8
1997年	弥栄町	5	0.8	17	3.40	268	15.8	43	53.6	0.27	108	22	17
1997年	久美浜町	13	1.0	43	3.31	832	19.3	66	64.0	0.41	153	12	12
1994年	京都府合計	1,959	0.8	12,151	6.20	375,286	30.9	148	191.6	1.00	81,730	42	32
1994年	福知山市	103	1.6	604	5.86	16,500	27.3	249	160.2	1.69	2,665	26	40
1994年	舞鶴市	104	1.1	654	6.29	19,492	29.8	206	187.4	1.40	4,517	43	48
1994年	宮津市	21	0.8										
1994年	夜久野町	2	0.4										
1994年	大江町	7	1.1	23	3.29	379	16.5	61	54.1	0.42	303	43	49
1994年	加悦町	7	0.8	25	3.57	255	10.2	31	36.4	0.21	144	21	17
1994年	岩滝町	6	0.9										
1994年	伊根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1994年	野田川町	20	1.8										
1994年	峰山町	32	2.2										
1994年	大宮町	10	0.9										
1994年	網野町	19	1.1										
1994年	丹後町	12	1.5	54	4.50	876	16.2	110	73.0	0.74	143	12	18
1994年	弥栄町	4	0.6	17	4.25	210	12.4	34	52.5	0.23	248	62	40
1994年	久美浜町	13	1.0	44	3.38	522	11.9	40	40.2	0.27	416	32	32

資料: 商業統計表(経済産業省)より作成

野田川町と近隣市町の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移

		58家具・什器・家庭用・機械器具小売業											
		商店数	人口1000人当たり商店数	従業者数(人)	商店当たり従業者数(人)	年間販売額(百万円)	従業者当たり販売額(百万円)	人口1000人当たり販売額(百万円)	商店当たり販売額(百万円)	小売吸引力	売場面積(m ²)	商店当たり売場面積(m ²)	人口1000人当たり売場面積(m ²)
1999年	京都府合計	3,511	1.4	15,234	4.34	284,955	18.7	111	81.2	1.00	368,316	105	144
1999年	福知山市	122	1.8	499	4.09	11,001	22.0	162	90.2	1.46	20,554	168	304
1999年	舞鶴市	153	1.6	497	3.25	10,679	21.5	114	69.8	1.02	19,441	127	207
1999年	宮津市	57	2.3	167	2.93								
1999年	夜久野町	9	1.7	18	2.00	123	6.8	24	13.7	0.21	111	12	21
1999年	大江町	11	1.8	15	1.36	142	9.5	24	12.9	0.21	213	19	36
1999年	加悦町	15	1.8	52	3.47	693	13.3	84	46.2	0.76	2,161	144	263
1999年	岩滝町	17	2.5	58	3.41	647	11.2	95	38.1	0.85	1,386	82	203
1999年	伊根町	7	2.1	11	1.57	46	4.2	14	6.6	0.12	121	17	36
1999年	野田川町	24	2.1	60	2.50	736	12.3	65	30.7	0.58	1,026	43	91
1999年	峰山町	42	3.0	168	4.00	1,930	11.5	138	46.0	1.24	7,552	180	539
1999年	大宮町	15	1.4	58	3.87	1,193	20.6	109	79.5	0.98	1,764	118	161
1999年	網野町	25	1.5	82	3.28	1,162	14.2	70	46.5	0.63	3,495	140	210
1999年	丹後町	17	2.3	27	1.59	215	8.0	29	12.6	0.26	431	25	57
1999年	弥栄町	2	0.3	4	2.00								
1999年	久美浜町	23	1.9	55	2.39	664	12.1	54	28.9	0.48	648	28	52
1997年	京都府合計	3,495	1.4	14,113	4.04	282,213	20.0	110	80.7	1.00	340,884	98	133
1997年	福知山市	123	1.8	467	3.80	9,565	20.5	142	77.8	1.29	17,467	142	260
1997年	舞鶴市	153	1.6	522	3.41	11,302	21.7	120	73.9	1.09	19,900	130	212
1997年	宮津市	61	2.4	188	3.08	2,324	12.4	93	38.1	0.84	3,264	54	131
1997年	夜久野町	9	1.7	21	2.33	152	7.2	29	16.9	0.26	123	14	23
1997年	大江町	11	1.8	25	2.27	205	8.2	34	18.6	0.30	182	17	30
1997年	加悦町	13	1.6	37	2.85	521	14.1	63	40.1	0.57	1,261	97	152
1997年	岩滝町	17	2.5	60	3.53	678	11.3	99	39.9	0.89	490	29	71
1997年	伊根町	4	1.2	7	1.75	74	10.6	22	18.5	0.20	65	16	19
1997年	野田川町	17	1.5	57	3.35	706	12.4	63	41.5	0.57	726	43	65
1997年	峰山町	46	3.2	128	2.78	2,151	16.8	152	46.8	1.37	4,154	90	293
1997年	大宮町	16	1.5	74	4.63	1,574	21.3	145	98.4	1.31	2,321	145	213
1997年	網野町	27	1.6	85	3.15	1,586	18.7	94	58.7	0.85	2,338	87	138
1997年	丹後町	18	2.3	32	1.78	252	7.9	33	14.0	0.29	396	22	51
1997年	弥栄町	4	0.6										
1997年	久美浜町	30	2.4	79	2.63	738	9.3	59	24.6	0.53	1,034	34	82
1994年	京都府合計	3,754	1.5	14,581	3.88	270,523	18.6	106	72.1	1.00	350,124	93	138
1994年	福知山市	140	2.1	529	3.78	9,970	18.8	150	71.2	1.41	20,346	145	307
1994年	舞鶴市	160	1.7	497	3.11	8,936	18.0	94	55.9	0.89	17,857	112	189
1994年	宮津市	64	2.5	191	2.98	2,462	12.9	95	38.5	0.90	4,387	69	170
1994年	夜久野町	10	1.8	24	2.40	181	7.5	33	18.1	0.31	310	31	57
1994年	大江町	12	1.9	35	2.92	322	9.2	52	26.8	0.49	230	19	37
1994年	加悦町	14	1.7	33	2.36	387	11.7	47	27.6	0.44	798	57	96
1994年	岩滝町	20	2.9	76	3.80	771	10.1	112	38.6	1.05	921	46	134
1994年	伊根町	6	1.7	14	2.33	114	8.1	32	19.0	0.30	94	16	27
	野田川町	24	2.1	71	2.96	767	10.8	68	32.0	0.64	1,428	60	127
1994年	峰山町	54	3.8	147	2.72	2,468	16.8	172	45.7	1.62	5,842	108	407
1994年	大宮町	16	1.5	67	4.19	1,228	18.3	116	76.8	1.09	1,623	101	153
1994年	網野町	27	1.6	92	3.41	1,325	14.4	77	49.1	0.73	2,491	92	145
1994年	丹後町	20	2.5	43	2.15	378	8.8	47	18.9	0.45	564	28	71
1994年	弥栄町	4	0.6										
1994年	久美浜町	33	2.5	74	2.24	1,252	16.9	97	37.9	0.91	2,092	63	162

資料: 商業統計表(経済産業省)より作成

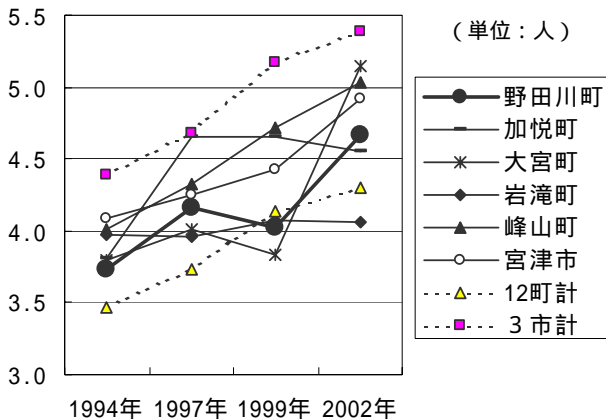
野田川町と近隣市町の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移

		59その他の小売業											
		商店数	人口1000人当たり商店数	従業者数(人)	商店当たり従業者数(人)	年間販売額(百万円)	従業者当たり販売額(百万円)	人口1000人当たり販売額(百万円)	商店当たり販売額(百万円)	小売吸引力	売場面積(m ²)	商店当たり売場面積(m ²)	人口1000人当たり売場面積(m ²)
1999年	京都府合計	10,957	4.3	55,788	5.09	772,402	13.8	302	70.5	1.00	588,482	54	230
1999年	福知山市	323	4.8	1,995	6.18	24,592	12.3	363	76.1	1.20	16,780	52	248
1999年	舞鶴市	462	4.9	2,244	4.86	28,380	12.6	303	61.4	1.00	23,136	50	247
1999年	宮津市	168	6.9	872	5.19	7,787	8.9	320	46.4	1.06	8,730	52	359
1999年	夜久野町	27	5.2	102	3.78	1,679	16.5	322	62.2	1.07	823	30	158
1999年	大江町	29	4.8	100	3.45	866	8.7	145	29.9	0.48	598	21	100
1999年	加悦町	39	4.8	285	7.31	2,072	7.3	253	53.1	0.84	1,788	46	218
1999年	岩滝町	37	5.4	173	4.68	1,879	10.9	275	50.8	0.91	1,384	37	202
1999年	伊根町	17	5.1	38	2.24	212	5.6	63	12.5	0.21	157	9	47
1999年	野田川町	52	4.6	198	3.81	3,192	16.1	282	61.4	0.93	4,063	78	359
1999年	峰山町	101	7.2	433	4.29	6,324	14.6	452	62.6	1.50	7,366	73	526
1999年	大宮町	58	5.3	224	3.86	3,106	13.9	283	53.6	0.94	4,679	81	426
1999年	網野町	78	4.7	358	4.59	4,332	12.1	260	55.5	0.86	3,319	43	200
1999年	丹後町	36	4.8	157	4.36	1,390	8.9	184	38.6	0.61	1,178	33	156
1999年	弥栄町	14	2.2	76	5.43	725	9.5	116	51.8	0.38	326	23	52
1999年	久美浜町	57	4.6	269	4.72	3,292	12.2	266	57.8	0.88	4,046	71	327
1997年	京都府合計	10,252	4.0	49,406	4.82	766,020	15.5	300	74.7	1.00	554,152	54	217
1997年	福知山市	305	4.5	1,763	5.78	25,841	14.7	385	84.7	1.28	22,067	72	329
1997年	舞鶴市	435	4.6	1,793	4.12	28,141	15.7	300	64.7	1.00	22,287	51	237
1997年	宮津市	172	6.9										
1997年	夜久野町	27	5.1	125	4.63	1,824	14.6	343	67.6	1.14	996	37	187
1997年	大江町	26	4.3	134	5.15	817	6.1	134	31.4	0.45	538	21	88
1997年	加悦町	38	4.6	278	7.32	2,352	8.5	284	61.9	0.95	3,219	85	389
1997年	岩滝町	37	5.4	160	4.32	1,710	10.7	249	46.2	0.83	1,909	52	278
1997年	伊根町	17	5.0	66	3.88	399	6.0	117	23.5	0.39	397	23	116
年	野田川町	50	4.4	205	4.10	3,488	17.0	310	69.8	1.03	3,867	77	344
1997年	峰山町	101	7.1	444	4.40	8,473	19.1	597	83.9	1.99	8,070	80	569
1997年	大宮町	50	4.6	234	4.68	3,551	15.2	326	71.0	1.09	3,892	78	358
1997年	網野町	82	4.8	368	4.49	4,943	13.4	292	60.3	0.97	3,613	44	213
1997年	丹後町	39	5.0	206	5.28	1,674	8.1	216	42.9	0.72	1,067	27	138
1997年	弥栄町	15	2.4	79	5.27	774	9.8	124	51.6	0.41	512	34	82
1997年	久美浜町	54	4.3	206	3.81	2,998	14.6	238	55.5	0.79	1,960	36	156
1994年	京都府合計	10,673	4.2	49,620	4.65	722,362	14.6	284	67.7	1.00	526,300	49	207
1994年	福知山市	323	4.9	1,659	5.14	24,018	14.5	362	74.4	1.27	16,973	53	256
1994年	舞鶴市	454	4.8	1,932	4.26	27,275	14.1	288	60.1	1.01	26,910	59	284
1994年	宮津市	187	7.2	906	4.84	11,207	12.4	434	59.9	1.53	10,664	57	413
1994年	夜久野町	26	4.8	70	2.69	1,990	28.4	366	76.5	1.29	1,385	53	255
1994年	大江町	28	4.5	131	4.68	931	7.1	151	33.3	0.53	1,175	42	191
1994年	加悦町	46	5.5	266	5.78	2,633	9.9	316	57.2	1.11	1,941	42	233
1994年	岩滝町	35	5.1	139	3.97	1,542	11.1	224	44.1	0.79	985	28	143
1994年	伊根町	18	5.1	62	3.44	483	7.8	137	26.8	0.48	465	26	132
1994年	野田川町	51	4.5	212	4.16	2,745	12.9	244	53.8	0.86	2,583	51	229
1994年	峰山町	102	7.1	442	4.33	7,712	17.4	538	75.6	1.89	7,294	72	509
1994年	大宮町	50	4.7	191	3.82	2,523	13.2	237	50.5	0.84	2,387	48	225
1994年	網野町	78	4.5	369	4.73	4,827	13.1	281	61.9	0.99	3,941	51	230
1994年	丹後町	43	5.4	159	3.70	1,444	9.1	181	33.6	0.64	746	17	93
1994年	弥栄町	16	2.6	57	3.56	777	13.6	124	48.6	0.44	433	27	69
1994年	久美浜町	57	4.4	215	3.77	2,818	13.1	218	49.4	0.77	2,522	44	195

資料:商業統計表(経済産業省)より作成

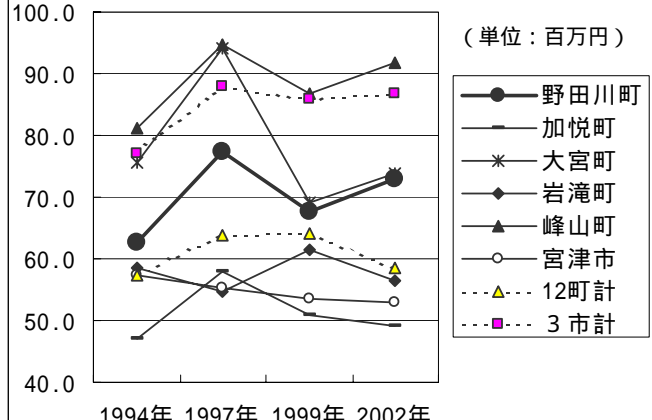
野田川町と近隣市町の小売業の商店当たり従業者数・年間販売額・売場面積の推移

野田川町と近隣市町の商店当たり従業者数の推移



1994年 1997年 1999年 2002年
資料：商業統計表（経済産業省）より作成

野田川町と近隣市町の商店当たり年間販売額の推移



1994年 1997年 1999年 2002年
資料：商業統計表（経済産業省）より作成

野田川町と近隣市町の商店当たり従業者数

		(単位：人、件)			
		1994年	1997年	1999年	2002年
15市町計	従業者数(人)	19,688	19,577	21,101	20,392
秘匿(を除外)	商店当たり従業者数(人)	4.0	4.3	4.8	5.0
	商店数	4,879	4,528	4,401	4,097
3市計	従業者数(人)	13,278	13,199	14,501	13,700
	商店当たり従業者数(人)	4.4	4.7	5.2	5.4
	商店数	3,029	2,817	2,804	2,543
12町計	従業者数(人)	6,410	6,378	6,600	6,692
秘匿(を除外)	商店当たり従業者数(人)	3.5	3.7	4.1	4.3
	商店数	1,850	1,711	1,597	1,554
福知山市	従業者数(人)	4,984	5,086	5,968	5,198
	商店当たり従業者数(人)	4.7	5.2	6.0	5.7
	商店数	1,064	974	1,000	911
舞鶴市	従業者数(人)	6,216	6,105	6,576	6,478
	商店当たり従業者数(人)	4.3	4.5	4.8	5.3
	商店数	1,457	1,371	1,362	1,221
宮津市	従業者数(人)	2,078	2,008	1,957	2,024
	商店当たり従業者数(人)	4.1	4.3	4.4	4.9
	商店数	508	472	442	411
夜久野町	従業者数(人)	162	212	190	216
	商店当たり従業者数(人)	2.2	3.2	2.8	3.7
	商店数	73	67	67	59
大江町	従業者数(人)	303	288	221	258
	商店当たり従業者数(人)	3.4	3.6	2.8	3.7
	商店数	88	79	78	69
加悦町	従業者数(人)	556	591	642	583
	商店当たり従業者数(人)	3.8	4.7	4.7	4.6
	商店数	146	127	138	128
岩滝町	従業者数(人)	449	463	456	439
	商店当たり従業者数(人)	4.0	4.0	4.1	4.1
	商店数	113	117	112	108
伊根町	従業者数(人)	124	116	103	97
	商店当たり従業者数(人)	2.5	2.8	2.1	2.4
	商店数	49	42	48	40
野田川町	従業者数(人)	708	728	789	794
	商店当たり従業者数(人)	3.7	4.2	4.0	4.7
	商店数	190	175	196	170
峰山町	従業者数(人)	1,478	1,404	1,478	1,443
	商店当たり従業者数(人)	4.0	4.3	4.7	5.0
	商店数	368	325	313	287
大宮町	従業者数(人)	546	558	568	725
	商店当たり従業者数(人)	3.8	4.0	3.8	5.1
	商店数	144	139	148	141
網野町	従業者数(人)	1,064	1,002	949	1,020
	商店当たり従業者数(人)	4.0	3.9	3.9	4.4
	商店数	263	258	246	232
丹後町	従業者数(人)	447	468	430	378
	商店当たり従業者数(人)	2.9	3.2	3.0	3.0
	商店数	155	146	143	128
弥栄町	従業者数(人)			201	189
	商店当たり従業者数(人)			3.7	3.9
	商店数	60	59	54	49
久美浜町	従業者数(人)	573	548	573	550
	商店当たり従業者数(人)	2.9	3.1	10.6	3.8
	商店数	201	177	54	143

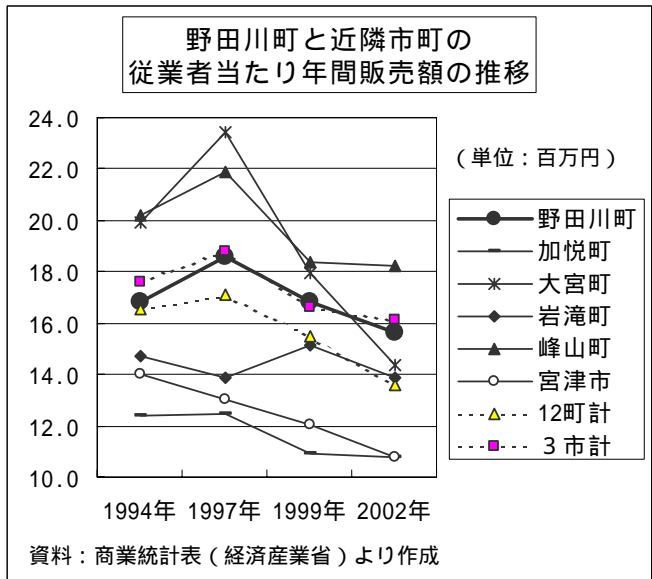
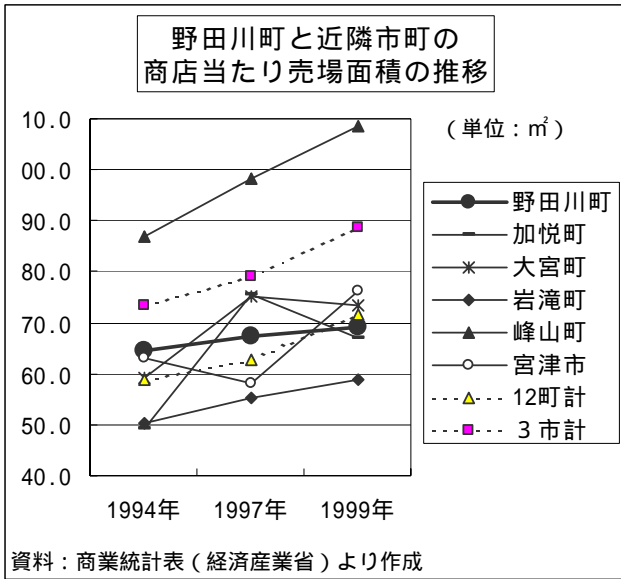
資料：商業統計表（経済産業省）より作成

野田川町と近隣市町の商店当たり年間販売額

		(単位：百万円、件)			
		1994年	1997年	1999年	2002年
15市町計	年間販売額(百万円)	339,906	357,268	343,354	311,500
秘匿(を除外)	商店当たり販売額(百万円)	69.7	78.9	78.0	76.0
	商店数	4,879	4,528	4,401	4,097
3市計	年間販売額(百万円)	233,776	248,037	241,136	220,400
	商店当たり販売額(百万円)	77.2	88.1	86.0	86.7
	商店数	3,029	2,817	2,804	2,543
12町計	年間販売額(百万円)	106,130	109,231	102,218	91,100
秘匿(を除外)	商店当たり販売額(百万円)	57.4	63.8	64.0	58.6
	商店数	1,850	1,711	1,597	1,554
福知山市	年間販売額(百万円)	92,829	103,723	104,617	91,300
	商店当たり販売額(百万円)	87.2	106.5	104.6	100.2
	商店数	1,064	974	1,000	911
舞鶴市	年間販売額(百万円)	111,853	118,151	112,891	107,300
	商店当たり販売額(百万円)	76.8	86.2	82.9	87.9
	商店数	1,457	1,371	1,362	1,221
宮津市	年間販売額(百万円)	29,094	26,163	23,628	21,800
	商店当たり販売額(百万円)	57.3	55.4	53.5	53.0
	商店数	508	472	442	411
夜久野町	年間販売額(百万円)	3,345	2,900	2,742	
	商店当たり販売額(百万円)	45.8	43.3	40.9	
	商店数	73	67	67	59
大江町	年間販売額(百万円)	3,257	2,792	2,570	
	商店当たり販売額(百万円)	37.0	35.3	32.9	
	商店数	88	79	78	69
加悦町	年間販売額(百万円)	6,875	7,350	7,014	6,300
	商店当たり販売額(百万円)	47.1	57.9	50.8	49.2
	商店数	146	127	138	128
岩滝町	年間販売額(百万円)	6,615	6,416	6,901	6,100
	商店当たり販売額(百万円)	58.5	54.8	61.6	56.5
	商店数	113	117	112	108
伊根町	年間販売額(百万円)	1,154	840	854	600
	商店当たり販売額(百万円)	23.6	20.0	17.8	15.0
	商店数	49	42	48	40
野田川町	年間販売額(百万円)	11,901	13,529	13,256	12,400
	商店当たり販売額(百万円)	62.6	77.3	67.6	72.9
	商店数	190	175	196	170
峰山町	年間販売額(百万円)	29,869	30,755	27,137	26,300
	商店当たり販売額(百万円)	81.2	94.6	86.7	91.6
	商店数	368	325	313	287
大宮町	年間販売額(百万円)	10,878	13,064	10,211	10,400
	商店当たり販売額(百万円)	75.5	94.0	69.0	73.8
	商店数	144	139	148	141
網野町	年間販売額(百万円)	17,912	17,297	14,902	14,100
	商店当たり販売額(百万円)	68.1	67.0	60.6	60.8
	商店数	263	258	246	232
丹後町	年間販売額(百万円)	6,254	6,109	5,640	4,800
	商店当たり販売額(百万円)	40.3	41.8	39.4	37.5
	商店数	155	146	143	128
弥栄町	年間販売額(百万円)			2,572	2,500
	商店当たり販売額(百万円)			47.6	51.0
	商店数	60	59	54	49
久美浜町	年間販売額(百万円)	8,070	8,179	8,419	7,600
	商店当たり販売額(百万円)	40.1	46.2	155.9	53.1
	商店数	201	177	54	143

資料：商業統計表（経済産業省）より作成

野田川町と近隣市町の小売業の従業者当たり年間販売額の推移



野田川町と近隣市町の商店当たり売場面積

		(単位: m ² , 件)		
		1994年	1997年	1999年
15市町計	売場面積 (m ²)	327,670	326,217	362,546
	秘匿(を除外) 商店当たり売場面積 (m ²)	68.0	73.0	82.4
	商店数	4,819	4,469	4,401
3市計	売場面積 (m ²)	222,422	222,531	248,211
	商店当たり売場面積 (m ²)	73.4	79.0	88.5
	商店数	3,029	2,817	2,804
12町計	売場面積 (m ²)	105,248	103,686	114,335
	秘匿(を除外) 商店当たり売場面積 (m ²)	58.8	62.8	71.6
	商店数	1,790	1,652	1,597
福知山市	売場面積 (m ²)	80,455	88,667	101,136
	商店当たり売場面積 (m ²)	75.6	91.0	101.1
	商店数	1,064	974	1,000
舞鶴市	売場面積 (m ²)	109,952	106,448	113,409
	商店当たり売場面積 (m ²)	75.5	77.6	83.3
	商店数	1,457	1,371	1,362
宮津市	売場面積 (m ²)	32,015	27,416	33,666
	商店当たり売場面積 (m ²)	63.0	58.1	76.2
	商店数	508	472	442
夜久野町	売場面積 (m ²)	3,859	2,877	2,888
	商店当たり売場面積 (m ²)	52.9	42.9	43.1
	商店数	73	67	67
大江町	売場面積 (m ²)	4,223	2,880	2,890
	商店当たり売場面積 (m ²)	48.0	36.5	37.1
	商店数	88	79	78
加悦町	売場面積 (m ²)	7,164	9,582	9,257
	商店当たり売場面積 (m ²)	49.1	75.4	67.1
	商店数	146	127	138
岩滝町	売場面積 (m ²)	5,693	6,453	6,571
	商店当たり売場面積 (m ²)	50.4	55.2	58.7
	商店数	113	117	112
伊根町	売場面積 (m ²)	1,300	967	824
	商店当たり売場面積 (m ²)	26.5	23.0	17.2
	商店数	49	42	48
野田川町	売場面積 (m ²)	12,273	11,793	13,533
	商店当たり売場面積 (m ²)	64.6	67.4	69.0
	商店数	190	175	196
峰山町	売場面積 (m ²)	31,929	31,885	34,037
	商店当たり売場面積 (m ²)	86.8	98.1	108.7
	商店数	368	325	313
大宮町	売場面積 (m ²)	8,534	10,444	10,869
	商店当たり売場面積 (m ²)	59.3	75.1	73.4
	商店数	144	139	148
網野町	売場面積 (m ²)	15,082	14,410	16,352
	商店当たり売場面積 (m ²)	57.3	55.9	66.5
	商店数	263	258	246
丹後町	売場面積 (m ²)	5,329	5,750	6,458
	商店当たり売場面積 (m ²)	34.4	39.4	45.2
	商店数	155	146	143
弥栄町	売場面積 (m ²)			2,242
	商店当たり売場面積 (m ²)			41.5
	商店数	60	59	54
久美浜町	売場面積 (m ²)	9,862	6,645	8,414
	商店当たり売場面積 (m ²)	49.1	37.5	155.8
	商店数	201	177	54

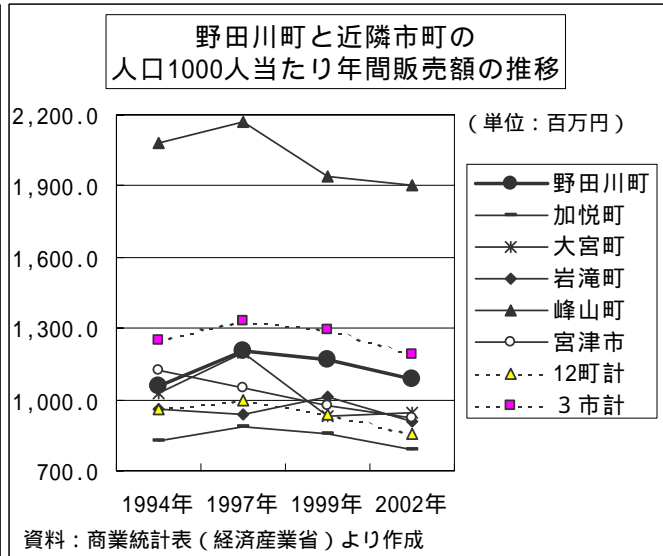
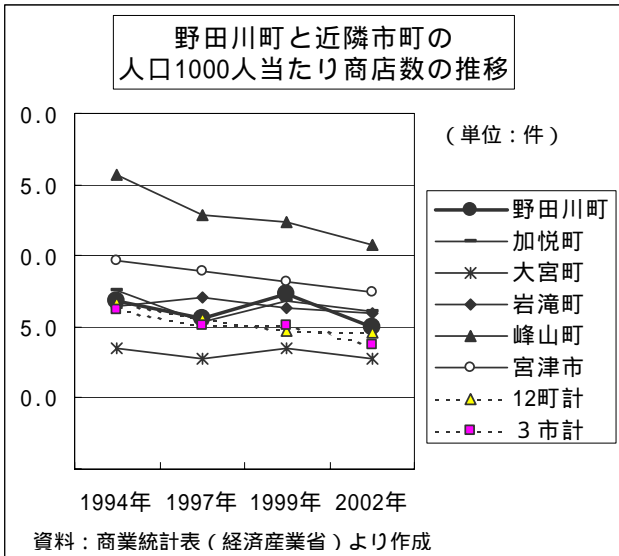
資料: 商業統計表(経済産業省)より作成

野田川町と近隣市町の従業者当たり年間販売額

		(単位: 百万円, 人)			
		1994年	1997年	1999年	2002年
15市町計	年間販売額 (百万円)	339,906	357,268	343,354	311,500
	秘匿(を除外) 従業者当たり販売額 (百万円)	17.3	18.2	16.3	15.3
	従業者数 (人)	19,688	19,577	21,101	20,392
3市計	年間販売額 (百万円)	233,776	248,037	241,136	220,400
	従業者当たり販売額 (百万円)	17.6	18.8	16.6	16.1
	従業者数 (人)	13,278	13,199	14,501	13,700
12町計	年間販売額 (百万円)	106,130	109,231	102,218	91,100
	秘匿(を除外) 従業者当たり販売額 (百万円)	16.6	17.1	15.5	13.6
	従業者数 (人)	6,410	6,378	6,600	6,692
福知山市	年間販売額 (百万円)	92,829	103,723	104,617	91,300
	従業者当たり販売額 (百万円)	18.6	20.4	17.5	17.6
	従業者数 (人)	4,984	5,086	5,968	5,198
舞鶴市	年間販売額 (百万円)	111,853	118,151	112,891	107,300
	従業者当たり販売額 (百万円)	18.0	19.4	17.2	16.6
	従業者数 (人)	6,216	6,105	6,576	6,478
宮津市	年間販売額 (百万円)	29,094	26,163	23,628	21,800
	従業者当たり販売額 (百万円)	14.0	13.0	12.1	10.8
	従業者数 (人)	2,078	2,008	1,957	2,024
夜久野町	年間販売額 (百万円)	3,345	2,900	2,742	
	従業者当たり販売額 (百万円)	20.6	13.7	14.4	
	従業者数 (人)	162	212	190	216
大江町	年間販売額 (百万円)	3,257	2,792	2,570	
	従業者当たり販売額 (百万円)	10.7	9.7	11.6	
	従業者数 (人)	303	288	221	258
加悦町	年間販売額 (百万円)	6,875	7,350	7,014	6,300
	従業者当たり販売額 (百万円)	12.4	12.4	10.9	10.8
	従業者数 (人)	556	591	642	583
岩滝町	年間販売額 (百万円)	6,615	6,416	6,901	6,100
	従業者当たり販売額 (百万円)	14.7	13.9	15.1	13.9
	従業者数 (人)	449	463	456	439
伊根町	年間販売額 (百万円)	1,154	840	854	600
	従業者当たり販売額 (百万円)	9.3	7.2	8.3	6.2
	従業者数 (人)	124	116	103	97
野田川町	年間販売額 (百万円)	11,901	13,529	13,256	12,400
	従業者当たり販売額 (百万円)	16.8	18.6	16.8	15.6
	従業者数 (人)	708	728	789	794
峰山町	年間販売額 (百万円)	29,869	30,755	27,137	26,300
	従業者当たり販売額 (百万円)	20.2	21.9	18.4	18.2
	従業者数 (人)	1,478	1,404	1,478	1,443
大宮町	年間販売額 (百万円)	10,878	13,064	10,211	10,400
	従業者当たり販売額 (百万円)	19.9	23.4	18.0	14.3
	従業者数 (人)	546	558	568	725
網野町	年間販売額 (百万円)	17,912	17,297	14,902	14,100
	従業者当たり販売額 (百万円)	16.8	17.3	15.7	13.8
	従業者数 (人)	1,064	1,002	949	1,020
丹後町	年間販売額 (百万円)	6,254	6,109	5,640	4,800
	従業者当たり販売額 (百万円)	14.0	13.1	13.1	12.7
	従業者数 (人)	447	468	430	378
弥栄町	年間販売額 (百万円)			2,572	2,500
	従業者当たり販売額 (百万円)			12.8	13.2
	従業者数 (人)			201	189
久美浜町	年間販売額 (百万円)	8,070	8,179	8,419	7,600
	従業者当たり販売額 (百万円)	14.1	14.9	14.7	13.8
	従業者数 (人)	573	548	573	550

資料: 商業統計表(経済産業省)より作成

野田川町と近隣市町の小売業の人口1000人当たり商店数・年間販売額・売場面積の推移



野田川町と近隣市町の人口1000人当たり商店数

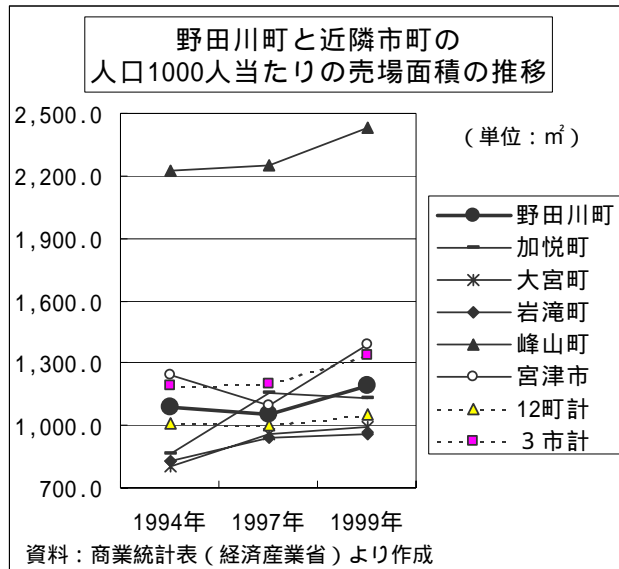
		(単位：件、人)			
		1994年	1997年	1999年	2002年
15市町計	商店数	4,879	4,528	4,401	4,097
	人口1000人当たり商店数	16.4	15.3	14.9	14.1
	住民基本台帳人口(人)	297,677	295,797	294,539	291,587
3市計	商店数	3,029	2,817	2,804	2,543
	人口1000人当たり商店数	16.2	15.1	15.1	13.8
	住民基本台帳人口(人)	186,799	185,998	185,835	184,878
12町計	商店数	1,850	1,711	1,597	1,554
	人口1000人当たり商店数	16.7	15.6	14.7	14.6
	住民基本台帳人口(人)	110,878	109,799	108,704	106,709
福知山市	商店数	1,064	974	1,000	911
	人口1000人当たり商店数	16.0	14.5	14.8	13.4
	住民基本台帳人口(人)	66,326	67,123	67,722	67,777
舞鶴市	商店数	1,457	1,371	1,362	1,221
	人口1000人当たり商店数	15.4	14.6	14.5	13.1
	住民基本台帳人口(人)	94,649	93,954	93,816	93,503
宮津市	商店数	508	472	442	411
	人口1000人当たり商店数	19.7	18.9	18.2	17.4
	住民基本台帳人口(人)	25,824	24,921	24,297	23,598
夜久野町	商店数	73	67	67	59
	人口1000人当たり商店数	13.4	12.6	12.9	11.9
	住民基本台帳人口(人)	5,433	5,324	5,212	4,975
大江町	商店数	88	79	78	69
	人口1000人当たり商店数	14.3	13.0	13.0	11.9
	住民基本台帳人口(人)	6,165	6,093	5,982	5,806
加悦町	商店数	146	127	138	128
	人口1000人当たり商店数	17.5	15.3	16.8	16.0
	住民基本台帳人口(人)	8,320	8,276	8,204	7,976
岩滝町	商店数	113	117	112	108
	人口1000人当たり商店数	16.5	17.1	16.4	16.0
	住民基本台帳人口(人)	6,869	6,859	6,841	6,744
伊根町	商店数	49	42	48	40
	人口1000人当たり商店数	13.9	12.3	14.3	12.8
	住民基本台帳人口(人)	3,517	3,420	3,345	3,136
野田川町	商店数	190	175	196	170
	人口1000人当たり商店数	16.9	15.6	17.3	14.9
	住民基本台帳人口(人)	11,270	11,243	11,324	11,383
峰山町	商店数	368	325	313	287
	人口1000人当たり商店数	25.7	22.9	22.4	20.8
	住民基本台帳人口(人)	14,343	14,195	14,000	13,801
大宮町	商店数	144	139	148	141
	人口1000人当たり商店数	13.6	12.8	13.5	12.8
	住民基本台帳人口(人)	10,627	10,879	10,987	11,038
網野町	商店数	263	258	246	232
	人口1000人当たり商店数	15.3	15.2	14.8	14.2
	住民基本台帳人口(人)	17,151	16,929	16,631	16,291
丹後町	商店数	155	146	143	128
	人口1000人当たり商店数	19.4	18.9	19.0	17.5
	住民基本台帳人口(人)	7,979	7,739	7,539	7,296
弥栄町	商店数	60	59	54	49
	人口1000人当たり商店数	9.6	9.5	8.6	8.0
	住民基本台帳人口(人)	6,261	6,242	6,273	6,091
久美浜町	商店数	201	177	54	143
	人口1000人当たり商店数	15.5	14.0	4.4	11.7
	住民基本台帳人口(人)	12,943	12,600	12,366	12,172

資料：商業統計表（経済産業省）より作成

野田川町と近隣市町の人口1000人当たり年間販売額

		(単位：百万円、人)			
		1994年	1997年	1999年	2002年
15市町計	年間販売額(百万円)	339,906	357,268	343,354	311,500
	人口1000人当たり販売額(百万円)	1,141.9	1,207.8	1,165.7	1,068.3
	住民基本台帳人口(人)	297,677	295,797	294,539	291,587
3市計	年間販売額(百万円)	233,776	248,037	241,136	220,400
	人口1000人当たり販売額(百万円)	1,251.5	1,333.5	1,297.6	1,192.1
	住民基本台帳人口(人)	186,799	185,998	185,835	184,878
12町計	年間販売額(百万円)	106,130	109,231	102,218	91,100
	人口1000人当たり販売額(百万円)	957.2	994.8	940.3	853.7
	住民基本台帳人口(人)	110,878	109,799	108,704	106,709
福知山市	年間販売額(百万円)	92,829	103,723	104,617	91,300
	人口1000人当たり販売額(百万円)	1,399.6	1,545.3	1,544.8	1,347.1
	住民基本台帳人口(人)	66,326	67,123	67,722	67,777
舞鶴市	年間販売額(百万円)	111,853	118,151	112,891	107,300
	人口1000人当たり販売額(百万円)	1,181.8	1,257.5	1,203.3	1,147.6
	住民基本台帳人口(人)	94,649	93,954	93,816	93,503
宮津市	年間販売額(百万円)	29,094	26,163	23,628	21,800
	人口1000人当たり販売額(百万円)	1,126.6	1,049.8	972.5	923.8
	住民基本台帳人口(人)	25,824	24,921	24,297	23,598
夜久野町	年間販売額(百万円)	3,345	2,900	2,742	
	人口1000人当たり販売額(百万円)	615.7	544.7	526.1	
	住民基本台帳人口(人)	5,433	5,324	5,212	4,975
大江町	年間販売額(百万円)	3,257	2,792	2,570	
	人口1000人当たり販売額(百万円)	528.3	458.2	429.6	
	住民基本台帳人口(人)	6,165	6,093	5,982	5,806
加悦町	年間販売額(百万円)	6,875	7,350	7,014	6,300
	人口1000人当たり販売額(百万円)	826.3	888.1	854.9	789.9
	住民基本台帳人口(人)	8,320	8,276	8,204	7,976
岩滝町	年間販売額(百万円)	6,615	6,416	6,901	6,100
	人口1000人当たり販売額(百万円)	963.0	935.4	1,008.8	904.5
	住民基本台帳人口(人)	6,869	6,859	6,841	6,744
伊根町	年間販売額(百万円)	1,154	840	854	600
	人口1000人当たり販売額(百万円)	328.1	245.6	255.3	191.3
	住民基本台帳人口(人)	3,517	3,420	3,345	3,136
野田川町	年間販売額(百万円)	11,901	13,529	13,256	12,400
	人口1000人当たり販売額(百万円)	1,056.0	1,203.3	1,170.6	1,089.3
	住民基本台帳人口(人)	11,270	11,243	11,324	11,383
峰山町	年間販売額(百万円)	29,869	30,755	27,137	26,300
	人口1000人当たり販売額(百万円)	2,082.5	2,166.6	1,938.4	1,905.7
	住民基本台帳人口(人)	14,343	14,195	14,000	13,801
大宮町	年間販売額(百万円)	10,878	13,064	10,211	10,400
	人口1000人当たり販売額(百万円)	1,023.6	1,200.8	929.4	942.2
	住民基本台帳人口(人)	10,627	10,879	10,987	11,038
網野町	年間販売額(百万円)	17,912	17,297	14,902	14,100
	人口1000人当たり販売額(百万円)	1,044.4	1,021.7	896.0	865.5
	住民基本台帳人口(人)	17,151	16,929	16,631	16,291
丹後町	年間販売額(百万円)	6,254	6,109	5,640	4,800
	人口1000人当たり販売額(百万円)	783.8	789.4	748.1	657.9
	住民基本台帳人口(人)	7,979.0	7,739.0	7,539.0	7,296.0
弥栄町	年間販売額(百万円)			2,572	2,500
	人口1000人当たり販売額(百万円)			410.0	410.4
	住民基本台帳人口(人)	6,261	6,242	6,273	6,091
久美浜町	年間販売額(百万円)	8,070	8,179	8,419	7,600
	人口1000人当たり販売額(百万円)	623.5	649.1	680.8	624.4
	住民基本台帳人口(人)	12,943	12,600	12,366	12,172

資料：商業統計表（経済産業省）より作成

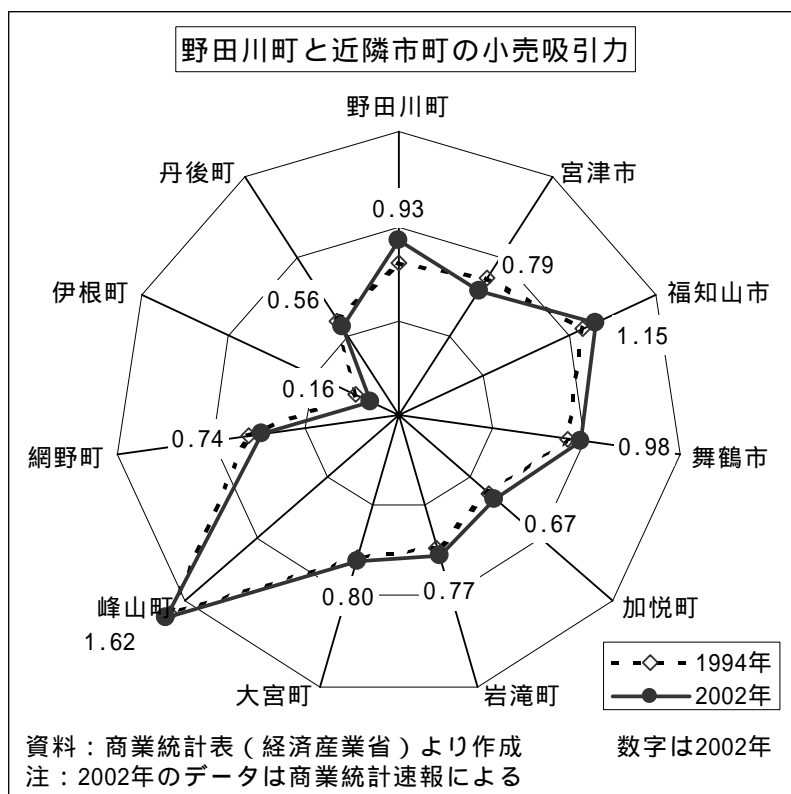


野田川町と近隣市町の人口1000人当たり売場面積
(単位: m², 人)

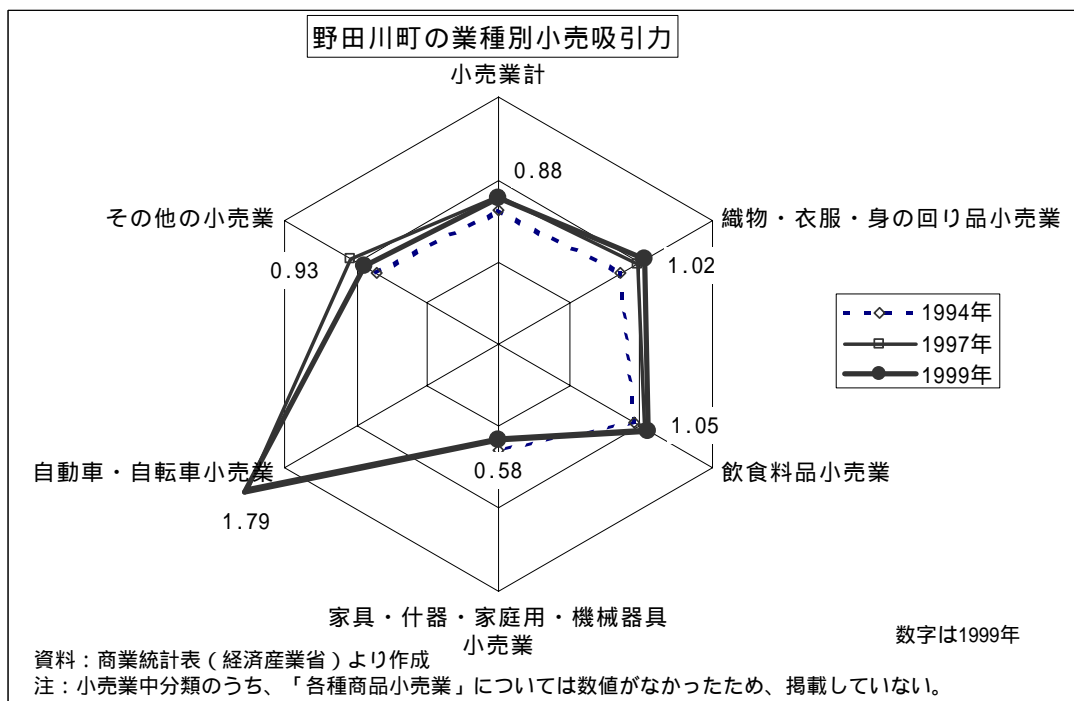
		1994年	1997年	1999年
15市町計 秘匿() を除く	売場面積 (m ²)	327,670	326,217	362,546
	人口1000人当たり売場面積	1,124.4	1,126.6	1,230.9
	住民基本台帳人口(人)	291,416	289,555	294,539
3市計	売場面積 (m ²)	222,422	222,531	248,211
	人口1000人当たり売場面積	1,190.7	1,196.4	1,335.7
	住民基本台帳人口(人)	186,799	185,998	185,835
12町計 秘匿() を除く	売場面積 (m ²)	105,248	103,686	114,335
	人口1000人当たり売場面積	1,006.0	1,001.2	1,051.8
	住民基本台帳人口(人)	104,617	103,557	108,704
福知山市	売場面積 (m ²)	80,455	88,667	101,136
	人口1000人当たり売場面積	1,213.0	1,321.0	1,493.4
	住民基本台帳人口(人)	66,326	67,123	67,722
舞鶴市	売場面積 (m ²)	109,952	106,448	113,409
	人口1000人当たり売場面積	1,161.7	1,133.0	1,208.8
	住民基本台帳人口(人)	94,649	93,954	93,816
宮津市	売場面積 (m ²)	32,015	27,416	33,666
	人口1000人当たり売場面積	1,239.7	1,100.1	1,385.6
	住民基本台帳人口(人)	25,824	24,921	24,297
夜久野町	売場面積 (m ²)	3,859	2,877	2,888
	人口1000人当たり売場面積	710.3	540.4	554.1
	住民基本台帳人口(人)	5,433	5,324	5,212
大江町	売場面積 (m ²)	4,223	2,880	2,890
	人口1000人当たり売場面積	685.0	472.7	483.1
	住民基本台帳人口(人)	6,165	6,093	5,982
加悦町	売場面積 (m ²)	7,164	9,582	9,257
	人口1000人当たり売場面積	861.1	1157.8	1128.4
	住民基本台帳人口(人)	8,320	8,276	8,204
岩滝町	売場面積 (m ²)	5,693	6,453	6,571
	人口1000人当たり売場面積	828.8	940.8	960.5
	住民基本台帳人口(人)	6,869	6,859	6,841
伊根町	売場面積 (m ²)	1,300	967	824
	人口1000人当たり売場面積	369.6	282.7	246.3
	住民基本台帳人口(人)	3,517	3,420	3,345
野田川町	売場面積 (m ²)	12,273	11,793	13,533
	人口1000人当たり売場面積	1,089.0	1,048.9	1,195.1
	住民基本台帳人口(人)	11,270	11,243	11,324
峰山町	売場面積 (m ²)	31,929	31,885	34,037
	人口1000人当たり売場面積	2,226.1	2,246.2	2,431.2
	住民基本台帳人口(人)	14,343	14,195	14,000
大宮町	売場面積 (m ²)	8,534	10,444	10,869
	人口1000人当たり売場面積	803.0	960.0	989.3
	住民基本台帳人口(人)	10,627	10,879	10,987
網野町	売場面積 (m ²)	15,082	14,410	16,352
	人口1000人当たり売場面積	879.4	851.2	983.2
	住民基本台帳人口(人)	17,151	16,929	16,631
丹後町	売場面積 (m ²)	5,329	5,750	6,458
	人口1000人当たり売場面積	667.9	743.0	856.6
	住民基本台帳人口(人)	7,979	7,739	7,539
弥栄町	売場面積 (m ²)			2,242
	人口1000人当たり売場面積			357.4
	住民基本台帳人口(人)	6,261	6,242	6,273
久美浜町	売場面積 (m ²)	9,862	6,645	8,414
	人口1000人当たり売場面積	762.0	527.4	680.4
	住民基本台帳人口(人)	12,943	12,600	12,366

資料: 商業統計表(経済産業省)より作成

野田川町と近隣市町の小売吸引力の推移



野田川町の業種別小売吸引力

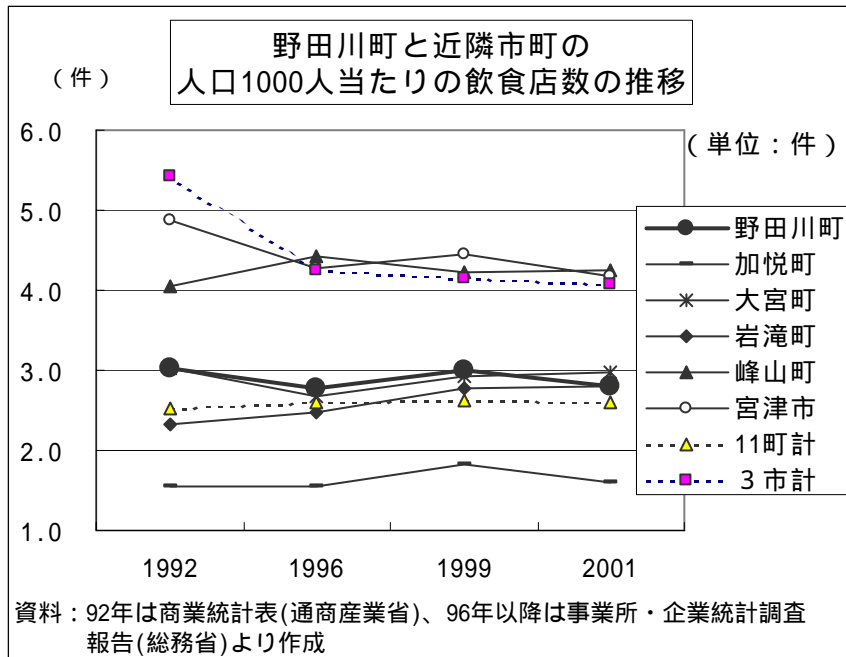


小売吸引力の説明

$$\text{小売吸引力} = \frac{\text{市町村の年間販売額}}{\text{市町村の人口}} \div \frac{\text{都道府県の年間販売額}}{\text{都道府県の人口}}$$

販売力係数等とも呼ばれる。この指数が1.00を上回れば、その市町村は他の市町村から買い物客を吸引し、逆に1.00を下回ればその市町村の住民は他の市町村で買い物をしていることになる。

野田川町と近隣市町の飲食店数の推移



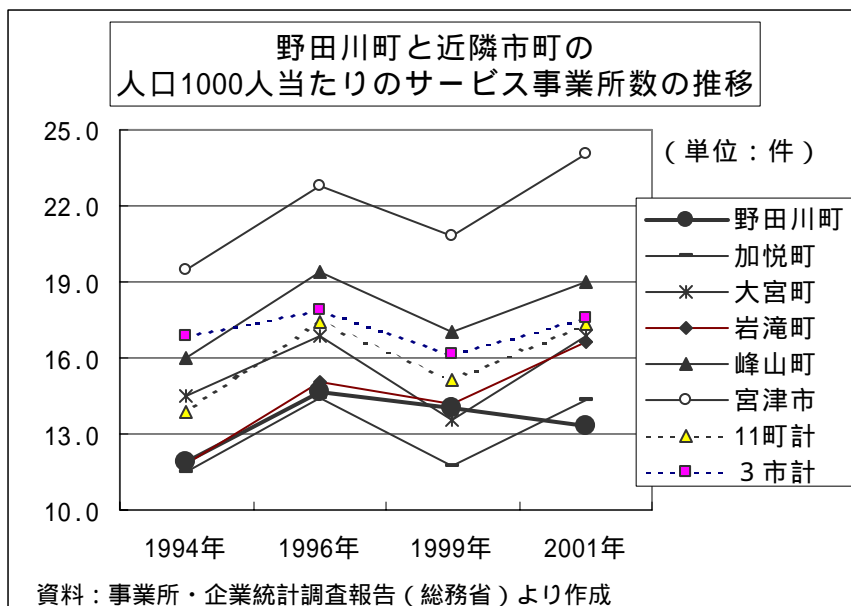
野田川町と近隣市町の飲食店数の推移

(単位：件)

		1992年	1996年	1999年	2001年
14市町計	店舗数	1,105	1,046	1,025	1,003
	人口1000人当たり件数	4.31	3.69	3.63	3.57
3市計	店舗数	855	792	771	755
	人口1000人当たり件数	5.42	4.25	4.15	4.07
11町計	店舗数	250	254	254	248
	人口1000人当たり件数	2.53	2.60	2.64	2.60
福知山市	店舗数	333	326	301	302
	人口1000人当たり件数	5.04	4.89	4.44	4.45
舞鶴市	店舗数	394	358	362	354
	人口1000人当たり件数	6.04	3.80	3.86	3.77
宮津市	店舗数	128	108	108	99
	人口1000人当たり件数	4.87	4.27	4.44	4.17
夜久野町	店舗数	15	15	12	11
	人口1000人当たり件数	2.71	2.79	2.30	2.17
大江町	店舗数	16	17	18	16
	人口1000人当たり件数	2.59	2.76	3.01	2.72
加悦町	店舗数	13	13	15	13
	人口1000人当たり件数	1.55	1.56	1.83	1.61
岩滝町	店舗数	16	17	19	19
	人口1000人当たり件数	2.32	2.48	2.78	2.80
伊根町	店舗数	3	5	6	7
	人口1000人当たり件数	0.83	1.46	1.79	2.18
野田川町	店舗数	34	31	34	32
	人口1000人当たり件数	3.02	2.77	3.00	2.80
峰山町	店舗数	59	63	59	59
	人口1000人当たり件数	4.05	4.42	4.21	4.26
大宮町	店舗数	32	29	32	33
	人口1000人当たり件数	3.03	2.68	2.91	2.99
網野町	店舗数	46	43	42	40
	人口1000人当たり件数	2.66	2.52	2.53	2.44
丹後町	店舗数	13	12	12	13
	人口1000人当たり件数	1.58	1.53	1.59	1.76
弥栄町	店舗数	3	9	5	5
	人口1000人当たり件数	0.47	1.44	0.80	0.81

資料：92年は商業統計表(通商産業省)、96年以降は事業所・企業統計調査報告(総務省)より作成

野田川町と近隣市町のサービス事業所数の推移



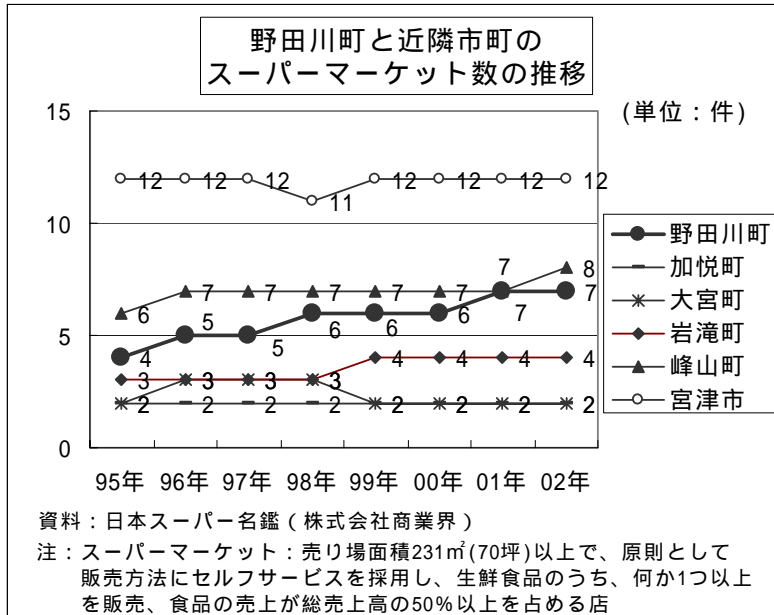
野田川町と近隣市町のサービス事業所数の推移

(単位：件)

		1994年	1996年	1999年	2001年
14市町計	事業所数	4,519	5,030	4,462	4,908
	人口1000人当たり事業所数	15.82	17.72	15.81	17.48
3市計	事業所数	3,162	3,330	3,007	3,254
	人口1000人当たり事業所数	16.85	17.88	16.18	17.55
11町計	事業所数	1,357	1,700	1,455	1,654
	人口1000人当たり事業所数	13.86	17.43	15.10	17.34
福知山市	事業所数	1,106	1,171	1,043	1,122
	人口1000人当たり事業所数	16.73	17.55	15.40	16.54
舞鶴市	事業所数	1,543	1,583	1,459	1,561
	人口1000人当たり事業所数	16.20	16.79	15.55	16.64
宮津市	事業所数	513	576	505	571
	人口1000人当たり事業所数	19.51	22.78	20.78	24.02
夜久野町	事業所数	54	75	56	67
	人口1000人当たり事業所数	9.94	13.96	10.74	13.20
大江町	事業所数	79	104	81	102
	人口1000人当たり事業所数	12.81	16.87	13.54	17.31
加悦町	事業所数	96	120	96	116
	人口1000人当たり事業所数	11.54	14.40	11.70	14.36
岩滝町	事業所数	81	103	97	113
	人口1000人当たり事業所数	11.79	15.02	14.18	16.66
伊根町	事業所数	61	83	61	72
	人口1000人当たり事業所数	17.34	24.23	18.24	22.42
野田川町	事業所数	134	164	159	152
	人口1000人当たり事業所数	11.89	14.64	14.04	13.30
峰山町	事業所数	230	276	238	263
	人口1000人当たり事業所数	16.04	19.36	17.00	18.97
大宮町	事業所数	154	182	149	186
	人口1000人当たり事業所数	14.49	16.83	13.56	16.83
網野町	事業所数	278	349	316	345
	人口1000人当たり事業所数	16.21	20.49	19.00	21.00
丹後町	事業所数	118	143	126	137
	人口1000人当たり事業所数	14.79	18.28	16.71	18.59
弥栄町	事業所数	72	101	76	101
	人口1000人当たり事業所数	11.50	16.12	12.12	16.31

資料：事業所・企業統計調査報告（総務省）より作成

野田川町と近隣市町のスーパーマーケット数の推移



野田川町と近隣市町のスーパーマーケット数の推移

(単位：件)

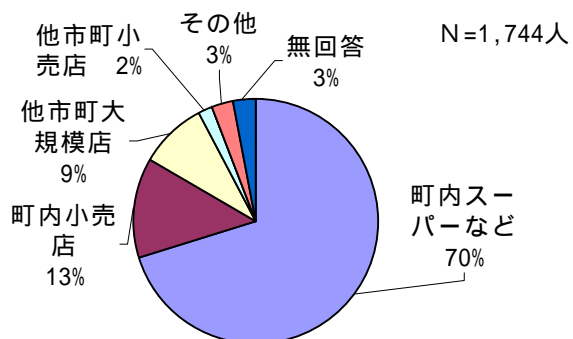
	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
14市町計	件数	82	93	96	94	96	99	100
	人口1000人当たり件数	0.29	0.33	0.34	0.33	0.34	0.33	0.36
3市計	件数	55	62	65	62	63	64	64
	人口1000人当たり件数	0.29	0.33	0.35	0.33	0.34	0.32	0.35
11町計	件数	27	31	31	32	33	34	36
	人口1000人当たり件数	0.28	0.32	0.32	0.33	0.34	0.35	0.38
福知山市	件数	22	27	27	27	29	27	30
	人口1000人当たり件数	0.33	0.40	0.40	0.40	0.43	0.40	0.44
舞鶴市	件数	21	23	26	24	22	21	22
	人口1000人当たり件数	0.22	0.24	0.28	0.26	0.23	0.22	0.24
宮津市	件数	12	12	12	11	12	12	12
	人口1000人当たり件数	0.47	0.47	0.48	0.45	0.49	0.50	0.51
夜久野町	件数	-	-	-	-	-	-	-
	人口1000人当たり件数	-	-	-	-	-	-	-
大江町	件数	1	1	1	1	1	1	1
	人口1000人当たり件数	0.16	0.16	0.16	0.17	0.17	0.17	0.17
加悦町	件数	2	2	2	2	2	2	2
	人口1000人当たり件数	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.25	0.25
岩滝町	件数	3	3	3	3	4	4	4
	人口1000人当たり件数	0.44	0.44	0.44	0.44	0.58	0.59	0.59
伊根町	件数	-	-	-	-	-	-	-
	人口1000人当たり件数	-	-	-	-	-	-	-
野田川町	件数	4	5	5	6	6	6	7
	人口1000人当たり件数	0.36	0.45	0.44	0.53	0.53	0.53	0.61
峰山町	件数	6	7	7	7	7	7	8
	人口1000人当たり件数	0.42	0.49	0.49	0.50	0.50	0.50	0.58
大宮町	件数	2	3	3	3	2	2	2
	人口1000人当たり件数	0.19	0.28	0.28	0.27	0.18	0.18	0.18
網野町	件数	6	7	7	7	8	8	8
	人口1000人当たり件数	0.35	0.41	0.41	0.42	0.48	0.48	0.49
丹後町	件数	2	2	2	2	2	2	2
	人口1000人当たり件数	0.25	0.26	0.26	0.26	0.27	0.27	0.27
弥栄町	件数	1	1	1	1	1	2	2
	人口1000人当たり件数	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.32	0.33

資料：日本スーパー名鑑（株式会社商業界）

注：スーパーマーケット：売り場面積231㎡(70坪)以上で、原則として販売方法にセルフサービスを採用し、生鮮食品のうち、何か1つ以上を販売、食品の売上が総売上高の50%以上を占める店

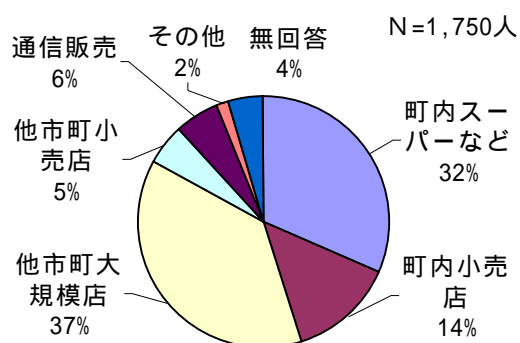
野田川町住民の商品別の商品購入先（アンケート調査データ）

野田川町住民の食料品の主な購入先



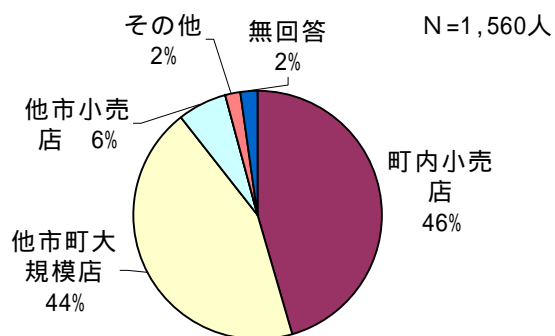
資料：野田川町生活実態調査（野田川町、2002年）

野田川町住民の衣料品の主な購入先



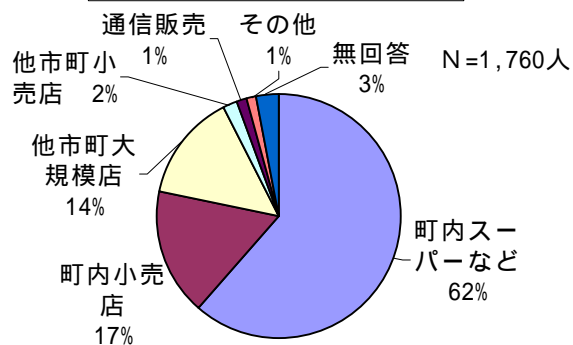
資料：野田川町生活実態調査（野田川町、2002年）

野田川町住民の家電製品の主な購入先



資料：野田川町生活実態調査（野田川町、2002年）

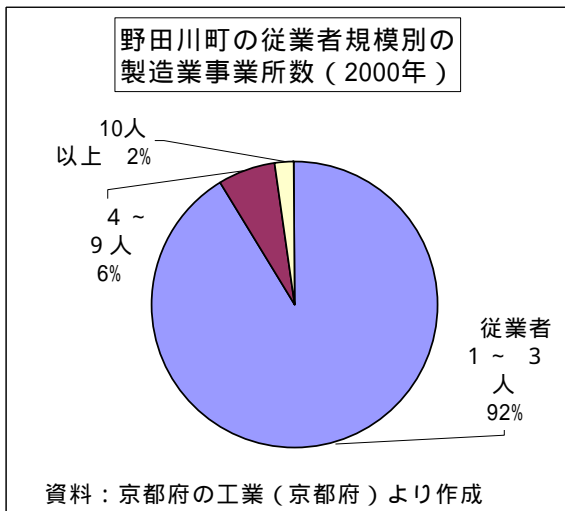
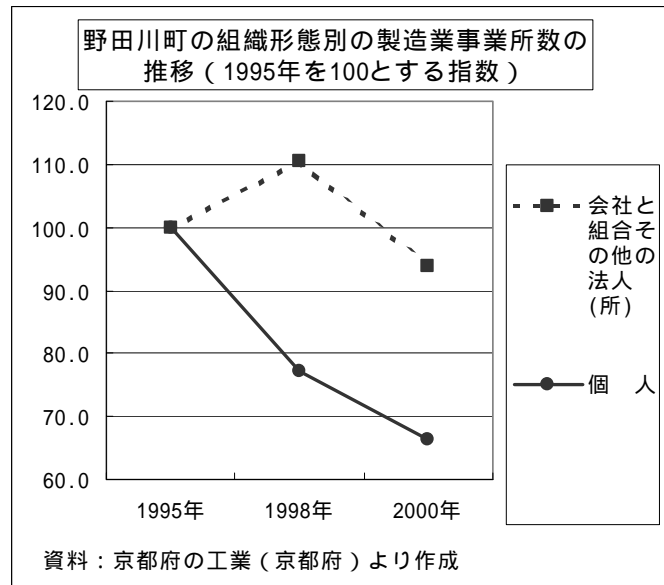
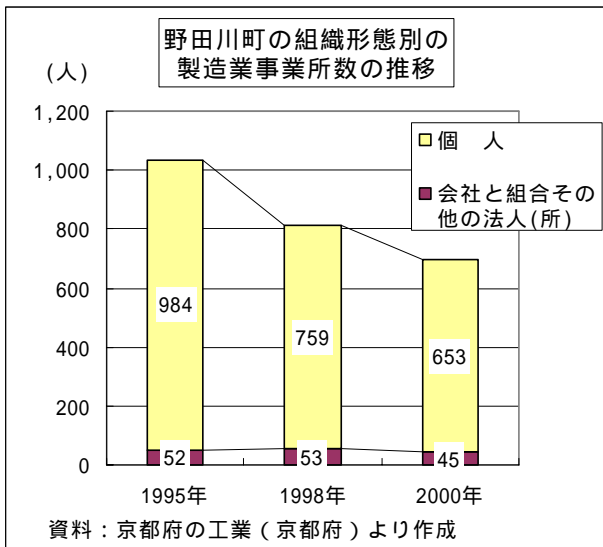
野田川町住民の生活物品の主な購入先



資料：野田川町生活実態調査（野田川町、2002年）

(3) 製造業

野田川町の製造業事業所数（組織形態別・従業者規模別）



野田川町の組織形態別の製造業事業所数の推移

	合計 (所)	会社			組合その他の法人			個人			
		1995年を100とした指数	1995年を100とした指数	構成比 (%)	1995年を100とした指数	1995年を100とした指数	構成比 (%)	1995年を100とした指数	1995年を100とした指数	構成比 (%)	
1995年	1,036	100.0	48	100.0	4.6	4	100.0	0.4	984	100.0	95.0
1998年	812	78.4	51	106.3	6.3	2	50.0	0.2	759	77.1	93.5
2000年	698	67.4	43	89.6	6.2	2	50.0	0.3	653	66.4	93.6

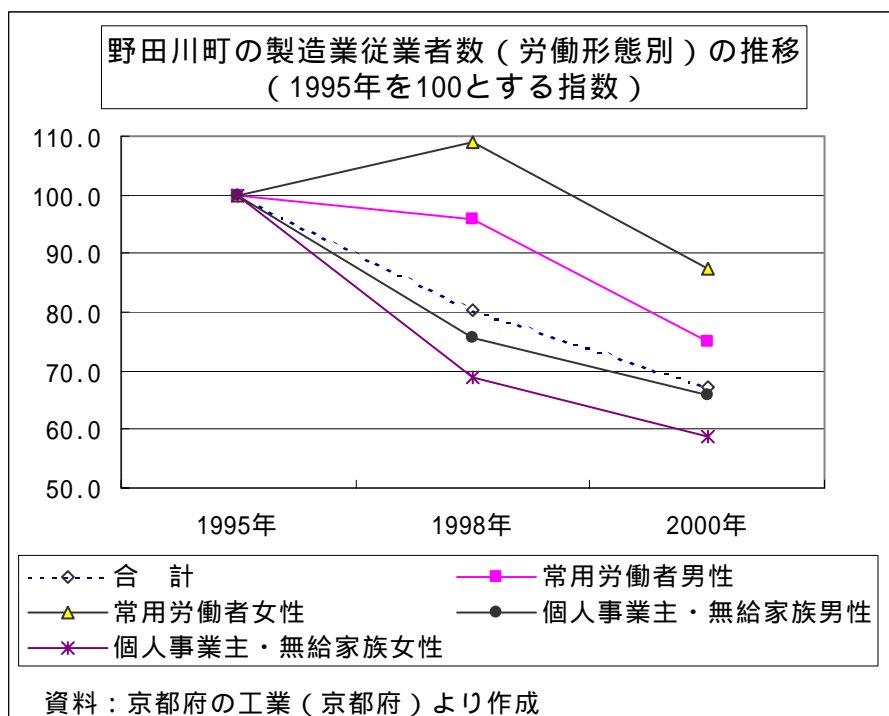
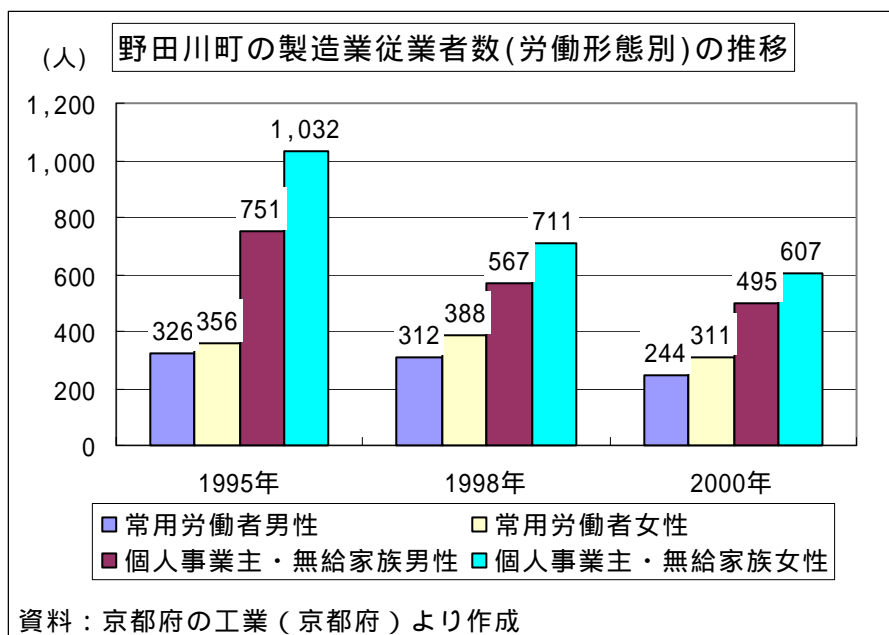
資料：京都府の工業（京都府）

野田川町の従業者規模別の製造業事業所数（2000年）

	合計 (所)	規模別構成比 (%)	会社			組合その他の法人(所)			個人		
			規模別構成比 (%)	事業形態別構成比 (%)	事業形態別構成比 (%)	規模別構成比 (%)	事業形態別構成比 (%)	事業形態別構成比 (%)	規模別構成比 (%)	事業形態別構成比 (%)	
総数	698	100.0	43	100.0	6.2	2	100.0	0.3	653	100.0	93.6
従業者 1～3人	638	91.4	8	18.6	1.3	2	100.0	0.3	628	96.2	98.4
4～9人	45	6.4	22	51.2	48.9	-	-	-	23	3.5	51.1
10～19人	8	1.1	7	16.3	87.5	-	-	-	1	0.2	12.5
20～29人	4	0.6	3	7.0	75.0	-	-	-	1	0.2	25.0
30～49人	2	0.3	2	4.7	100.0	-	-	-	-	-	-
50～99人	1	0.1	1	2.3	100.0	-	-	-	-	-	-
100～199人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：京都府の工業（京都府）

野田川町の製造業従業者数（労働形態別）の推移

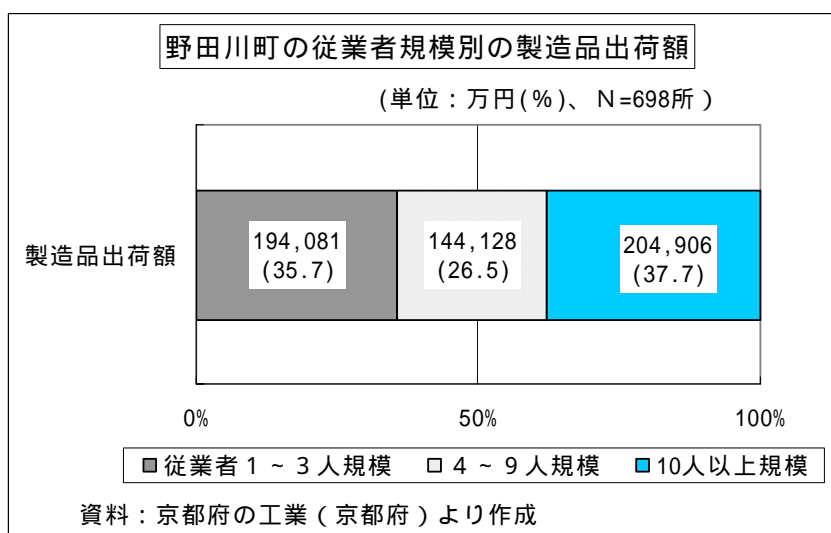
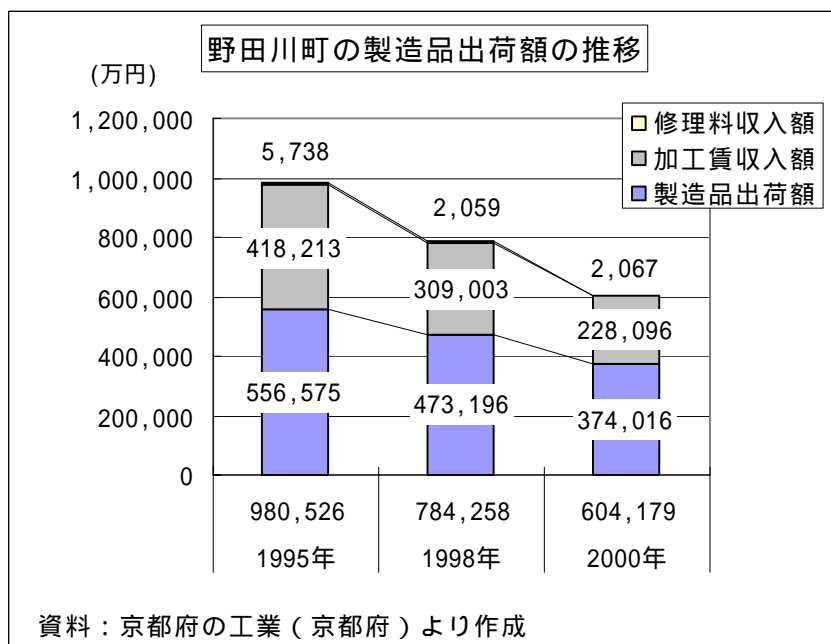


野田川町の製造業における労働形態別性別従業者数の推移 (単位：人)

	合計	常用労働者		個人事業主及び無給家族従業者	
		男	女	男	女
1995年	2,465	326	356	751	1,032
1998年	1,978	312	388	567	711
2000年	1,657	244	311	495	607

資料：京都府の工業（京都府）

野田川町の製造業における製造品出荷額



野田川町の製造業における製造品出荷額

(単位；万円)

事業所（全数）	製造品出荷額等				付加価値額と粗付加価値額合計
	合計	製造品出荷額	加工賃収入額	修理料収入額	
1995年	980,526	556,575	418,213	5,738	602,989
1998年	784,258	473,196	309,003	2,059	470,978
2000年	604,179	374,016	228,096	2,067	381,753
内訳					
従業者 1～3人	194,081	44,764	148,505	812	146,549
4～9人	144,128	103,464	40,564	100	86,086
10～19人	109,411	105,175	4,236	-	60,498
20～29人	95,495	X	X	1,155	49,042
30～49人	X	X	X	-	X
50～99人	X	X	X	-	X
100～199人	-	-	-	-	-

資料：京都府の工業（京都府）

(4) 農業

野田川町の農家数・農家人口

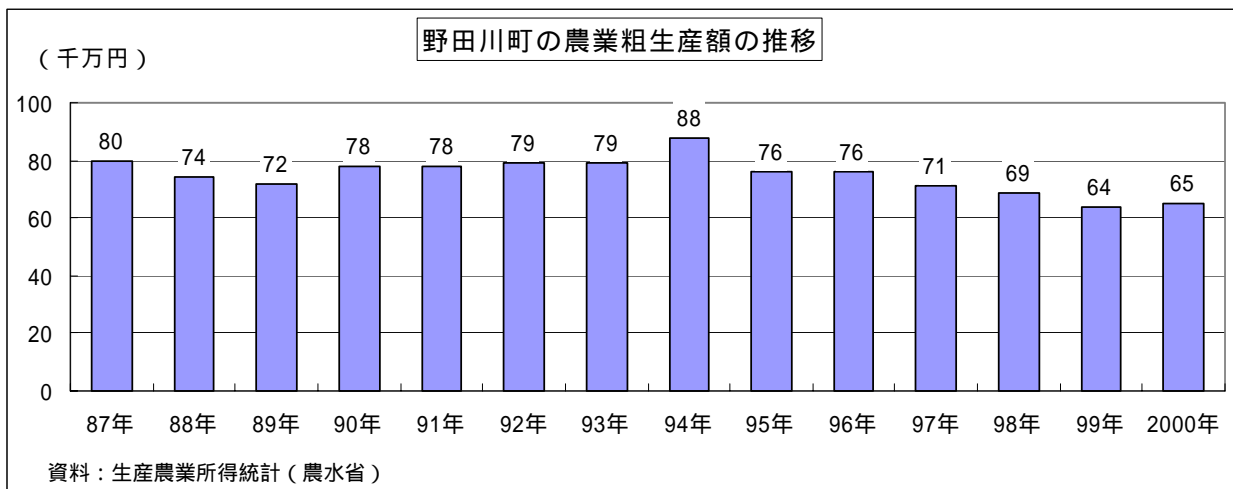
野田川町における農家数と農業人口(2000年)

(単位: 件、人)

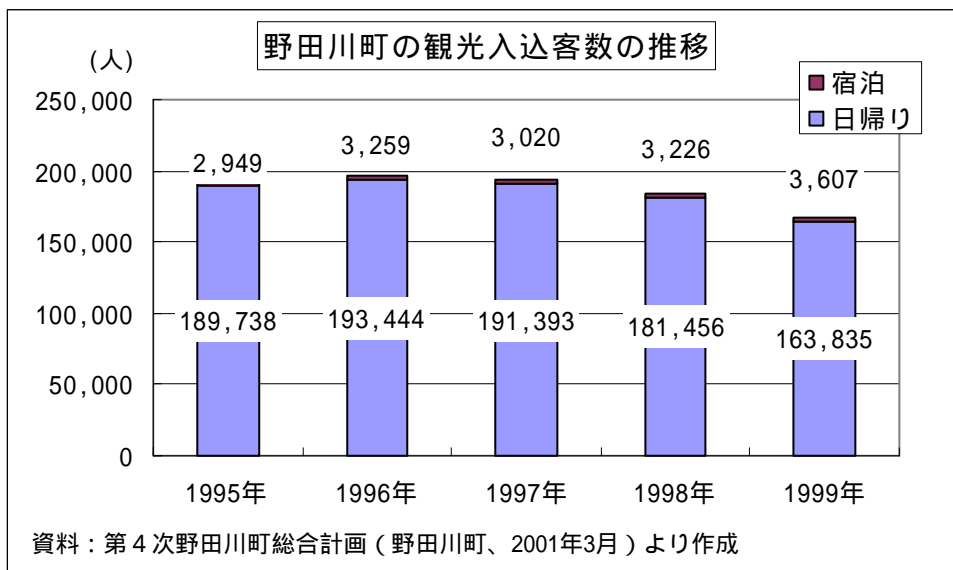
総農家数	農 家 数				自給的農家	農 家 人 口	
	計	専 業	販 売 農 家			農家人口	農業就業人口(販売農家)
			農業が主 (第1種)	農業は従 (第2種)			
370	193	18	35	140	177	1,576	237

資料: 京都府統計課

野田川町の農業粗生産額の推移

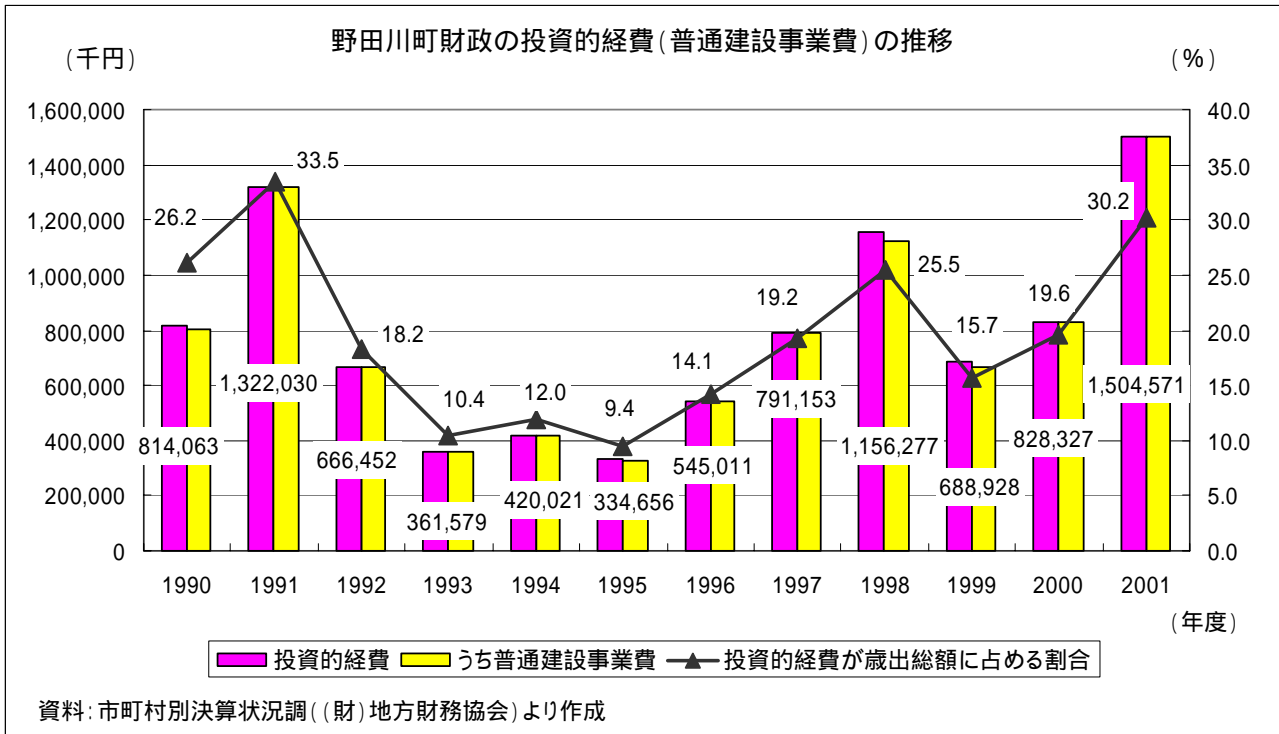


(5) 観光



(6) 財政

野田川町財政の投資的経費（普通建設事業費）の推移



野田川町財政の投資的経費（普通建設事業費）の推移

(単位：千円、%)

年度	歳出総額	投資的経費	うち普通建設事業費	投資的経費が歳出総額に占める割合	住民基本台帳人口	住民一人当たりの投資的経費
1990	3,112,286	814,063	803,288	26.2	11,209	72.6
1991	3,952,101	1,322,030	1,322,030	33.5	11,271	117.3
1992	3,660,915	666,452	664,123	18.2	11,300	59.0
1993	3,464,012	361,579	359,703	10.4	11,270	32.1
1994	3,507,852	420,021	417,877	12.0	11,244	37.4
1995	3,551,724	334,656	326,931	9.4	11,206	29.9
1996	3,855,712	545,011	540,834	14.1	11,243	48.5
1997	4,114,165	791,153	791,153	19.2	11,299	70.0
1998	4,527,081	1,156,277	1,123,680	25.5	11,324	102.1
1999	4,383,520	688,928	662,921	15.7	11,393	60.5
2000	4,219,018	828,327	828,327	19.6	11,426	72.5
2001	4,974,626	1,504,571	1,504,571	30.2	11,383	132.2

資料：市町村別決算状況調((財)地方財務協会)より作成

野田川町の財政状況（概況）

年度	住民基本 台帳人口 (人)	基準財政需 要額 (千円)	基準財政収 入額 (千円)	標準財政規 模 (千円)	実質収 支比率 (%)	公債費 負担比 率 (%)	公債費 比率 (%)	起債制 限比率 (%)	財政力 指数	経常収 支比率 (%)	左のう ち人件 費 (%)	左のう ち公債 費 (%)
1990	11,209	1,757,204	563,462	1,935,609	0.8	16.3	17.8		0.34	81.3	34.4	18.5
1991	11,271	1,974,166	592,684	2,157,385	1.1	16.9	17.8		0.32	79.6	32.2	18.8
1992	11,300	2,121,296	616,860	2,316,722	1.2	21.1	18.7		0.30	80.3	31.5	19.7
1993	11,270	2,204,053	630,785	2,399,989	2.9	25.8	19.8		0.29	83.6	31.5	20.7
1994	11,244	2,166,923	635,650	2,365,694	1.9	20.6	18.6		0.29	86.0	33.0	20.0
1995	11,206	2,311,809	645,185	2,513,119	3.0	19.7	16.7	13.2	0.29	83.2	32.2	18.0
1996	11,243	2,411,332	664,638	2,621,663	2.4	18.7	15.1	10.8	0.28	82.1	31.3	16.6
1997	11,299	2,504,500	734,353	2,735,433	3.2	17.1	13.5	8.7	0.28	83.7	31.0	15.5
1998	11,324	2,561,766	758,082	2,802,098	2.0	13.2	12.7	7.3	0.29	87.3	31.7	15.0
1999	11,393	2,601,335	712,680	2,804,510	3.0	12.9	12.2	6.4	0.29	84.8	30.6	14.2
2000	11,426	2,606,757	712,680	2,832,803	3.4	13.7	12.9	6.6	0.28	84.9	30.1	15.1
2001	11,383	2,554,286	742,299	2,787,604	2.7	14.1	12.8	7.1	0.28	86.9	28.0	15.6

資料：市町村別決算状況調（財）地方財務協会）

野田川町の財政状況（歳入）

（単位：千円）

年度	歳入総額	地方税	地方譲与 税	地方特例 交付金	普通交付 税	特別交付 税	使用料	手数料	国庫支出 金	都道府県 支出金	諸収入	地方債	その他	NTT債 補助金
1990	3,162,781	638,601	68,180		1,193,742	134,559	79,046	8,796	95,513	152,805	125,199	422,651	243,689	
1991	3,979,764	648,180	72,361		1,377,173	140,694	78,270	8,957	152,437	160,066	116,991	703,099	521,536	
1992	3,710,791	693,494	80,454		1,504,197	147,748	86,695	8,859	142,490	152,517	163,415	205,000	525,922	
1993	3,534,135	696,892	87,467		1,569,223	140,400	95,520	9,824	166,736	205,285	142,906	111,100	308,782	24,307
1994	3,569,285	659,675	88,466		1,528,829	141,956	102,380	9,945	144,385	205,493	177,592	245,900	264,664	12,950
1995	3,627,275	680,853	90,422		1,663,712	141,175	106,532	10,787	156,903	190,340	167,014	190,200	229,337	
1996	3,919,531	712,880	92,235		1,746,694	147,776	110,549	10,604	170,021	218,402	167,798	349,500	193,072	
1997	4,202,325	754,963	52,371		1,767,898	149,020	116,620	7,634	189,719	237,178	196,718	391,100	339,104	
1998	4,605,333	700,119	32,035		1,802,590	162,064	103,428	6,084	238,885	283,389	208,835	548,200	519,704	
1999	4,493,977	741,626	32,348	19,200	1,885,758	185,788	94,614	7,897	422,409	290,498	212,731	243,300	357,788	
2000	4,325,992	719,881	35,299	23,969	1,894,077	193,772	91,592	8,256	163,184	296,200	178,543	407,300	313,919	
2001	5,089,912	733,594	35,389	23,040	1,810,369	184,766	98,578	6,274	292,506	226,215	197,537	1,121,800	359,844	

資料：市町村別決算状況調（財）地方財務協会）

野田川町の財政状況（歳出）

（単位：千円）

年度	歳出総額	人件費	うち職員 給	物件費	維持補修 費	扶助費	補助費等	投資的経 費	うち普通建 設事業費	うち単独事 業費	公債費	積立金	繰出金	その他	NTT債償 還金
1990	3,112,286	805,053	525,225	233,895	18,711	79,524	427,803	814,063	803,288	752,834	391,621	107,940	106,658	127,018	
1991	3,952,101	833,403	544,282	240,670	21,679	83,255	465,369	1,322,030	1,322,030	1,221,536	479,807	165,376	184,030	156,482	
1992	3,660,915	871,587	575,994	260,423	19,495	104,361	462,558	666,452	664,123	599,695	618,853	318,031	226,608	112,547	
1993	3,464,012	907,098	590,911	277,159	22,207	253,816	455,526	361,579	359,703	290,231	720,930	169,388	175,379	120,930	24,307
1994	3,507,852	919,809	605,989	281,720	45,319	259,063	474,555	420,021	417,877	374,897	566,315	200,054	203,496	137,500	12,950
1995	3,551,724	959,738	624,509	319,534	24,429	276,247	494,338	334,656	326,931	308,931	566,196	185,626	231,050	159,910	
1996	3,855,712	971,529	627,776	376,496	42,804	301,656	525,466	545,011	540,834	509,904	550,118	99,355	300,981	142,296	
1997	4,114,165	989,109	635,425	424,050	29,678	305,195	512,759	791,153	791,153	722,596	516,603	97,665	343,112	104,841	
1998	4,527,081	1,014,831	650,309	475,923	62,032	314,251	530,305	1,156,277	1,123,680	967,932	408,805	6,991	379,018	178,648	
1999	4,383,520	1,012,216	643,574	562,872	46,821	386,856	593,533	688,928	662,921	609,310	405,443	97,484	405,427	183,940	
2000	4,219,018	1,007,643	641,640	506,564	36,091	215,947	547,244	828,327	828,327	615,121	435,189	9,626	490,191	142,196	
2001	4,974,626	991,636	620,060	485,216	4,434	239,986	604,878	1,504,571	1,504,571	1,040,643	448,816	2,336	523,975	168,778	

資料：市町村別決算状況調（財）地方財務協会）

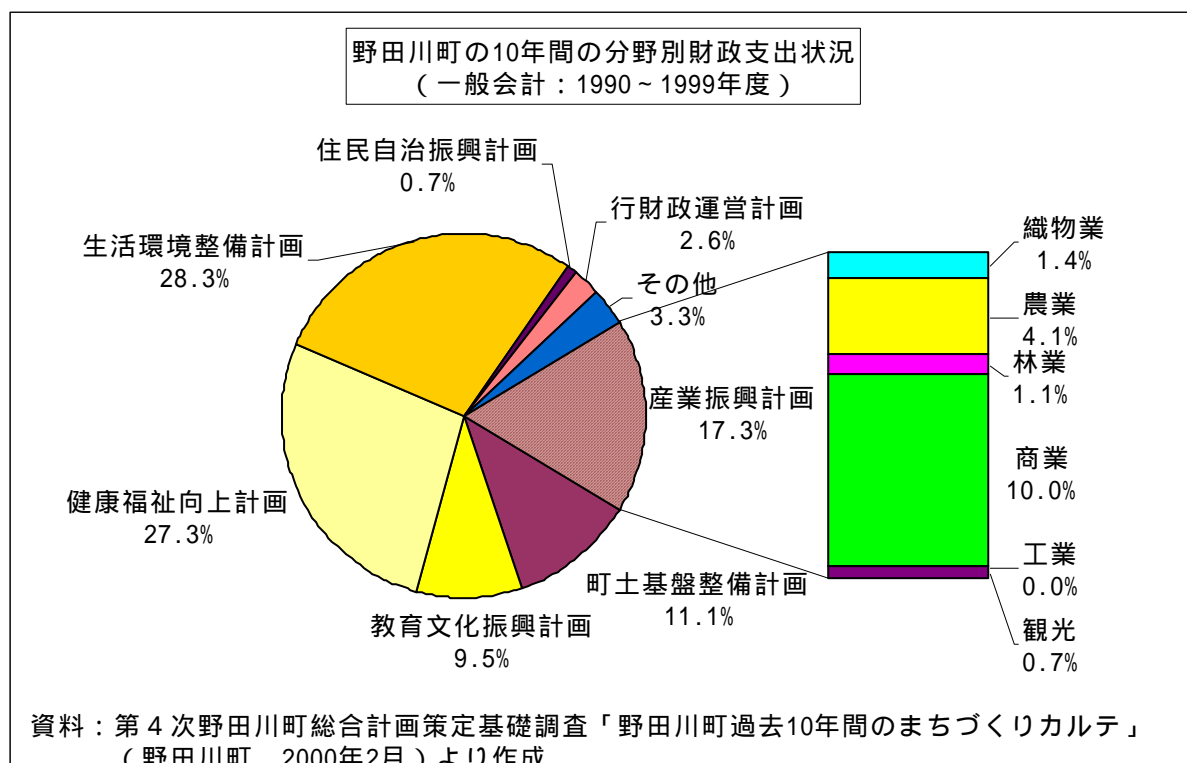
野田川町の財政状況（収支）

（単位：千円）

年度	実質収支	単年度収支	実質年度 収支	地方債現在 高	特定資金公共投 資事業債を除く 地方債現在高	積立金現在 高	うち財政 調整基金	債務負担 行為額	職員総数 (人)	うち一般 職員(人)
1990	15,650	-26,984	-16,281	3,274,168	3,249,210	710,246		549,041	118	111
1991	24,449	8,799	-117,259	3,695,784	3,658,527	577,922		322,492	116	112
1992	28,381	3,932	202,850	3,494,810	3,457,553	726,492		331,874	116	109
1993	70,023	41,642	242,875	3,061,209	3,048,259	804,547		432,638	114	106
1994	45,615	-24,408	132,821	2,901,138		948,865		478,210	118	109
1995	7,551	29,936	278,900	2,682,236		1,087,609		576,816	116	107
1996	63,819	-11,732	172,333	2,620,407		1,196,252	576,875	491,689	119	109
1997	88,130	24,311	123,119	2,618,059		1,302,380	580,523	401,127	120	109
1998	56,632	-31,498	-96,425	2,867,451		1,105,142	515,596	242,603	118	110
1999	85,060	28,428	30,776	2,808,352		1,194,802	517,944	261,128	118	112
2000	96,628	11,568	12,992	2,871,477		1,119,882	519,368	285,598	113	109
2001	76,160	-20,458	-19,375	3,626,531	3,626,531	1,062,162	520,451	59,515	112	108

資料：市町村別決算状況調（財）地方財務協会）

野田川町の10年間の分野別財政支出状況



野田川町の10年間の分野別財政支出状況(一般会計：1990年度～1999年度)

(単位：千円、%)

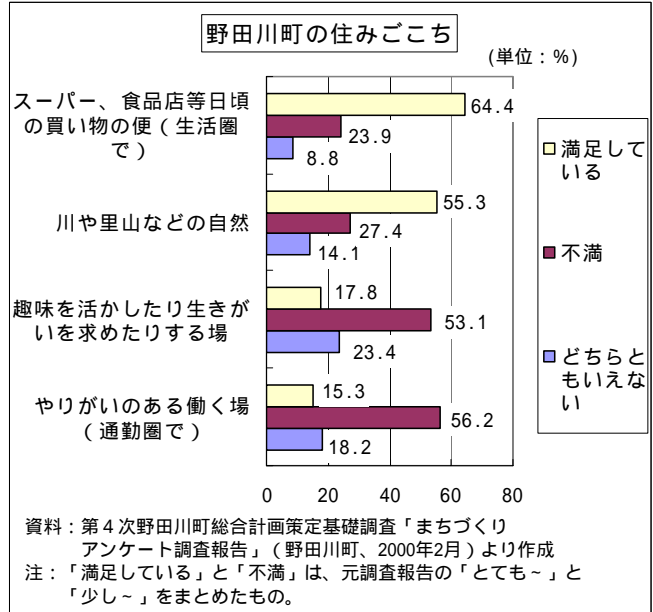
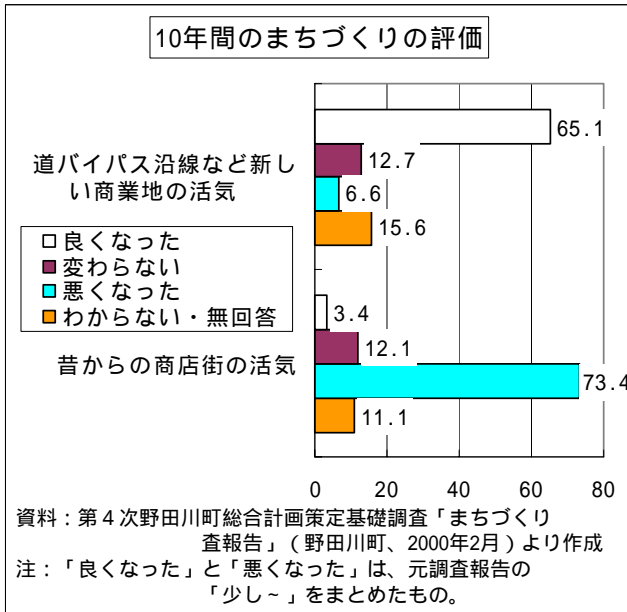
町土基盤整備計画	1,878,620	11.1			
教育文化振興計画	1,598,906	9.5			
健康福祉向上計画	4,612,494	27.3			
生活環境整備計画	4,775,946	28.3			
住民自治振興計画	114,486	0.7			
行財政運営計画	433,846	2.6			
その他	552,617	3.3			
織物業	241,403	1.4	8.3	産業振興計画	2,925,341
農業	685,329	4.1	23.4		
林業	186,776	1.1	6.4		
商業	1,696,787	10.0	58.0		
工業	0	0.0	0.0		
観光	115,046	0.7	3.9		
合計	16,892,256	100.0	100.0		

資料：第4次野田川町総合計画策定基礎調査「野田川町過去10年間のまちづくりカルテ」
(野田川町、2000年2月)

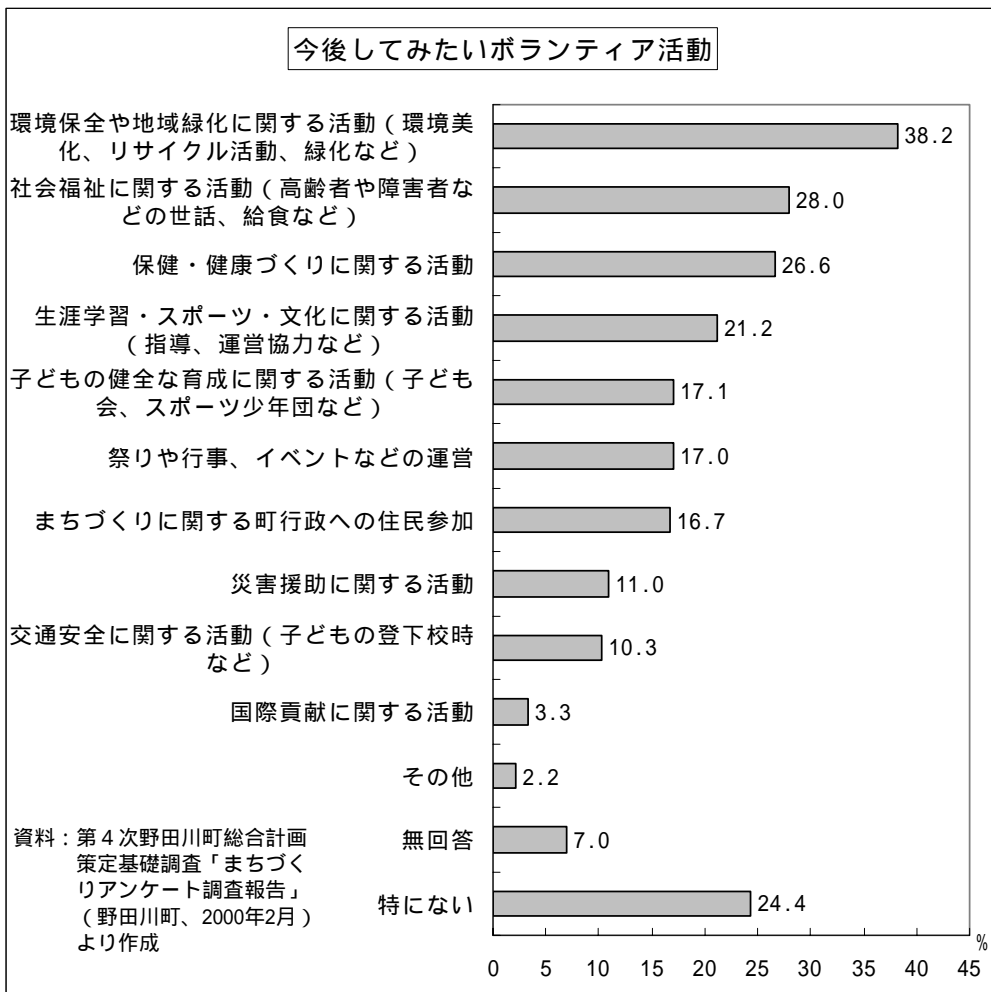
注：一般会計以外に上下水道、住宅など生活環境整備で約80億円、町土基盤整備で約10億円の特別会計支出がある。

(7) その他(住民意識調査データ)

野田川町の10年間のまちづくり評価



今後してみたいボランティア活動



2. 第4次野田川町総合計画の概要

第4次野田川町総合計画の概要（抜粋）

目標実現のための重点課題とステップ

	安心の笑顔応援プロジェクト	喜びの笑顔応援プロジェクト	笑顔応援の協働プロジェクト
	安全の安心 健康の安心 自立の安心	生涯成長の喜び ふれあいの喜び 働く喜び	家庭や職場の パートナーシップ 地域のパートナーシップ まちのパートナーシップ
10年間で実現させる	健康な環境とインフラのまちづくり(上下水道、ごみ処理体制) 防災のまちづくり(河川改修、自主防災体制) ニーズに対応した公的住宅の供給	すべての人の自立を支援する最小限のサービスの確保 学校と地域の連携	効率的な行財政運営 地域情報化のインフラづくり
⇕			
10年間で基礎を築く	農林業を守り育てる体制整備 地域循環するリサイクル社会づくり 快適な交通安全社会づくり	交流、福祉、環境をとりまく新たなビジネスチャンスへの支援 コミュニティに貢献する自営業の育成 楽しく集えるコミュニティの育成 すべての人の自立を支援するための選択肢の拡大 地域における学習、スポーツ活動の選択肢の拡大 誰もが出かけやすいバリアフリーのまちづくり	住民と行政のパートナーシップの構築
⇕			
未来につなげる	水、緑、空気を取りまく環境保全 環境負荷の少ないまちづくり		男女共同参画のまちづくり 人権の尊重

資料：第4次野田川町総合計画より作成

第2部 野田川町商業活性化委員会の報告

1章 野田川町商業活性化委員会の名簿と経過

1. 野田川町商業活性化委員会の委員名簿

(以下、敬称略)

役名	氏名	町内住所	付記
顧問	西原 要二	四辻	野田川町商工会副会長
顧問	多田 正成	三河内	野田川町商工会副会長
委員長	小西 清也	四辻	野田川町商工会商工部部長
副委員長	多賀野 誠一	幾地	野田川町商工会商工部副部長
委員	岩間 脩	下山田	地域商業に詳しい人
委員	荒砂 雅晴	石川	地域商業に詳しい人
委員	池田 隆	幾地	野田川町商工会理事、おりっこカード会会長
委員	小長谷 建	上山田	おりっこカード会販促委員長
委員	武田 眞太郎	三河内	野田川町商工会理事
委員	増田 猛	四辻	地域若手後継者、おりっこカード会
委員	有吉 寿和	三河内	地域若手後継者、野田川町商工会青年部長
委員	小林 孝裕	幾地	地域若手後継者、野田川町商工会青年部
委員	玉川 茂生	三河内	地域若手後継者、野田川町商工会青年部
委員	金谷 一成	石川	地域若手後継者
委員	太田 明		野田川町産業・情報課長
専門委員	植松 光隆		全国商工会連合会指導部指導課長
専門委員	今瀬 政司		特定非営利活動法人市民活動情報センター代表理事
事務局	中江 義昭		野田川町商工会事務局長
事務局	浪江 光宏		野田川町商工会経営指導員
事務局	家城 功		野田川町商工会経営指導員

2 . 野田川町商業活性化委員会の開催経過

(1) 第 1 回商業活性化委員会・「講演会」

- ・日時：2003 年 10 月 4 日（土）
- ・場所：商工会館小会議室
- ・出席者：委員ならびに専門委員（植松光隆、今瀬政司）
- ・内容：野田川町商業活性化事業の説明：事務局（野田川町商工会）
専門委員の講演：植松光隆（全国商工会連合会指導部指導課長）
今瀬政司（特定非営利活動法人市民活動情報センター代表理事）
第 4 次野田川町総合計画の説明：太田明（野田川町産業・情報課長）

(2) 第 2 回商業活性化委員会・「座談会」

- ・日時：2003 年 10 月 9 日（木）
- ・場所：商工会館小会議室
- ・出席者：委員（専門委員除く）
- ・内容：座談会

(3) 第 3 回商業活性化委員会・「座談会」

- ・日時：2003 年 10 月 16 日（木）
- ・場所：商工会館小会議室
- ・出席者：委員（専門委員除く）
- ・内容：座談会

(4) 第 4 回商業活性化委員会・「座談会」

- ・日時：2003 年 10 月 23 日（木）
- ・場所：商工会館小会議室
- ・出席者：委員（専門委員除く）
- ・内容：座談会

(5) 第 5 回商業活性化委員会・「座談会」

- ・日時：2003 年 10 月 30 日（木）
- ・場所：商工会館小会議室
- ・出席者：委員（専門委員除く）
- ・内容：座談会

(6) 第 6 回商業活性化委員会・「報告会」

- ・日時：2003 年 11 月 26 日（水）
- ・場所：商工会館小会議室
- ・出席者：委員ならびに専門委員（今瀬政司）
- ・内容：野田川町商業活性化事業報告書の説明（今瀬政司）ならびに今後の取り組みについて

2章 座談会の議事概要

1. 第2回商業活性化委員会・「座談会」の議事概要

- ・日時：2003年10月9日（木）19時50分～22時5分
 - ・場所：野田川町商工会館・小会議室
 - ・出席者：小西委員長、多賀野副委員長、岩間委員、荒砂委員、小長谷委員、増田委員、有吉委員、小林委員、玉川委員、太田委員、西原顧問、多田顧問、中江事務局長、浪江、家城
-
- ・第1回委員会における植松・今瀬両専門委員からの講演に基づき感じたことや、商業等活性化についてはこう思うというような各委員からの意見を伺った。
 - ・NPOと商業活性化との関係が理解しがたい。
 - ・100円ショップでも潰れる時代ということを前回聞いて、お客さんは逆に少々高くても良いものを選ぶ時代になる。
 - ・大型店やディスカウント店はお客さんをお客さんと思っていない。ここに付けいるスキがあるのではないか。
 - ・目先のことに振り回されることなく、それぞれのお店がポリシーをもって商売や事業をしていけば、そこに魅力を感じてそのお店を選んでもらえるのではないか。
 - ・待つのではなくお客さんを取り込む姿勢が大切ではないか。
 - ・個店が活性化しないと商業の活性化はないと思われる。
 - ・モノだけではなく感性や文化性も求められるようになってきている。
 - ・新たなものを売ろうとすると物語がないと売れない時代になってきている。
 - ・お客さんに感動を与えないとモノが売れない時代になってきている。
 - ・町内の各地域の商店街形成が崩れている中でどういう対策を講じるのか。
 - ・商工会や行政が後押しをして、地域の商工業者が力を合わせて何かを作っていく必要があるのではないか。
 - ・ショッピングセンターを作るのではなく、場所は別として商店等の集約をすることも考える必要があったのではないか。
 - ・ここ3～4年のうちに、野田川バイパス周辺に色々な店が出てくる予定であり石川は流れが変わってくる。
 - ・抽象的な話はいくらでもあり、はっきりしないといけない時代ではないか。
 - ・地域の自営業者がなくなると地域活性化はしなくなる。まちづくりには自営業者の力が大切ではないか。
 - ・ここに踏みとどまってどうしようということが考えられれば良いのではないか。
 - ・地域の自営業者がまだ元気うちに明日のゾーニングをしていくことが大切ではないか。
 - ・商売は個店の問題と考える。
 - ・町に商店がなくなることが一概に良いとも言えないし、大型店が良いとも言えない。
 - ・個店だけでは意欲や元気ややる気が出てこない。団体でひとつのことに向かっていかないと個店での対応は難しい。
 - ・町に明確な方向付けがされていればやり方も考えられると思う。
 - ・経費もかかると思うが町内の個店の折込チラシが少ないように思われる。個店まで行かないと何

を売っている店が理解してもらえないのではないか。

- ・ おりっこカード会は傍から見ていて損をしているように見える。異業種が集まっているが顧客情報が共有されていない。
- ・ 無から有を生み出す夢作りが大切ではないか。
- ・ 個々が努力しても報われない時代になっている。
- ・ ここにいたると、商業集積を含めたシンボルゾーンが必要である。
- ・ 町内商店の統一感がない。点在しており買いきまわりができないのではないか。
- ・ 町内で1日過ごせるようなテーマパークのような町にしないといけないのでは。
- ・ 人が集まってくるような魅力や仕掛けができないと今よりもっと悪くなるのではないか。
- ・ 滋賀県今津駅前、行政がベースをつくりやる気のある商業者を集めた経緯もある。
- ・ 町の支援レベルが見えにくい。
- ・ やり方次第では行政の支援も考えられる。パティオ事業をやることも可能である。
- ・ アクションを起こす人が集まることが今の時代大切ではないか。
- ・ 集積で成功している部分は少ないのではないか。
- ・ テーマパークで成功しているのは、TDL・TDS・USJであり、他はお金をかけてもつぶれる時代である。
- ・ おなじ集積を図るならもっと特化して集積することを考えないといけないのでは。
- ・ コンセプトがしっかりしていないとマーケットがわかりにくい。
- ・ 我々は夢を持って、無から有をつくるということで、ハードルを越えやすいように行政支援が必要となる。
- ・ 夢は実現しようと思わないと夢に終わる。
- ・ 話し合いをするだけでは無駄に終わる。
- ・ この委員会で方向付けや意思表示ができればと考えている。
- ・ 町長は支援を惜しまないといわれている。地元で考えていただければそれに対して支援いただけることになっている。
- ・ 2004年度分については、国や京都府の補助金の要望時間がなくできないので、必要ということであれば次年度以降ということになる。
- ・ 本日の要点をまとめ、次回委員会でこれらに対する意見交換等を引き続き行うこととする。

2. 第3回商業活性化委員会・「座談会」の議事概要

- ・ 日 時：2003年10月16日（木）19時50分～22時10分
- ・ 場 所：野田川町商工会館・小会議室
- ・ 出席者：小西委員長、多賀野副委員長、岩間委員、池田委員、金谷委員、増田委員、有吉委員、小林委員、玉川委員、大上(代理)委員、西原顧問、多田顧問、中江事務局長、浪江、家城
- ・ 第2回委員会・「座談会」に引き続き段階的な方向で意見交換を行いたいと思いますが、活発な意見交換により方向性も見出して行きたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。
- ・ 市町村合併という方向の中で、2005年度はどこが予算組みをされるのか。野田川町の商店構成は、商店街より商店群というような形になっており、それぞれのお店は、顧客データをそれぞれの頭

の中に持たれて商売をされている。それらを横のつながりとしていかに持たせていくかを考えていくことから始めるのが簡単ではないかなと思います。町長とお話をする中で、町内にはいろいろな商売の方がおられるので、上手くそれぞれと交わりを持ちながら、一緒になって何かできることを考えることが一番早い方法かもしれない。

- ・ おりっこカード会としても、玉ねぎ掘りやジャガイモ掘りなど農業者と連携をされ、コミュニティにつながるイベントをやってきておられます。
- ・ 商店が散らばっているので、できれば一箇所に集まってという話もあるが、ただウィルのように既存の店が集まるだけでは、隣にマインはあるプラントは来るジャスコはあるで、車に乗っている人は皆そちらにいつてしまう。どうせやるのであれば、対象を絞って、高齢者向けの健康食品であるとか、お年寄り相手の商売をされた方が良いのではないかなと思います。高齢者を対象とした商業施設というものは周りにはあまりないと思いますが、若者を対象にしようとする、相当おしゃれなものをやっていかないとなかなか難しいと思います。
- ・ 高齢者を相手にするという商売は非常に良いですけれども、介護福祉関係の方々がつぼを得ておられて、難しくなっています。
- ・ 野田川町には産品が沢山あるわけですが、それをまとめて売っているところはない。以前は天橋立にあったわけですがけれども、採算が取れる取れないは別として、紹介する場所という意味で、利用・購入を促したり、観光客に店の案内をしたりして、常駐できる人が2～3名いたらと良いのではないかなと思います。運営の方法については、いろいろと方策があると思われます。憩いの場所と商業を一緒にできる拠点をつくって頂くという方向付けが面白いのではないかなと気がしてなりません。
- ・ コミュニティゾーンというのは商業者のためにつくるのではない、町民のためにつくるのだということから考えれば、行政が主導してつくるべきだというような気持ちでいていただかないと困ると思います。
- ・ お客さんが如何に地元の商店を利用してもらえようにする仕掛けづくりがないといけない。コミュニティゾーンも仕掛けづくりかもしれないが、そうではなしに地元のお店に来て頂ける仕掛けづくりをしていかなければ、どうしても魅力のある大きな店とか安い店に消費を奪われてしまう。各個店が努力していかに魅力ある店にするか。プラントなりバイパスに商店がでてくるのであれば、相乗効果というものがありますから、その隣に店を出すのも一つの方法ではないかな。プラントの隣に野田川の産品を集めたお店を出店するのも良いのではないかな。お客さんが地元の商店で買い物をしてもらうための仕掛けをどうしたらよいかということの具体的なものは無いわけですが、例え、他地域でもやっておられます地域マネーを、行政に頼んでもできそうにないので、地域マネーを発行する出資者を募って町内の個店で使えるようにする。地域マネーを使用し頂いた方には何らかのサービスがあるとか。これは一つの例ですけれども、こんな発想で野田川町の昔からある商店とかにお客さんが行ってもらえる仕掛けづくりができればと思います。
- ・ よその人に頼んで、行政にやってもらったようなものは無駄なものになることが多い。建物でなくて良いと思いますが、自分たちで出し合ってやる方法がないかなと思います。
- ・ 地域マネーも含めた意味で、クレジットカードみたいなもので、野田川町内どこに行ってもそのカードさえ持っていればいつでも買い物ができる、もちろんポイントも打てる、そういうものができたらいい。
- ・ 商業活性化委員会で町全体の商店としてのメリットのあること、お客さんも便利が良い、ポイン

トも打ってもらえる、その数字も出る、そのカードを持っていってお金なり商品に買ってもらえる、その商店に行って買い物もできる、買い物をすればその分数字が減って見える、そういうようなことができるように、この委員会で仕組んでいくというか、そういうことをまとめて事業としてやっていこうというような、商店として野田川町特有の大きなメリットを作してほしい。そうすると、顧客も便利がいいし、現金がなくても名刺入れの中にそのカードを持っておれば買い物ができるわけですし、ポイントももちろん現金にもなるし、銀行と提携されているので、口座からの振り落としもできる。そういう事業を何かやってほしい。今あるおりっこカード会をヒントにして、現金として使えるようなことを仕組んでいくことを考えていって欲しい。

- ・ 今の件ですが、おりっこカード会としても実際には今動いております。機械のこと、システムのこと、いわゆるクレジットカード等ということになると、費用的に大きな負担を伴うため会員がぐっと減る可能性もあり、それが果たして良いのか、いろいろな中でここ1年かけて検討することとしており、町の補助もらえるような格好で、どこまでのレベルかということになると皆で判断していかないといけませんけれども、今現実にやっております。ここでということではなしに、おりっこカード会として現実にやっております。
- ・ 大掛かりなカード化は難しいのではないかなと思います。そのコストはものすごいものが必要となる。それをやった結果、今の個店では対応できるところが何軒あるのか、逆に対応できるところは、JCBであるとかVISAカードとすでにやっておられるし、というようなこともあったりして、大きなコストを考えると、そういうコンピュータを使った大掛かりなカード化というのは、こういう小さなところでやるのは限界があると思います。消費者から見れば確かにメリットがあるのかもしれませんが。
- ・ プリペイドの考え方と信用を付与するカードということは全然考え方が違います。プリペイドであればお金と交換のため貸し倒れというものはなくなりますが、信用付与型は万が一不良債権になったときに、これが巷で言うカード破産ということになってしまいます。結構それを無制限に出してしまうとそれを良いことに最初から払う気のないものが後は知らないよ、ということになってしまいます。そうしたリスクというものがあるので、そのあたりを十分に気をつける必要があると思います。
- ・ 何も無い、お客さんも少ない、町の人口も少ない、そうしたらどうすればよいかということになると、この町の名物をこういう委員会で考えて作り上げたという話を聞きました。そのことによって、有名な町になって、どんどん人が来るようになっていったと。流行る店、流行らない店というのはいつの時代でもあるわけですが、そうではなしに、その町に沢山の来客があって売上が伸びていくという話を聞かしてもらいました。そういうふうなことを一つは頑張って予算を組んで作り上げていくということも、必要かなという気もします。
- ・ 商店の人自身が食料品を買いに行かれる時に、仲間の商店ではなく、安い店を選んで買いに行かれることがある。やはり、商店はお互いに助け合っていないといけないと思いますが、そういうことは地域通貨であればできるわけですね。自分の店で買い物をしてほしいけれど、自分が買いに行くときはジャスコに行く、マインに行く、という商店であればなんともならないわけですね。できるだけ、我々も町内のお店を利用しようとする仕組みがつけられて、このお金は野田川町の中でしか使えない、ここで買えばよそより少しくらいは高いかもしれないけれども、サービスなどもあるし、ということになればいいなと思います。地域マネーはそういう仕組みかなと思いますが、それがよいか悪いかは分かりませんが選択肢の一つかなと思いますし、他にもあるか

もしれません。

- ・ いづれにしても経験したことのないようなことを夢を持ちながら企画していく、その企画の力というものが今後は命運を制すると思います。野田川町はどんな町かというとき、例えばちょっと頭に浮かんだ部分で申し上げると、例えばガマの油だとかの大道芸人みたいな方がおられますね、そういう人たちの練習場に使ってもらうエリアとして来てもらう。その代わり宿泊も無料にしましょうと。こういうことをすれば大道芸人のような人々が遊びにといたら語弊がありますが、練習に来られないかな、というような気もします。もちろん外国人であってよいわけです。
- ・ 順番ではないですけども、プラントの近くのどこかにテントを張って、今日は私のところ明日はどこかということやっていってもよいのではないのでしょうか。そういう出店では無いですけども、毎月何日はここというふうに固定して、プラントに来られるお客さんが毎日立ち寄られて、そこで1点でもお買い求め頂いたら、個店の名前も覚えて頂けるし、ひいてはこれが自分のところの売上にもつながってくる。
- ・ 商工会から要望してもらったり、商工会でやってもらってもかまわないので、野田川町全体の商業実態というものの把握、調査ということ、活性化委員会とは別かもしれませんが、やって欲しいなという気もします。

3. 第4回商業活性化委員会・「座談会」の議事概要

- ・ 日 時：2003年10月23日(木)19時55分～22時15分
- ・ 場 所：野田川町商工会館・小会議室
- ・ 出席者：小西委員長、多賀野副委員長、岩間委員、池田委員、小長谷委員、武田委員、増田委員、小林委員、玉川委員、金谷委員、太田委員、西原顧問、多田顧問、中江事務局長、浪江、家城
- ・ 小西委員長が開会の挨拶を述べた。過去2回の座談会の報告及び本日の方向性について述べた。

商業活性化には商業者個人がおこなうべき部門、商業者の団体が力を合わせておこなう部門、商業者の団体と行政が一緒になっておこなう部門、ということになるのかなと思っております。

一つ目の 商業者の行うことについては、顧客の獲得であるとか、店の個性化あるいは店舗の改装や他店との差別化等々、儲けの方程式の本の中にもありますように、また、植松課長の話の中でも聞かせていただきました。これらの対応につきましては、行政あるいは商工会で今までからやられているような形のものがあります。

2つ目の 商業者団体が力を合わせてやるという部分につきましては、カード化事業が話題にもなりましたし、カード化の内容につきましては色々とお話があると思います。顧客の共有化・集合チラシ・商品券を含めた地域マネーの取り組み、イベントの開催、お客さんの利便性を図るための個店と個店のネットワーク化、個店とお客さんとのネットワーク化ということで、これは宅配を含めたことをおこなうというようなことも事業の一つではないかなと思っております。

3つ目の 商業者と行政とが一緒になって行うということでは、商業ゾーンの形成、いわゆる第4次総合計画に掲げてあるコミュニティゾーンの重要性について、ふれあい憩いのゾーンということで商業地の活性化を図るべく、すべてを包含したようなものができれば一番よいのではないかなというような話もさせていただきました。

このようなことでハード事業とソフト事業の二つの方向性があるのではないかなと思います。それぞれ問題をかかえているわけですが、この辺のところでは皆さんにご協議いただきまして、この商業活性化に関する方向性を見出していきなとと考えております。ソフト事業というのは、カード化やイベントや他にも商業活性化のための事業というものはあると思います。すぐには思いつきにくいと思いますが、この辺のところでは行政と一緒にやって行こうということができればよいと思われすし、何とか商業活性化基金のようなものを積んでいただいて、これを活用して色々な個店の活性化や商業団体の活性化を図っていくための基金を創設していったらどうかというようなことも考えたりしています。商業ゾーンについては時間も資金もかかり難しい問題であると思われすが、前回、前々回にも出ていましたようにコミュニティゾーンで行える事業、商業者としてこの中に何とか潜り込んで、そういうような形で活性化を図っていくというようなことです。以前から言われていることですが、野田川町内には公的な駐車場が1箇所も無いというようなこともありますので、コミュニティゾーンの近くには必ず駐車場を設けていただいて、この駐車場が多目的広場として色々なことに使えないかなということを考えています。

皆さんのご意見を伺いながら方向付けをさせていただきたいと考えています。

- ・第4次総合計画で書いておりますコミュニティサービス商業は、コミュニティゾーンをどうのこうのということではなしに、その裏返しを言えば、まちづくりの構想図というものがあつたと思うわけですが、それ全体をまとめて地域に根づいた商業、商業の中にも小売業もあれば色々な業がおこなわれておりますので、商業だけを示したものではありませんということであつております。商業ゾーンといひますのはバイパス（176号線）沿いに展開される郊外型のショッピングセンターなり個店なりの展開をそこでして頂く位置づけになっています。コミュニティサービス商業というたい方をしておりますが、これは逆を返せば、郊外型で展開する商業の方々ではなくて、従来から地域に依存されている商業者の方々のネットワークをつくるため、生活の中の一翼を担っていただける商業をコミュニティサービス商業という位置づけをしています。ですからコミュニティゾーンという位置づけは、言うなれば大きな意味での位置づけでありまして、その中に例えば快適な公的住宅の整備もあれば、その中に出てくる魅力ある個店が点在する、ということをおこのコミュニティゾーンの中で形成することが、第4次総合計画でゾーニングされている部分であります。旧村にコミュニティゾーンを形成していこうということが第4次総合計画の狙いでありまして、商業ゾーンという意味合いで、この旧村の丸が記してある図を位置づけているものではない、ということおございますので、その辺の観点から、それでは既存の商店がそのコミュニティに果たす役割はどういう分野があるのかというあたりを議論して頂きながら、その中でネットワークづくりをして頂くことを願ひとして、大きく2つに分けているというものでございます。
- ・第1回目の委員会を立ち上げさせて頂いたときに、座談会の中では、今の商業者の置かれている立場も含めて現状も認識させて頂きながら行っていくということも目的の一つに入っています。行政の太田町長の方からは、地元小売業者に対しての支援も状況に応じては惜しまないというお話を常に頂ひています。商売される以上個店で努力していく部分はあると思われすし、組織としてやっていけないといけない部分も当然あるわけですが、何らかの形でご支援して頂ける部分があれば、それも模索しながら座談会で話し合ひをしていこうと2回の座談会をさせて頂きました。ハード面ではコミュニティゾーンやパティオなどのご意見を頂き、ソフト面では集合広告であるとか、顧客の共有化であるとかのご意見を頂きました。コミュニティに関しては、皆さんそれぞれ色々なご意見やお考えをお持ちだと思われす。今日もその分野でかなりお話を頂ひていると思われすが、果たし

て商業活性化だけの部分でコミュニティゾーンなりを語り合ってもよいものなのかなと考えさせられる部分もございます。この分野につきましては、例えば、この活性化委員会で相談した中で、まちづくりの一環としてコミュニティゾーンというものを第4次総合計画の中では各地区に予定を立てられており、配置図も見て頂いていると思いますが、そういう部分も含めまして充実を図っていき、その形で商工会の方から町長宛に提言をさせて頂くというのは一つの手段であると思っております。それがイコール商業活性化の支援の一つとして出すということをしなくても、例えば商工会の諮問機関の委員会でまちづくりを考えたときに、コミュニティゾーンの充実を、商業活性化の部分ではなく、まちづくり全体を考えてという流れの中で、この問題に対しては提案させて頂いた方がよいのではないかと、という思いが強く感じられます。その中で、例えば商業者の皆様のご支援等をして頂ける方にはして頂こうということで、多田副会長が先ほど言われましたように、利子補給の面はソフト面として求めていきたい部分ではありますが、第1回委員会に来て頂きました植松課長や今瀬氏には会議経過の報告をさせて頂いておりまして、ハード面だけの商業活性化というのは成功例が無いに等しいという前例の中で、進んでいることが多いので、できればソフト面をもっと強く求めて行かれた方がよいのではないかと、というアドバイスも受けております。その中で、植松課長の方から一つの提案として、この座談会の中で協議して頂くことは決してマイナスでは無いですし、思いを協議頂くということで、非常に有意義な座談会であるということをお私には理解しておりますし、その中で一つのソフト事業をやっていこうということを見つけ出すにはあまりにも限られた時間でもありましたので、非常に厳しい設定の中で今回お世話になっております。その中で、例えばですが、合併した場合に、今後商業活性化に関する事業とか講演会とか人材派遣とか、太田課長の方からも今の施策で行っておられる部分に関してはできるだけ残していこうという方向に進んで頂きますが、旧野田川だけこうして欲しいという部分は非常にものが言いにくい状況になってくるとお思います。合併の期限が2005年3月ということで、来年は町で話を聞いて頂けるけれども、再来年は聞いてくれないということもあるかもしれませんので、植松課長の案としては、例えば商業活性化基金みたいな形で、行政の方に例えば1千万円なりの資金を商工会の別会計に積んで頂いて、その用途に関しては旧野田川町の商工業者が活性化のために使う資金という形で、商工会が広域化になって合併しても責任を持って管理させながら、諮問委員会のようなものを設置していく。その中で例えば、おりっこカード会さんが300万円の事業を計画されている場合、その諮問委員会で商業活性化には欠かせない事業であるから、規約の中に受益者側は3分の1の自己負担はしなさいというような形でうたっておけば、つかわれる方も決して無駄な使い方はされないであろうし、使って頂く方も活性化ということをもう一度見つめなおしながら、事業を組んでいけるのではないかと、ということも考えられるのではないかと。使い道ということでは非常に有意義に使えるということで、行政の方に投げかけをしてはどうかという提案をいただきました。できればこういう方向性で検討していただければという提案をおこなった。

- ・情報網の整備については、現在、NTTの方でADSLの8MHzを導入されまして、大変高速にはなってきました。動画の世界が飛躍的に広がっており、ネットを通じていろいろなことができるようになってきています。将来に向けて新しいことをやっていくことが可能になると思っておりますので、高速情報通信網の早期整備を町行政に求めて行きたい。このことをこの町で遅らせてはいけないと思っております。商業活性化委員会の方からも、何とか要望して頂きたい。
- ・次回は時間は少なくとも、報告書のまとめの確認と座談会のまとめを行う。視察についても、材料をそろえて提出する。

- ・地域密着型創業経営革新推進事業について、中江事務局長より事業概要の報告説明をおこなった。

4. 第5回商業活性化委員会・「座談会」の議事概要

- ・日時：2003年10月30日（木）19時55分～22時10分
- ・場所：野田川町商工会館・小会議室
- ・出席者：小西委員長、多賀野副委員長、武田委員、池田委員、増田委員、有吉委員、小林委員、玉川委員、太田委員、西原顧問、多田顧問、中江事務局長、浪江、家城
- ・家城経指より別添第5回委員会資料に基づき説明をおこなった。本日ソフト面についてどのようなことがあるかご検討いただきたい。
- ・消費者に喜んでもらうことが大前提であると思う。
- ・顧客の共有化...個店（他店）のチラシをつくり、来店者に無理やりにもって帰ってもらう。豆知識や売りたい商品を掲載したり個店の知名度アップを図る。
- ・ソフト面が一番分かりやすいようで一番分かりにくい。このソフトがああの業種に合うか、あの業種にはこのソフトは合わないということもある。
- ・顧客の共有化、情報の共有化 チラシのとらえ方。効果は疑問では。
- ・今この委員会でまとめて、商工会の予算要望にのれば、町単費での2004年度執行になる。
- ・新しいからとか古いからとか、山の中でも都会であっても、お客さんを引っ張る努力を各個店がやっている。お客さんが喜ぶ店づくりをしないといけないのでは。流行る店かそうでない店かの境目は、お客さんを大切にしているかどうか。ちょっとした心遣いがリピーターにつながる。
- ・個店が付加価値を付けてお客さんを引っ張ることが活性化につながるのでは。
- ・業種によって温度差がある。商材によっても異なることもある。
- ・異業種交流的な講習会があれば参加していきたい。
- ・最近よくがんばっていると見られるような店づくりができないか。
- ・お客さんと密着したサービスができないか。
- ・価格訴求から価値訴求へ...消費者に理解してもらえる価値観。
- ・コミュニティが保てる町づくり。太田町長につくってもらってはどうか。
- ・物販と技術を売る商売とは、すごくかけ離れている。
- ・何か訴えるものが形になればよいが...
- ・個店、おりっこカード会、商工会というところで、それぞれメンバーが異なっている。
- ・企画であってもソフトであっても、新鮮なうちでないと新鮮さを感じ得なくなる。
- ・基金を積んで、タイムリーに、公明正大に利用する。
- ・気持ちの上でのサービスはそれぞれのお店が行っている。
- ・モノで感動してもらうには限界がある。
- ・多目的に使える公共の駐車場があれば、店の活性化につながるのではないか。
- ・敵を知る商売。
- ・自分のことは分からないが他人のことはよく見える。
- ・どのような悩みがあるのかアンケートをとる方法もある。
- ・アンケートの結果によっては、講師を招聘して勉強する方法もある。

- ・ 共同公告の発行やDMもコストがかかる。はがきでコスト削減ができないものか。
- ・ 国・京都府の商業活性化の資金で、2004年度事業をするためには、2003年10月中旬までに手をあげる必要がある。町の補助金であれば11月の下旬が締め切りとなる。
- ・ やる気のある個人でも支援はできるのか。 団体でないとできないものなどいろいろとある。
- ・ 制度融資のための経営支援。事業拡大のための勉強。
- ・ 町内の商店はどこへ行っても、どこであっても他店のものが買えるようになればよいと思う。
- ・ 新しい仕組みづくりを提案したい。
- ・ 農業をも商業に結びつけることが大切ではないか。
- ・ 無から有をつくる。
- ・ 行政と話ができる基金をつくり、将来に向かって活性化を行う。
- ・ 産学共同で次の時代につながる特産品づくりが大切ではないか。
- ・ 商店をアピールできるようなものづくり、ネットワークづくりを考えれば活性化につながらないか。 新産業づくり
- ・ 野田川町商店会というものについて、今後の考えは持っているのか。
- ・ 過去、商店会をやってきて、おりっこカード会と並行してやってきたが、販促の部分を除いて商店会があっても、何のための商店会なのかということなる。行政の受け皿では意味が無い。
- ・ おりっこカード会を立ち上げていく中で、技術・サービス・商品売る組織となっている。今おりっこカード会が地域に顔の見える商売活動を行っており、十分おりっこカード会が代わりをしていると思う。
- ・ 話の流れでいろいろな方向から意見を頂いた。ソフト面についても、一つ一つでは成り立たないことを実感した。活性化を図っていく中で、一つこれを取り急ぎやろうか、ということが見出せるような形で報告書をまとめてもらう方向で、いくつかメニューを考えて報告会の中で報告させて頂きたい。皆さんが思われているような報告書になるかどうかは分かりませんが、最終的には全てのソフト面が網羅されたようなコミュニティ循環型商業ネットワークとかの構想図も含めていきたい。ショッピングマップと共同広告を組み合わせたようなガイドブックの毎月発行、各種研修会の開催、異業種交流事業などを何か考えていきたい。バリアフリーの展開をどのようにすればよいか、複式簿記を含めた経営セミナーを開くとか、ダイレクトメールの補助的部分の事業を考えると、いろいろな意見を頂きましたので、その中でも先駆けて取り組めるものに取り組みたい。通信環境の部分につきましては、商業にも関連深い部分でもあり、地域づくりの分野でも大事な部分でもありますので、早期に充実した整備をお願いしていこうと考えております。これらのことは、既に報告書の中にうたう予定をしており、後の活性化の具体的なソフト面等のメニューにつきましては、本日のご意見等をまとめさせて頂きまして、報告会に提出させて頂こうと思っております。なお、コミュニティにかかる分野の駐車場も含めた部分に関しては、商業だけの部分ではないので、地域全体の問題として商工会長に報告させて頂き、行政に強く要望させて頂いたり、話し合いの場を設けて頂くという形で話を持っていこうと考えております。
- ・ 今事務局の方からありましたように、ただ今の意見をまとめて報告書に網羅していき、その中で可能性のある部分について、来年度に結び付けていこうという考え方を示させて頂きました。多種多様に意見が出まして、まとめも大変だとは思いますが、商業の活性化の一助となるような事業にしたいと考えますのでよろしくお願ひいたします。

3章 野田川町商工会の概況

昭和30年8月28日 野田川町商工会 創立総会 会員総数 732名

- ・野田川町商工会会則制定、昭和33年度歳入歳出予算、事業計画樹立
- ・合併直後、旧村の商工会代表者保証協会審議員約20名の参集を求め、統一した商工団体とするか連合団体的な商工団体にするかについて検討された結果、統一した商工団体として発足した。

昭和35年6月10日 商工会法施行（任意団体から法人格へ）

昭和35年11月15日 野田川町商工会 創立総会

- ・定款制定、昭和35年度事業計画・歳入歳出予算承認、役員を選任、諸規定・規約の制定

昭和56年8月22日 商工会法一部改正（商工会法の強化）

平成5年8月9日 小規模事業者支援促進法制定（小規模企業対策の拡充・強化）

会員推移は、創立当初で740名（機業部398名・商工部342名）。昭和59年度（昭和63年3月末）にはピークを向かえ、1,382名（機業部913名・商工部463名）の会員数となったが、その後は減少を続け、平成14年度（平成15年3月末）では、719名（機業部365名・商工部341名）となり創立当初を下回る結果となった。

開催日	会議名称, 会員総数, 決算, 会頭・会長名等
昭和30年8月28日	創立総会 会員総数 732名
昭和31年6月3日 第2回	昭和31年度総会 会頭 後藤幸三郎 昭和30年度決算書 収入合計 3,722,060円、支出合計 3,129,893円 総会員数 740名（機業部 398名・商工部 342名）
昭和32年5月26日 第3回	昭和32年度総会 会頭 伊達芳三郎 昭和31年度決算書 収入合計 3,619,079円、支出合計 3,580,358円 会員総数 722名
昭和33年 月 日 第4回	昭和33年度総会 会頭 伊達芳三郎 昭和32年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 会員総数 名
昭和34年 月 日 第5回	昭和34年度総会 会頭 白杉儀一郎 昭和33年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 会員総数 名
昭和35年5月8日 第6回	昭和35年度総会 会頭 白杉儀一郎 昭和34年度決算書 収入合計 3,511,966円、支出合計 3,471,559円 会員総数 名
昭和35年11月15日	創立総会 会長 白杉儀一郎
昭和36年4月19日	昭和36年度定例総代会 会長 白杉儀一郎 昭和35年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 793名（機業部 名・商工部 名）
昭和37年5月3日	昭和37年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和36年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 名（機業部 名・商工部 名）
昭和38年5月14日	昭和38年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和37年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 名（機業部 名・商工部 名）
昭和39年5月24日	昭和39年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和38年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 名（機業部 名・商工部 名）
昭和40年5月24日	昭和40年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和39年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 名（機業部 名・商工部 名）
昭和41年5月29日	昭和41年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和40年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 863名（機業部 名・商工部 名）

開催日	会議名称, 会員総数, 決算, 会頭・会長名等
昭和42年5月22日	昭和42年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和41年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 名(機業部 名・商工部 名)
昭和43年5月 日	昭和43年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和42年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 名(機業部 名・商工部 名)
昭和44年5月25日	昭和44年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和43年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 名(機業部 名・商工部 名)
昭和45年5月 日	昭和45年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和44年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 名(機業部 名・商工部 名)
昭和46年5月24日	昭和46年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和45年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 996名(機業部 名・商工部 名)
昭和47年5月25日	昭和47年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和46年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 名(機業部 名・商工部 名)
昭和48年5月21日	昭和48年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和47年度決算書 収入合計 11,539,733円、支出合計 11,449,757円 総会員数 1,022名(機業部 692名・商工部 330名)
昭和49年5月29日	昭和49年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和48年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 名(機業部 名・商工部 名)
昭和50年5月23日	昭和50年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和49年度決算書 収入合計 円、支出合計 円 総会員数 名(機業部 名・商工部 名)
昭和51年5月21日	昭和51年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和50年度決算書 収入合計 25,158,339円、支出合計 25,083,163円 総会員数 1,091名(機業部 742名・商工部 349名)
昭和52年5月23日	昭和52年度通常総代会 会長 白杉儀一郎 昭和51年度決算書 収入合計 30,467,678円、支出合計 30,368,392円 総会員数 1,112名(機業部 751名・商工部 355名)
昭和53年5月22日	昭和53年度通常総代会 会長 明石正雄 昭和52年度決算書 収入合計 33,672,118円、支出合計 33,156,885円 総会員数 1,111名(機業部 752名・商工部 353名)
昭和54年5月24日	昭和54年度通常総代会 会長 明石正雄 昭和53年度決算書 収入合計 38,651,198円、支出合計 37,960,310円 総会員数 1,161名(機業部 776名・商工部 379名)
昭和55年5月24日	昭和55年度通常総代会 会長 明石正雄 昭和54年度決算書 収入合計 43,141,228円、支出合計 42,642,750円 総会員数 1,209名(機業部 812名・商工部 391名)
昭和56年5月25日 第21回	昭和56年度通常総代会 会長 明石正雄 昭和55年度決算書 収入合計 48,483,156円、支出合計 47,661,866円 総会員数 1,261名(機業部 名・商工部 名)
昭和57年5月25日 第22回	昭和57年度通常総代会 会長 明石正雄 昭和56年度決算書 収入合計 50,905,210円、支出合計 49,455,306円 総会員数 1,293名(機業部 864名・商工部 423名)
昭和58年5月31日 第23回	昭和58年度通常総代会 会長 明石正雄 昭和57年度決算書 収入合計 54,296,367円、支出合計 53,255,101円 総会員数 1,317名(機業部 880名・商工部 431名)
昭和59年5月22日 第24回	昭和59年度通常総代会 会長 明石正雄 昭和58年度決算書 収入合計 55,068,786円、支出合計 54,248,725円 総会員数 1,370名(機業部 915名・商工部 449名)
昭和60年5月24日 第25回	昭和60年度通常総代会 会長 服部和夫 昭和59年度決算書 収入合計 55,213,481円、支出合計 54,397,285円 総会員数 1,382名(機業部 913名・商工部 463名)

開催日	会議名称, 会員総数, 決算, 会頭・会長名等
昭和61年5月24日 第26回	昭和61年度通常総代会 会長 服部和夫 昭和60年度決算書 収入合計 57,981,461円、支出合計 56,912,227円 総会員数 1,375名(機業部 908名・商工部 460名)
昭和62年5月25日 第27回	昭和62年度通常総代会 会長 服部和夫 昭和61年度決算書 収入合計 66,662,828円、支出合計 66,431,364円 総会員数 1,364名(機業部 891名・商工部 466名)
昭和63年5月23日 第28回	昭和63年度通常総代会 会長 服部和夫 昭和62年度決算書 収入合計 61,515,430円、支出合計 61,121,705円 総会員数 1,345名(機業部 867名・商工部 471名)
平成元年5月22日 第29回	平成元年度通常総代会 会長 服部和夫 昭和63年度決算書 収入合計 64,217,961円、支出合計 63,893,662円 総会員数 1,341名(機業部 857名・商工部 477名)
平成2年5月30日 第30回	平成2年度通常総代会 会長 服部和夫 平成元年度決算書 収入合計 85,014,809円、支出合計 84,974,019円 総会員数 1,330名(機業部 857名・商工部 466名)
平成3年5月21日 第31回	平成3年度通常総代会 会長 服部和夫 平成2年度決算書 収入合計 89,636,020円、支出合計 89,343,339円 総会員数 1,316名(機業部 838名・商工部 471名)
平成4年5月21日 第32回	平成4年度通常総代会 会長 服部和夫 平成3年度決算書 収入合計 86,777,718円、支出合計 85,882,757円 総会員数 1,307名(機業部 823名・商工部 477名)
平成5年5月18日 第33回	平成5年度通常総代会 会長 金谷一 平成4年度決算書 収入合計 86,804,480円、支出合計 85,185,324円 総会員数 1,254名(機業部 791名・商工部 456名)
平成6年5月17日 第34回	平成6年度通常総代会 会長 金谷一 平成5年度決算書 収入合計 90,145,846円、支出合計 86,972,907円 総会員数 1,223名(機業部 766名・商工部 450名)
平成7年5月17日 第35回	平成7年度通常総代会 会長 金谷一 平成6年度決算書 収入合計 101,253,635円、支出合計 97,276,863円 総会員数 1,170名(機業部 724名・商工部 433名)
平成8年5月22日 第36回	平成8年度通常総代会 会長 金谷一 平成7年度決算書 収入合計 93,383,729円、支出合計 90,116,091円 総会員数 1,133名(機業部 684名・商工部 434名)
平成9年5月22日 第37回	平成9年度通常総代会 会長 金谷一 平成8年度決算書 収入合計 90,884,156円、支出合計 88,245,139円 総会員数 1,091名(機業部 648名・商工部 429名)
平成10年5月22日 第38回	平成10年度通常総代会 会長 金谷一 平成9年度決算書 収入合計 90,925,925円、支出合計 89,356,280円 総会員数 1,024名(機業部 590名・商工部 420名)
平成11年5月21日 第39回	平成11年度通常総代会 会長 安田光孝 平成10年度決算書 収入合計 100,976,999円、支出合計 99,234,257円 総会員数 941名(機業部 520名・商工部 407名)
平成12年5月19日 第40回	平成12年度通常総代会 会長 安田光孝 平成11年度決算書 収入合計 77,783,059円、支出合計 74,893,371円 総会員数 879名(機業部 477名・商工部 388名)
平成13年5月18日 第41回	平成13年度通常総代会 会長 安田光孝 平成12年度決算書 収入合計 83,648,766円、支出合計 80,855,921円 総会員数 804名(機業部 422名・商工部 368名)
平成14年5月20日 第42回	平成14年度通常総代会 会長 安田光孝 平成13年度決算書 収入合計 75,193,440円、支出合計 71,590,941円 総会員数 750名(機業部 389名・商工部 347名)
平成15年5月20日 第43回	平成15年度通常総代会 会長 安田光孝 平成14年度決算書 収入合計 81,094,565円、支出合計 77,944,483円 総会員数 719名(機業部 365名・商工部 341名)

(転載または引用の場合は必ず出典を明記のこと)

野田川町商業活性化事業報告書

発 行

2 0 0 3 年 1 1 月

野田川町商工会

〒629-2312 京都府与謝郡野田川町字四辻 150

TEL : 0772-43-1020 FAX : 0772-42-0737

E-mail : info@nodagawa.com

URL <http://www.nodagawa.com>

特定非営利活動法人市民活動情報センター (SIC)

〒552-0021 大阪市港区築港 2-8-24 pia NPO 506 号室

TEL : 06-4395-1144 FAX : 06-4395-1145

E-mail : sic@mx.mesh.ne.jp

URL : <http://www1m.mesh.ne.jp/~sic/>

